

# 御 殿 遺 跡

平成5年度県営広域営農団地農道整備事業赤城  
南麓2期地区に係る埋蔵文化財緊急調査報告書

1995

群馬県勢多郡柏川村教育委員会

# 御 殿 遺 跡

平成5年度県営広域農業農道整備事業赤城  
南麓2期地区に係る埋蔵文化財緊急調査報告書

1995



上 赤城山と御殿遺跡 稲川村中之沢字湯の口、御殿、大猿一帯には、宇通遺跡をはじめとして、平安時代の集落遺跡が多く確認されている。9世紀の後半で赤城山の山岳地帯への集落の積極的な進出がみられるのだ。稻川村に隣接する宮城村や新里村でも同様の傾向がうかがえる。

下 BH-5号住居出土の「鏡」鋳型 15片程の細片で出土したが、振ね三筋部分と鈴部分とに別けられる。本遺跡出土例からは三筋部分と鈴部分とは、一体の鋳型ではなく、別々に鋳られ、接合された可能性が考えられる。

## 序にかえて

柏川村は、赤城山の南麓に開けた村です。村の北端は、赤城山のカルデラ壺まで延びております。そして、そこから、赤城山山頂の小沼を水源とする唯一の河川、柏川が流れ落ちているのです。この赤城山と赤城山を水源とする柏川は、古代から近世にかけて、赤城山南麓の広い地域にわたって、農業と灌溉水に関わる信仰の対象となっていました。その片鱗は今でも、月田近戸神社の『お川降り』の神事に見ることができます。

今回、発掘調査を行った「御殿遺跡」は、赤城神社西宮の元宮地として推定されてきたところの一角にあります。この遺跡からは、縄文時代早前期の遺物包含層や平安時代前期の集落と特殊な密教に関わる法具を製作した工房址が発見されました。まさに、この「御殿」の地が、赤城山信仰の発祥の地といえるかとも思われます。

本報告書は、前橋土地改良事務所から調査の委託を受けた柏川村教育委員会が平成5年度に発掘調査を実施し、平成6年度に整理作業を行った成果であります。この報告書が、多くの方に活用され、少しでも斯学に貢献することができれば幸に存じます。

最後に、発掘調査ならびに整理作業を通じてご指導、ご協力をいただいた群馬県前橋土地改良事務所の関係者の皆様、村関係各課をはじめ関係各位、並びに調査に協力いただいた作業員の方々に感謝申し上げて序といたします。

平成7年3月

柏川村教育委員会

教育長 真下辰男

## 例　　言

1. 本書は平成5年度県営広域営農団地農道整備事業赤城南麓2期地区埋蔵文化財発掘調査委託事業「御殿遺跡」の発掘調査報告書である。
2. 「御殿遺跡」は群馬県勢多郡柏川村大字中之沢字御殿369-1番地他に所在する。遺跡略称はX3である。
3. 発掘調査は平成5年7月20日より平成6年3月25日まで実施した。  
また、整理事業及び本書の作成は平成6年7月5日より平成7年3月20日まで行った。
4. 発掘調査は平成5年度前橋土地改良事務所からの委託金で実施した。  
また、整理事業は、平成6年度前橋土地改良事務所の委託金で行った。
5. 調査組織は次のとおりである。

事務局

教　育　長　　真下辰男

社会教育課長　　松村嘉夫

調　査　担　当

社会文化係長　　小島純一

主　　任　　梅沢克典

6. 本書の作成は小島が編集、執筆、遺構写真を担当し、遺物写真は真下泰男（柏川村サンフォト）による。なお、本書の作成には以下のものが参加した。

庶務担当　笠原嘉子　　遺物接合復元　　中嶋あぐり

遺物実測及びレイアウト　吉沢てい子　　鈴木幸子　　武井洋子　　松村寿江　　飯尾みゆき　　石川葉子

7. 発掘調査により出土した遺物及び本書掲載遺物については、すべて柏川村出土文化財管理センターで保管管理している。

8. 発掘調査から整理作業にかけて、下記の方々からご指導、ご助言を賜った。記して感謝申し上げます。

石坂　茂　　五十川伸矢　　井上唯雄　　今泉明雄　　香取忠彦　　桐原　健　　坂口　一　　坂田宗彦  
時枝　務　　能登　健　　原　雅伸　　樋口界一　　細野高伯　　前原　豊　　山下敬信

## 凡　　例

1. 本書の挿図で使用する方位は真北である。

2. 本書で使用した地形図は下記のとおりである。

図1 国土地理院20万分の1「宇都宮」

図3 国土地理院2.5万分の1「鼻毛石」

3. 本書の遺構図、遺物図の縮尺は下記のとおりである。

住居址平面図 1/80

竪平面図 1/40

土　　壙 1/40

土　　器 1/3 1/4 1/6

石　　器 1/3 1/4

なお、それぞれに、スケールを添付した。

4. 土器観察表及び挿図の番号は、挿図ごとの通し番号とし、遺物取上番号も付した。

5. 挿図内のアミ表記は以下のとおりである。

平面図 浅間B軽石(As-B)

焼土

石

地山

遺物実測図 石器(磨製部分)

土器(含繊維)

## 目 次

|                     |    |
|---------------------|----|
| 卷頭図版                |    |
| 序にかえて               |    |
| 例 言                 |    |
| 凡 例                 |    |
| I. 発掘調査の経緯          | 3  |
| II. 御殿遺跡の位置         | 4  |
| III. 発掘調査の概要        | 5  |
| 1 調査の経過             | 5  |
| 2 基本土層              | 5  |
| 3 検出された遺構           | 5  |
| IV. 平安時代の遺構と遺物      | 6  |
| V. 繩文時代の遺構と遺物       | 8  |
| VI. 包含層出土の遺物        | 9  |
| 1 土 器               | 9  |
| 2 石 器               | 12 |
| VII. ま と め          | 13 |
| 1 繩文時代包含層内の遺物分布について | 12 |
| 2 BH-5号住居出土の鋳型について  | 13 |
| 3 山間地平安時代集落の成立      | 15 |
| 挿 図                 | 17 |
| 遺構実測図               |    |
| 出土遺物実測図             |    |
| 遺物観察表 土器            |    |
| 写 真 図 版             | 59 |
| 付 図                 |    |

## 挿 図 目 次

|                                       |    |
|---------------------------------------|----|
| 図1 御殿遺跡の位置(20万分の1図).....              | 2  |
| 図2 御殿遺跡の調査(2,000分の1地形図).....          | 3  |
| 図3 御殿遺跡と周辺の遺跡(31,250分の1).....         | 4  |
| 図4 御殿遺跡基本土層図.....                     | 5  |
| 図5 御殿遺跡出土『鏡』推定復元図.....                | 13 |
| 図6 御殿遺跡遺物包含層遺物出土概念図.....              | 14 |
| 図7 御殿遺跡全体図(折り込み)1/200 .....           | 17 |
| 図8 A II-1号住居実測図・出土遺物実測図.....          | 19 |
| 図9 B II-1号住居実測図・出土遺物実測図.....          | 19 |
| 図10 B II-4号住居実測図・出土遺物実測図.....         | 19 |
| 図11 B II-2号住居実測図・出土遺物実測図.....         | 20 |
| 図12 B II-3号住居実測図・出土遺物実測図.....         | 21 |
| 図13 1号溝実測図・出土遺物実測図.....               | 22 |
| 図14 1号孤立柱建物実測図・出土遺物実測図<br>(折り込み)..... | 23 |
| 図15 B II-5号住居出土鋳型実測図.....             | 25 |
| 図16 B II-5号住居実測図・出土遺物実測図.....         | 26 |
| 図17 B II-7号住居実測図.....                 | 26 |
| 図18 B II-7号住居出土遺物実測図.....             | 27 |
| 図19 B II-6号住居実測図・出土遺物実測図.....         | 28 |
| 図20 C II-1号住居実測図・出土遺物実測図.....         | 28 |
| 図21 東区土壤(1~5号)実測図.....                | 29 |
| 図22 B J-1号住居実測図・出土遺物拓影図.....          | 36 |
| 図23 B J-1号住居出土石器実測図.....              | 37 |
| 図24 西区縄文期土壤実測図.....                   | 37 |
| 図25 西区縄文期包含層出土遺物拓影図1 .....            | 38 |
| 図26 西区縄文期包含層出土遺物拓影図2 .....            | 39 |
| 図27 西区縄文期包含層出土遺物拓影図3 .....            | 40 |
| 図28 西区縄文期包含層出土遺物拓影図4 .....            | 41 |
| 図29 西区縄文期包含層出土遺物拓影図5 .....            | 42 |
| 図30 西区縄文期包含層出土遺物拓影図6 .....            | 43 |
| 図31 西区縄文期包含層出土石器実測図1 .....            | 43 |
| 図32 西区縄文期包含層出土石器実測図2 .....            | 44 |
| 図33 東区縄文期包含層出土遺物拓影図1 .....            | 45 |
| 図34 東区縄文期包含層出土遺物拓影図2 .....            | 46 |
| 図35 東区縄文期包含層出土遺物拓影図3 .....            | 47 |
| 図36 東区縄文期包含層出土遺物拓影図4 .....            | 48 |
| 図37 東区縄文期包含層出土遺物拓影図5 .....            | 49 |
| 図38 東区縄文期包含層出土遺物拓影図6 .....            | 50 |
| 図39 東区縄文期包含層出土遺物拓影図7 .....            | 51 |
| 図40 東区縄文期包含層出土石器実測図1 .....            | 52 |
| 図41 東区縄文期包含層出土石器実測図2 .....            | 53 |
| 図42 東西区縄文期包含層出土石器実測図.....             | 54 |

## 写 真 目 次

- |        |                      |                               |
|--------|----------------------|-------------------------------|
| PL. 1  | 1 御殿遺跡遠景(東より)        | 4 BH-7号住居全景                   |
|        | 2 西区基本土層             | 5 BH-7号住居竈部遺物出土状況             |
|        | 3 東区基本土層             | 6 BH-7号住居土層堆積状況               |
| PL. 2  | 1 御殿遺跡全景(東より)        | PL. 12 1 東区発掘状況(東より)          |
|        | 2 西区調査状況             | 2 BH-1・2号土壙                   |
| PL. 3  | 1 大溝の調査              | 3 東区縄文包含層遺物出土状況               |
|        | 2 大溝全景               | 4 BH-1号土壙土層堆積状況               |
| PL. 4  | 1 BH-1号住居全景          | 5 BH-1号土壙全景                   |
|        | 2 BH-1号住居土層堆積状況      | 6 東区縄文包含層戸下層式土器出土状況           |
|        | 3 BH-1号住居遺物の出土状況     | PL. 13 AH-1、BH-1・2・3号住居出土遺物   |
|        | 4 BH-2号住居全景          | PL. 14 BH-5・6・7号住居出土遺物        |
|        | 5 BH-2号住居竈部分土層堆積状況   | PL. 15 BH-5号住居出土「鏡」鉢型         |
|        | 6 BH-2号住居竈部分詳細       | PL. 16 BH-5号住居出土「鏡」鉢型         |
| PL. 5  | 1 BH-3号住居全景          | PL. 17 BJ-1号住居出土遺物(土器)        |
|        | 2 BH-3号住居竈部分詳細       | PL. 18 BJ-1号住居出土遺物(石器)        |
|        | 3 BH-4号住居全景          | PL. 19 西区包含層出土土器(草創期・早期) 1    |
|        | 4 AH-1号住居全景          | PL. 20 西区包含層出土土器(早期) 1        |
|        | 5 AH-1号住居竈部遺物出土状況    | PL. 21 西区包含層出土土器(早期) 1        |
|        | 6 西区完掘状況(西より)        | PL. 22 西区包含層出土土器(早期沈線文)       |
| PL. 6  | 1 BJ-1号住居全景(東より)     | PL. 23 西区包含層出土土器(早期・条痕文)      |
|        | 2 BJ-1号住居遺物出土状況      | PL. 24 西区包含層出土土器(早期・前期)       |
|        | 3 BJ-1号住居地床炉         | PL. 25 西区包含層出土土器(前期)          |
| PL. 7  | 1 西区包含層遺物出土状況(南東より)  | PL. 26 西区包含層出土土器(前期)          |
|        | 2 西区包含層遺物出土状況        | PL. 27 西区包含層出土土器(前期)          |
|        | 3 包含層下部で検出されたBJ-2号土壙 | PL. 28 西区包含層出土土器(前期)          |
|        | 4 包含層下部で検出されたBJ-1号土壙 | PL. 29 西区包含層出土土器(中期)          |
|        | 5 BJ-4号土壙土層堆積状況      | PL. 30 東区包含層出土土器(草創期・前期)      |
| PL. 8  | 1 BH-5号住居全景          | PL. 31 東区包含層出土土器(草創期・早期・中期)   |
|        | 2 「鏡」鉢型出土状況          | PL. 32 東区包含層出土土器(早期)          |
| PL. 9  | 1 BH-5号住居土層堆積状況      | PL. 33 東区包含層出土土器(早期)          |
|        | 2 BH-5号住居土層堆積状況      | PL. 34 東区包含層出土土器(早期擦痕)        |
|        | 3 CH-1号住居全景          | PL. 35 東区包含層出土土器(早期沈線文)       |
|        | 4 BH-6号住居遺物出土状況      | PL. 36 東区包含層出土土器(早期沈線文)       |
|        | 5 BH-6号住居全景(北より)     | PL. 37 東区包含層出土土器(早期絡条体圧痕・条痕文) |
|        | 6 CH-1号住居土層堆積状況      | PL. 38 東区包含層出土土器(早期条痕文)       |
| PL. 10 | 1 東区西端の造成段(北より)      | PL. 39 東区包含層出土土器(中期条痕文)       |
|        | 2 造成段上の1号掘立柱建物       | PL. 40 東区包含層出土土器(早期条痕文)       |
| PL. 11 | 1 BH-7号住居遺物出土状況      | PL. 41 東区包含層出土土器(早期条痕文)       |
|        | 2 BH-7号住居遺物出土状況(部分)  | PL. 42 東区包含層出土土器(早期木~前期初頭)    |
|        | 3 BH-7号住居中央敷物状炭化物断面  |                               |

- PL. 43 東区包含層出土土器(前期)
- PL. 44 西区包含層出土石器(石鐵・石匙・石錐・ピエス・エスキュー・削器他)
- PL. 45 西区包含層出土石器(片面加工石器・礫器・磨製石斧他)
- PL. 46 西区包含層出土石器(三角錐形石器・石斧他)
- PL. 47 西区包含層出土石器(削器)
- PL. 48 西区包含層出土石器(磨石・凹石)
- PL. 49 東区包含層(石斧)・西区包含層(極すり石)
- PL. 50 東区包含層出土石器(石鐵・石錐・片面加工石器・磨製石斧)
- PL. 51 東区包含層出土石器(へら状石器・石斧・削器・礫器)
- PL. 52 東区包含層出土石器(削器)
- PL. 53 東区包含層出土石器(削器)
- PL. 54 東区包含層出土石器(磨石・極すり石)

# 御 殿 遺 跡



図1 御殿遺跡の位置(20万分の1図)

御殿遺跡の発掘調査は、県営広域営農団地農道（以下広域農道）整備事業赤城南麓2期地区建設に係る埋蔵文化財緊急発掘調査事業として実施した。

広域農道整備事業は、赤城村関越自動車道赤城インターチェンジから新里村を結ぶ、農道整備事業である。赤城村から北橋、富士見、前橋、大胡までを赤城南麓地区、宮城、柏川を通り、新里村までを赤城南麓2期地区として、昭和61年から平成8年を完成目標として事業着手された。

現在の国道353号線より100m以上高標高地を通過して行く山岳道路でもある。工事は地区内を畠食状に進められ、柏川村内は平成4年度に一部工事着手が計画されていた。

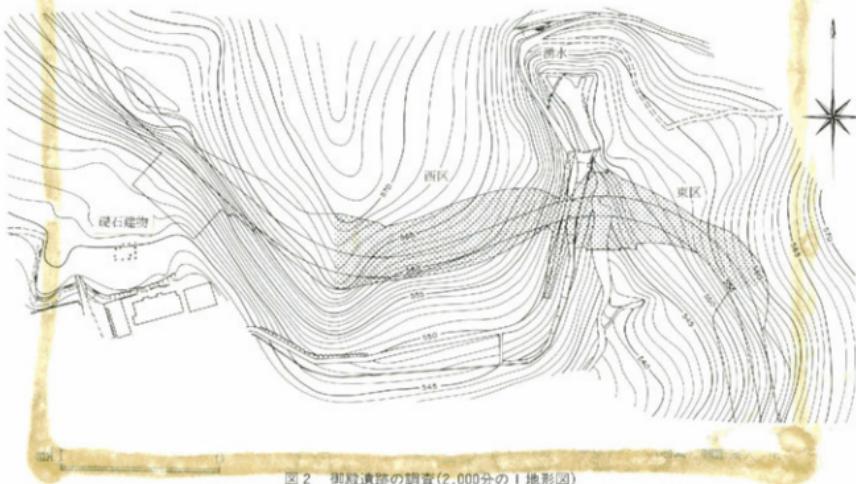
平成3年に、村土地改良課より、埋蔵文化財の有無の照会があり、平成3年8月9日に前橋土地改良事業所、県文化財保護課、村土地改良課、同教育委員会の4者による現地調査を実施した。その調査では、柏川村内の広域農道建設予定地内に、数箇所の埋蔵文化財包蔵地が想定された。平成4年5月12日第2回目調整会議を行った。その会議では、平成4年12月を目標に

調査予定地の保安林解除が可能であり、平成4年度中に試掘調査を実施してもらいたい旨の話があった。それを受けて平成5年1月26日より2月10日まで、柏川村教育委員会が試掘調査を実施した。

その結果、绳文時代早・前期の遺物包含層及び平安時代の集落の存在が明かとなった。教育委員会では、その結果を平成5年3月3日付けで前橋土地改良事業所に報告するとともに、文化府宛、遺跡の発見届を提出した。その後の調整段階では、発掘調査は平成5年度中に終了することと、調査終了後出土品の整理報告書の作成を行うこと、費用については、発掘調査及びその後に行われる整理作業に係る費用は群馬県の負担とすること、整理費用については発掘調査終了後別途積算すること等が取り決められた。

教育委員会では同年5月24日付けで、調査計画書等を提出し、7月19日付けで、前橋土地改良事業所と柏川村との間で埋蔵文化財調査委託契約書の取り交わしが行われた。

その結果、発掘調査は平成5年7月20日より開始し、平成6年3月25日まで実施した。



御殿遺跡は、柏川村の北部大字中之沢字御殿に所在する。遺跡のある大字「中之沢」地区は、昭和36年に大字「室沢」から分離して新しい行政区としてスタートした。柏川村では最も北部に位置し、標高400m付近から赤城山のカルデラ壁下までの地域を占める。地形上は大部分が山地形にあたる地域である。

遺跡は、宮城村村境から東へ約2kmで、標高450m付近を東西に走る国道353号線から1km程北へ入った「湯の口湧水」の湧出口の周辺に発見された。通称シクラメン畠地と呼ばれる湯ノ口地区の北に隣接している。遺跡地は、赤城山の中腹で、急峻な山地形が、丘陵性地形へと変わる地形の変換点に位置している。調査対象域は「湯ノ口湧水」から流れ出る少河川によって開拓された谷地を挟んで東西両斜面地で、そこから遺構及び遺物が検出土した。周辺の状況から、今回の調査対象地外にも遺構の存在が予想された。

ところで、昭和40年、中之沢字大猿にある宇通遺跡が群馬大学尾崎喜左雄によって調査された。その折、地元の好事家によって赤城神社の元宮地として推定されたことがある湯ノ口周辺にも注目することとなり、今泉家裏で礎石建物と考えられる礎石群を確認した。尾崎は、調査中の宇通遺跡との関連を指摘し、この湯ノ口周辺を宇通遺跡焼失後の退転先として推定した。しかし、残念なことに、その後、湯ノ口周辺は、詳細な調査を受けることなく、昭和53年からシクラメン畠地として造成されてしまった。ただし、今回調査を行った、御殿地区はこの開発からは免れ、現況をよく留めていた。

注 宇通遺跡はその後、昭和59年度より平成2年度まで柏川村教育委員会が調査を行った。調査では、15棟の礎石建物址や多くの堅穴住居が検出され、9世紀後半から10世紀後半にかけての山岳寺院址であることが明らかになった。

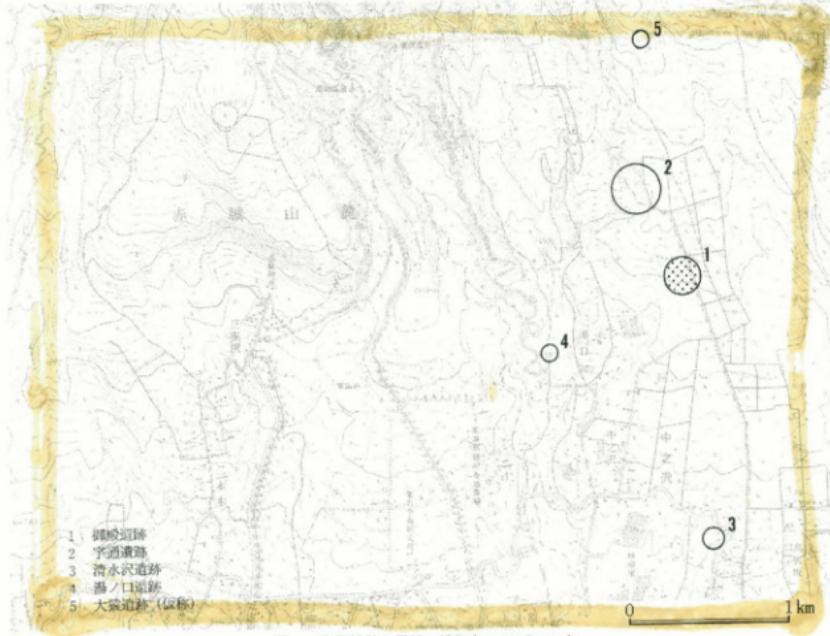


図3 御殿遺跡と周辺の遺跡(31,250分の1)

## 1 調査の経過

調査に先立ち、発掘区を谷地を挟んで、西区と東区と総称することとした。また、国家座標第IX系、 $X = 53440.00$ 、 $Y = -56080.00$ を基線として、 $4 \times 4$ メートルグリッドを設定して行った。呼称は $100 \times 100$ センチ単位のグリッドを大グリッドA～Cとし、その中を、南北方向をアルファベットa～y、東西方向を1～25の小グリッドとし、北西隅の杭を小グリッドの名称とした。

発掘調査は、大型重機の搬入出用道路の確保、調査地内に放置された倒木の除去等の作業から開始し、平成5年7月27日から8月2日まで要した。発掘区は崩水による小河川で東西に分けられ、しかも、急斜面地なため、大型重機の往来が不可能であった。そのため、回送作業等を想以上に手間取った。表土掘削も同様で、大型クローラなどを使用し効率良く作業を進めるべく努力したが、8月10日より24日まで要した。

調査は、平安期の遺構を調査した後、縄文時代の遺構及び包含層の調査という順序ではじめた。遺構検出、精査、遺物取り上げ、写真撮影、実測作業を効率良く進め、極力外部委託ができる業種については外部委託

を導入した。

遺構検出作業は表土掘削と平行して進め、8月19日より西区の平安時代の竪穴住居BH-1号住居から精査を開始した。また、西区東端で、踏み分け道と思われた部分が人工的に造られた大溝であることが明かとなり、調査を行った。この溝の調査は、重機を導入することが不可能であったため、すべて人力で行った。東区の精査は9月27日より始めた。

縄文時代の遺構、包含層の調査は、10月27日より、一部平安期遺構の調査と同時に調査を進めた。西区の包含層、東区包含層と順次調査を進め、平成6年2月7日には西区で縄文時代前期中葉のBJ-1号住居を検出した。

途中、BH-5号住居出土の鉢型が、特異なものであったため、文化女子大香取忠彦先生、奈良同立博物館坂田宗彦先生等の現地指導をお願いした。

全ての発掘作業が終了したのは、平成6年2月28日で、その後、出土遺物の水洗注記作業を3月25日まで行った。発掘調査参加人員は延べ2,198人、調査面積は2,200m<sup>2</sup>であった。

## 2 基本土層

御殿遺跡の基本土層は、I層表土腐食土、II層黒色土、III層2次堆積ローム質土、IV層淡色黒ボク土、V層褐色土、VI層以下ローム層である。(図4)赤城山南麓地域の一般的な上層堆積を示す。ただし東区の低地部分では、IV層以下のローム層中に疊を含み2次堆積となっている。

遺構の確認面、遺物の出土層位は平安期がI層黒色土からIV層淡色黒ボク土上面、縄文時代の遺構の確認面はV層褐色土からVI層ローム層上面である。縄文時代の包含層はIV層淡色黒ボク土からV層褐色土下面にかけてであり、縄文中期から草創期までの遺物が出土した。包含層内の各時期別の出土傾向は中期の遺物が上位で検出されたほかは、前期前半から草創期の遺物が混在している。縄文時代の出土遺物の層位的な分離は困難であった。

## 3 検出された遺構

発掘調査によって検出された遺構は、平安時代9軒、樹立柱建物1棟、土壤5基、縄文時代竪穴住居1軒、土壤2基、遺物包含層700m<sup>2</sup>であった。

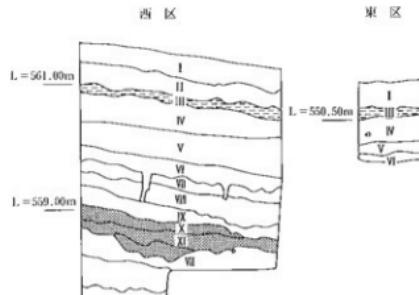


図4 御殿遺跡基本土層図

西区では、尾根頂部及びその周辺から 5 軒の堅穴住居を検出した。東区では湧水脇の低地から西向き斜面にかけて 4 軒の堅穴住居を検出した。湧水脇では人工的な造成段が 1 段認められ、その段上に堅穴住居と掘立柱建物が並立して検出された。また、当該期の土塙 5 基を検出している。

#### A H-1 号住居 (図 8、PL. 5・13)

**形状** 発掘区の最も西に位置している。東西辺長 1.94m、南北辺長 1.64m の縦長長方形を呈する。壁は垂直に立ち上がり、確認面からの壁高は 0.32m である。

**面積** 3.29m<sup>2</sup> **方位** N-81°-E

**床面** やや軟質である。

**電址** 東辺南よりにあり、焼土等は認められなかった。角礒と土師器環 8 (図 8、PL. 13) が出土している。

**遺物** 灰釉の高台付き椀は埋め土内、土師器環 2 点は床面上より出土している。

**備考** 壁周溝、柱穴、貯蔵穴は検出されなかった。

#### B H-1 号住居 (図 9、PL. 4・13)

**形状** 東西辺長 2.72m、南北辺長 3.48m の横長長方形を呈する。住居は東向き斜面地に造られているため、壁は西が高く、東が低い。壁高は最も深い部分で 0.76m である。

**面積** 8.52m<sup>2</sup> **方位** N-84°-E

**床面** 堅い貼り床状である。

**電址** 西辺中央やや南によりに少量の焼土と礫がまとまって検出された。焼土、灰屑等は認められなかった。

**遺物** 土師器環 3 点、土師器甕 1 点が出土している。いずれも床面直上のものである。また、試掘調査時に須恵器環 1 が出土した。

**備考** 北辺から北西隅、西辺にかけて僅かに壁周溝が確認された。柱穴は検出されなかった。

#### B H-2 号住居 (図 11、PL. 4・13)

**形状** 東西辺長 4.48m、南北辺長 3.36m の縦長長方形を呈する。南向き傾斜地に造られているため、壁は北側が最も良く残り、南壁は浅い。壁の立ち上がりは垂直に立ち上がる。壁高は最も深い部分で確認面より 0.84m である。

**面積** 13.44m<sup>2</sup> **方位** N-52°-E

**床面** 堅い貼り床状である。

**電址** 東辺中央に造られている。焚き口に大型礫を

用い、竈全体が良く焼けていた。内部から土師器甕 14 (図 11) が出土した。

**遺物** 須恵器環 2 点、須恵器蓋 1 点、須恵器長頸甕 1 点、土師器高台付き椀 2 点、土師甕 4 点が出土した。また、竈周辺床面から鉄滓が出土した。

**備考** 壁周溝は北辺、西辺に確認された。北西隅には大型の円礫が 2 点縦位置におかれている。貯蔵穴、柱穴は検出されなかった。

#### B H-3 号住居 (図 12、PL. 5・13)

**形状** 西区の尾根頂上部に位置している。B J-1 号住居の一部を切って構築されている。東西辺長 2.88m で、南北辺の長さは不明であるが横長長方形を呈するものと思われる。壁はほぼ垂直に立ち上がり、壁高は確認面から 0.51m である。

**面積** 7.77m<sup>2</sup> **方位** N-109°-E

**床面** やや軟質である。

**電址** 東辺やや南によりに、礫および白色粘土を用いて構築されている。火床面はよく焼けていた。

**遺物** 須恵器環 2 点、甕 1 点、土師器環 1 点、小形甕 2 点、壺 3 点が出土している。いずれも床面直上のものである。須恵器環 1 は試掘時に竈上から出土したものである。

**備考** 床面には炭化物が認められた。住居埋め土は明瞭な層位をなさず、自然堆積とは考えられない。周溝、柱穴は検出されなかった。

#### B H-4 号住居 (図 10、PL. 5・13)

**形状** 西区の南向き斜面地最低位に位置している。東西辺の長さは不明であるが、南北辺長 2.84m である。全体の形状は不鮮明で、壁は北西隅で立ち上がりをつかめるが、他は不明瞭である。

**面積** 不明 **方位** 不明

**床面** 不明瞭 **電址** 不明

**遺物** 須恵器蓋 1 点が埋め土中より出土している。

**備考** 貯蔵穴、周溝、柱穴は検出されなかった。一応住居としておく。

#### B H-5 号住居 (図 15・16、PL. 8・9・14・15・16)

**形状** 東区の最も西で、湧水に臨み、小規模な造成段上に位置している。1 号掘立柱建物に隣接する。東西辺長 3.24m、南北辺長 3.36m の横長長方形を呈する。壁はほぼ垂直に立ち上がり、壁高は確認面から 0.39m

である。

面積 9.96m<sup>2</sup> 方位 N-106°-E

床面 窒い叩き締め状である。

竈址 東辺やや南よりに竈状の掘り込みがあるが、壁は全く焼けていない。また、焼土層や灰層も認められなかった。土層観察からは2次的な混乱の可能性も考えられる。但し、焚き口部分には僅かな掘り込みがあり、焼土、灰、木炭片、鉢型片が集中して出土した。鍛冶炉の可能性が考えられる。

遺物 土師器1点、鋳型15点が床面密着の状態で出土した。また、埋め土中から鉄器2点が出土した。

備考 北東隅に人頭大の躰を4個使った圓い状の遺構があった。壁周溝は、北辺に認められた。貯蔵穴、柱穴は検出されなかった。住居埋め土は腐泥をなさず、人為的に一度に埋められた可能性も考えられる。

#### B H - 6号住居 (図19、PL. 9・14)

形状 西向き斜面地に構築される。東斜面、南斜面側の壁のみ明瞭であるが、東側の壁は不明である。また、北側も調査範囲外のため判らない。壁高は東面で確認面から0.95mであり、垂直に立ち上がる。造成段とも考えられる。

面積 不明 方位 不明

床面 軟質で不明瞭。

竈址 住居中央に焼土の集中部分が2カ所あった。

遺物 土師器環1点、高台付き椀3点、壺3点、須恵器壺3点、灰釉長頸壺1点が出土している。また、墨書きの書かれた壺3点がいずれも破片で出土している。遺物はいずれも床面より浮いた状態で出土した。

備考 東壁より0.7m離れ、浅い壁周溝が確認できた。周溝は幅0.36m、深さ0.15m程度で、この周溝を境として住居の床面に0.25m程の段差をもっている。柱穴は明瞭なものは検出されなかったが、中央に浅いビットが検出された。

#### B H - 7号住居 (図17・18、PL. 11・14)

形状 西向き斜面地に構築されている。東西辺長2.5m、南北辺長3.56mの不整長方形を呈する。壁は東側で明瞭で、垂直に立ち上がる。壁高は1.6mである。

面積 11.88m<sup>2</sup> 方位 N-83.5°-E

床面 窒い叩き締め状である。

竈址 東辺中央やや南側に躰及び白色粘土を用いて構築される。内部は赤く焼けていた。

遺物 土師器高台付き椀1点、壺8点、小型高台付き壺1点、須恵器環1点、椀7点が出土している。い

ずれも室内及び床面直上のものである。

備考 住居中央に直径1m程の円形の炭化物の集中箇所が検出された。炭化物の厚さは薄く、遺存状態も悪く、編み物等の識別は不可能であった。貯蔵穴、周溝、柱穴は検出されなかった。

#### B区1号掘立柱建物 (図14、PL. 10)

形状 東区の湧水に臨み、幅4m程の平場を作出している。斜面地と平場では0.3m前後の段差があり、段差は南に行くに従い低くなる。B H - 5号住居の北に隣接している。方3間の掘立柱建物跡と考えられるが柱間等不明瞭である。柱間はPit A-C間0.76m、C-D間3.94m、D-E間2.92m、F-A間4.16mである。

同一平坦面に、掘立柱建物と堅穴住居とが隣接して併存する例は宇通遺跡東尾根上地区にある。

遺物 掘立柱建物内の埋め土中から土師器环1点、壺2点、須恵器环1点、椀1点が出土している。

備考 中央には直径0.8m程で、焼土、炭化物、白色粘土等の集中する部分があった。

#### B H - 1号土壙 (図21、PL. 12)

形状 東区の南平坦面にある。1号掘立柱建物が立つ、平坦面より1段上位の面にあたる。平面形は上面ではやや摺鉢状に開き、上面での直径は1.8m程、下面では1.2m程の円形を呈する。確認面までの深さは、最も深い部分で0.43mである。床面は堅く叩き締め状である。遺物は全く出土しなかった。

備考 埋め土中には浅間B盤石が認められ、底面には、炭化物、焼土塊が認められた。

#### B H - 2号土壙 (図21、PL. 12)

形状 東区の南平坦面にある。1号土壙に北に位置する。直径1m程の円形で、深さは確認面から0.31mである。遺物の出土はなかった。

備考 埋め土中には多量の炭化物を含んでいた。

#### B H - 3号土壙 (図21、PL. 12)

形状 東区の最も低い湧水に落ち込む西向き斜面にある。5号住居の南にあたる。長軸1.37m、短軸0.68mの楕円形で、深さは確認面から0.55mである。遺物の出土はなかった。

備考 埋め土中には炭化物、焼土を多く含んでいた。

#### B H - 4号土壙 (図21、PL. 12)

形状 東区の最も低い湧水に落ち込む西向き斜面にある。3号土壙の北にあたる。長軸1.62m、短軸1.18mの楕円形で、深さは確認面から0.56mである。遺物の出土はなかった。

**備考** 埋め土中には炭化物、焼土を多く含んでいた。  
**B H - 5号土壙** (図21、PL. 12)

**形状** 東区の最も低い湧水に落ち込む西向き斜面にある。1号掘立柱建物の西にあたる。直径0.9m程の円形で、深さは確認面から0.30mである。遺物の出土はなかった。

**備考** 埋め土中には多量に炭化物を含んでいた。

**東区1号溝** (図13、PL. 3)

**形状** 西区の東端の斜面に検出された。発掘前は浅い凹地で、山に入る道となっており、道の東は傾斜が急に強くなっていた。地形的に不自然であったため、トレンチを打ったところ、人工的な溝が検出された。

検出された溝は、発掘区の北端から始まり、南に延び、発掘区南端で谷に向かって東に直角に折れる。断面形は箱築研状で上幅2.6~3.9m、下幅0.28~1.0m、深さ1.20~1.80mである。溝の東端は僅かな平坦面がありそこで止まる。

**遺物** 埋め土中から土師器片、繩文土器片が混在して出土した。

**備考** 埋め土中には、浅間B蛭石(As-B)純層は確認できなかった。しかし、埋め土中に含まれるテフラ分析は行わなかった。そのため、溝の構築時期について、積極的にAs-B以降とはいせず、時期不明としておく。

## V

西区、尾根頂上部に竪穴住居1軒、同東向き斜面で2基の土壙を検出した。

**B J - 1号住居** (図22・23、PL. 6・17・18)

**形状** B H - 3号住居に一部を切られている。東西辺長2.48m、南北辺長5.14mの長台形を呈する。壁は垂直に立ち上がり、坪高は0.37mである。

面積 19.54m<sup>2</sup> 方位 N-64°-W

床面 竪い叩き締め状である。

**炉址** 北中央に長軸0.64m、短軸0.53mの地炉跡で、石皿(図23-7)が立位で据えられていた。焼土はあまり顯著ではない。

**遺物** 出土遺物は少なく、床面に貼り付いた状態で、(図22-1・4・6・10)が出土した。また、石器は大型削器(図23-2)等が壁に密着の状態で出土した。

**備考** 住居東壁に土壙が1基検出された。土壙は直径0.62mの円形で、深さは0.24mであった。上面に人頭大の安山岩礫が入っていた。また、住居中央の、埋め土中、床面より15cm程浮いた位置で、厚さ3cm程の焼土層が確認された。周溝、柱穴は検出されなかつた。本住居の時期は、出土遺物が少ないが、床面出土の遺物から木遺跡Ⅲ群土器、繩文時代前期後半の黒浜式期

## 縄文時代の遺構と遺物

にあたる。

**B J - 1号土壙** (図24、PL. 7)

**形状** 西区の東向き斜面で、湧水の沢へと落ち込んでいく落ち際に検出された。B J - 2号土壙と並んで検出された。長軸長1.10m、短軸長0.9mの不正円形である。壁はほぼ垂直に立ち上がり、深さは、確認面から0.3mである。

**遺物** 埋め土中より繩文土器の細片が出土した。また、土壙の確認面の上は厚い縄文早・前期の包含層となっており、図28-8等の土器が土壙の確認面上から出土している。

**B J - 2号土壙** (図24、PL. 7)

**形状** 西区の東向き斜面で、湧水の沢へと落ち込んでいく落ち際に検出された。B J - 1号土壙の東に並んで検出された。平面形は長軸長0.94m、短軸長0.9mの不正円形である。壁は僅かにオーバーハングする。深さは、確認面から0.43mである。

**遺物** 埋め土中より繩文土器の細片が出土した。

**B J - 1, 2号土壙**の所属時期は、埋め土の状態や上面の包含層の状態から縄文時代前期後半以前のものと考えられる。

縄文時代の包含層は、西区は、Bmno-2～5グリットを中心とする範囲と、東区では、Bop-17～20グリットを中心とする範囲とに分けられる。この他に西区Aグリットで若干の遺物の出土をみた。

西区の包含層中から出土した遺物総点数1,042点、その内土器811点、石器は231点である。土器811点の内、縄文以外の土器点数は76点である。

東区では、遺物総点数1,057点、その内土器821点、石器は236点である。土器821点の内、縄文以外の土器点数は271点である。

## 1 土器

東西両区の包含層から出土した縄文土器を、文様を基準として分類するとⅠ～IX群に分けられる。

Ⅰ群 草創期終末期撫奈文系土器群

Ⅱ群 早期前半撫奈文系土器群

Ⅲ群 早期前半押彌文系土器群

Ⅳ群 早期前半沈線文系土器群

Ⅴ群 早期条痕文系土器群

VI群 早期縦文系土器群

VII群 早期終末～前期前半織維縦文系土器群

VIII群 前期後半竹管文系土器群

IX群 中期土器群

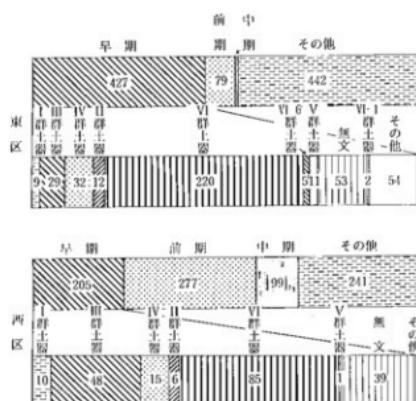


表1 包含層出土土器時期別内訳表

東西両区の包含層出土の縄文土器1,285点の時期別の内訳は表1のようである。

Ⅰ群 草創期終末期撫奈文系土器群 (図25-1・2、図33-1～9、PL. 19・30)

東西区合わせて10点が出土した。西区図25-1はほぼ完全形に推定復元できた。文様は施文が浅く、口縁部周辺にわずかに縱方向の細かな条痕様の文様が施文される。一部に筋が見えることから、原体Rが巻かれた単軸絡条体第1類を回転させずに引きずった絹糸条痕の土器と考えられる。

推定高22.37cm、口径19.85cmで砲弾形の器形を持ち、底部は小さな乳頭状の尖底となる。器壁は比較的薄く、外面は丁寧に調整されているが、内面の調整は粗く、全体にゴツゴツした感がある。胎土には、輝石、片岩片等の混入が認められる。

図25-2は、口縁部端部で僅かに外反し、口唇部は角錐状となる。原体R Lの縦文が横位に副部、口唇端部に施文される。内外面共に丁寧な調整が施されるが、内面に引っ搔き傷状の擦痕がある。胎土には金雲母片、輝石等を含む。

東区図33-1は、口縁部破片で、口唇部は僅かに外反する。原体は単軸絡条体第1類で原体1段Rが巻かれる。赤褐色で内面は調整が粗い。

図25-2は太い原体R Lを縦位に施文する。胎土は砂粒、輝石、長石を多く含み、内面は黒色で調整は粗くザラザラした感がある。

図25-3・4は条間が広く、筋が粗大な縦文が施文される。原体はR Lが用いられる。胎土、焼成、裏面の調整とともに2によく似る。

図25-5は筋間の広い、粗大な原体Rを用いた単軸絡条体第1類が施文される。胎土は砂質で内面の調整は粗い。

図25-6は原体Rを用いた単軸絡条体第1類である。胎土は精製され、赤褐色で内面は丁寧に調整される。

図25-7・8は口縁部に沈線を1条巡らせるもので、副部は無文となる。口唇端部は丸い。7の胎土には片岩や赤褐色の鉱物粒を多量に含む。

図25-9は丸底状の尖底部である。水晶粒、雲母粒を含む。

## II群 早期前半擦痕文系土器群 (図26-24~27、図34-23~36、PL. 19・34)

東西区合わせて28点が出土した。西区図23-24~27、東区図34-23~36は、いずれも外面に横方向のハケで掻いたような擦痕がみとめられ、内面は丁寧に調整される。他の文様は認められない。胎土も共通で、長石、輝石等を多く含む。

## III群 早期前半押形文系土器群 (図25-3~35、図26-1~21、図33-10~37、図34-1~17、PL. 20・21・32・33)

東西区合わせて96点が出土しているが、ほとんど山形押形文が施文されたもので、3点のみ格子目押形文が施文されたものが出土した。格円押形文は1点もない。

図25-3、図33-10は口縁部に横位施文その下に縱位に山形押形文が施されたものである。

図33-11は縦位施文は空白部を持つ帶状施文となる。内面にも同様な施文が行われる。

図25-3は空白部を持たず、密接施文となる。

同図4~6、図33-12は口縁部から縦位のみの帶状施文となる。

図25-8、図33-13~17は横位の帶状施文となる。

図26-19~21は格子目の押形文の施文されたものである。同図19、20は列点状の格子目、21は規則的な斜格子である。

胎土は精製され、輝石や片岩等を含み堅緻なものと、砂粒を多く含み、軟質なものがある。色調も、赤褐色系と淡褐色系とに分かれる。

## IV群 早期前半沈線文系土器群 (図26-29~43、図27-1~3、図35、図36-1~27 PL. 22・31・35・36)

沈線で平行線や斜線が施文されるものと、平行沈線やその間にペン先状に尖った竹管状の工具を用いて列点や連続爪形文様の文様、あるいは貝殻腹縁文が充填されるものがある。沈線の太さも太いものと、細く織細なものとに2分される。胎土は精製され、輝石や長石（白色鉱物粒）を含むものが多い。黒色鉱物粒（角閃石）を含むものもある。纖維は含まない。色調は、赤褐色系のものと淡黄褐色系のものがある。

図35-1は脣部中位の大型破片で、下部はやや太いへら状工具による間隔の空くざっくりした押し引き状の沈線が充填される。その上位に細い沈線で平行線が

3条程施文され、右上がりの平行斜線が引かれる。裏面は丁寧に調整されている。胎土には長石粒や輝石を多く含む。太い平行沈線の施文や胎土は45・46と共通する。

図35-2~10・15~30は細い沈線で平行線が数条描かれるものである。

図35-2~6は数条の平行沈線の下に沈線による平行斜線を交互に交差させている。

同図19も同様な文様構成を探るが、沈線が太く、平行斜線が綾衫状になる。

同図6は平行沈線を数条引きその上から平行沈線を垂下させている。口縁部は角頭状で小さな突起を持つ。

同図5は浅い平行沈線を垂下させている。小型の土器である。

同図12は平行沈線に端部の丸い棒状工具による列点が充填されるもので波状口縁となる。

同図13・14も波状口縁となるが文様はへら状工具による連続爪形文や連続刺突文が施文される。同図11は口唇部にも刺突が施される。

図26-37・38、図36-12は平行線間に貝殻腹縁文を充填したものである。図26-29は細かな条痕文の地文の上に貝殻腹縁による沈線が施文され、口唇端部裏面には貝殻復縁の押さえ痕が残る。

図36-27は乳房状の尖底部破片である。表面は丁寧なミガキが施され、胎土は精選され、輝石を含む。

図27-1・2は同一個体と思われる。器形は口縁部が外反し、胴上半部に肩曲を持つ。文様は、浅い条痕文を地文として、細書き沈線と円形刺突、肩曲部にへら状工具による連続刺突、その下部に、平行沈線で弧線を描きへら状工具による連続刺突文を充填している。

IV群としたがVI群3類土器に分類される可能性もある。

## V群 早期繩文系土器群

### 1類 表裏繩文施文土器 (図26-22・23、図34-19~22 PL. 19・31)

図26-22・23は内外面に繩文が施文される土器で、口縁部の内外面と口唇部に繩文が施文される。

図26-22は内外面で擦りのことなる繩文原体が使われる。外面L R、口唇及び内面はR Lとなる。

図34-19は縦位の帶状施文となる。やはり内外面となる原体で施文される、外面はR L、内面L R

図26-23は外面は口唇直下に無文帯を設け、その下にL Rの繩文を施文し、内面には口唇直下からL Rの

縄文を1段施文している。

口縁部形態は、図26-22は、角頭状となるが、図34-19は肥厚する。胎土には繊維を含まない。

図34-20~22は脣部破片である。内外面共にL.Rの縄文が施文される。

#### VII群 早期条痕文系土器群 (図27-4~24、図36-28~34、図37-38、PL. 23・24・37~42)

##### 1類 微隆起線文が斜行するもの (図36-28・29)

東区で2点出土している。条痕文は施文されず、微隆起線のみが施されるものである。胎土には繊維を含まない。29は小型の土器である。

##### 2類 刺突文を持つもの (図36-30~34)

地文として条痕文を持つもの31~34と持たないもの30とに2分できる。

図36-30は口唇部にヘラ状工具によるハの字状の刻みを持ち、口唇直下から3~4段の刺突文を巡らす。刺突は、草木類の茎を用いたものか。胎土には片岩、チャート片、長石片を多く含み、獸毛状の繊維を含んでいる。

同図31~34は同一個体か。条痕文を地文とし、そのうえに、2本1単位の刺突が口唇部直下より7段以上にわたって横走して施文される。口唇部にはヘラ状工具による刻み目をもち、ゆるやかな波状口縁となることも考えられる。胎土には片岩、チャート、長石片と金雲母片を含む。

##### 3類 微隆起線と円形刺突を持つもの (図27-4、図37-1~6)

外外面に条痕文が施され、その上に微隆起線が斜行あるいは横走し、その微隆起線上に円形刺突文が施文される。脣部には眉曲を持つ。口唇部前面に刻み目を持つもの (図37-1・2) や口唇部中央が凹面となるもの (図37-3・4) がある。

##### 5類 太い沈線による曲線が施文されるもの (図27-5)

1点のみ出土している。外面にのみやや粗い条痕文が施されそのうえに太い平行沈線で曲線を描く。胎土は精選され、繊維等の雜入物を含まない。焼成も良好である。

##### 6類 縞条体圧痕文土器 (図37-20・21)

図34-21は、脣部破片である。縞条体が2段にわたって横位の施文される。内面には条痕が施される。胎土には繊維を僅かに含み、白色、半透明鉱物粒を多く含

む。

同図20は、口唇から口縁部にかけて、斜位に縞条体を押し付ける。口縁部は外反する。内面にのみ条痕を施すが調整は粗い。繊維を僅かに含む。

図24-7は、口唇及び口縁部直下に縞条体を施す。口縁部は直線的に開く。内面の調整は粗い。胎土には繊維は含まない。

#### 7類 条痕文のみ施されるもの (図27-6~24、図37-19、図38-39-1~4)

図37-19は、口唇から口縁端部に櫛状工具の圧痕あるいは短い縞条体を斜位に施し、以下脣部には細かい条痕文を施す。内面には口縁部にのみ条痕文を施す。口縁部はゆるやかな波状を成す。胎土には繊維を僅かに含む。

図37-7~18は、口縁部破片である。

同図7・8は口唇内面を削ぎ、内斜となる特徴的な口縁部を持つ。

脣部破片では、文様に着目した場合は、粗くざっくりした条痕文のものと条線状で細く細かいものとに分類される。また、施文方法に着目した場合では、外面のみ施すものと内外面ともに施文するものとに分けられる。さらに、胎土での分類では繊維を含むものと含まないもの、片岩片を含むものと含まないもの等に分類できる。

#### VII群 早期終末~前期前半繊維縄文系土器群 (図28-1~23、図29-1~28、図39-5~18 PL. 25~28・42・43上)

条痕文系土器から関山式までを一群とした。条痕文土器については、VII群土器の脣部破片の一部は、VIII群となる可能性もある。

図28-4は、底部破片である。外表面及び底部外表面に条痕文を施す。底部は小さな上げ底となり、脣下半部が丸みを帯びる。胎土には繊維を多く含む。

図39-5・6は、貝殻背面圧痕文をもつもの。胎土には繊維を多く含む。

図28-7は、尖底部破片である。R.Lの縄文を羽状に全面に施す。胎土には繊維を多く含む。

同図5・6は縄文が縦位施文された特徴的な土器である。縄文原体は8段多条のR.Lを用いている。胎土には多量の繊維を含む。

(図28-8~23、図29-1~28、図39-8~18)は関山式土器を一括した。いずれも胎土には繊維を含む。

粘土縄の貼付文を持つものは東西区で各1点ずつ出土している。

図28-10は胸上半部の破片で、縦長の粘土瘤を貼る。

図39-9はコンパス文の上に円形の粘土瘤を貼付する。

図28-8は胸部下部の大型破片で、全面に鉤紐を施文し、半裁竹管による平行沈線で連続山形文を上下2～3段全周させている。

同図11～23は口縁部に半裁竹管による山形文や菱形文を施す。

同図11は平行波線と円形竹管文を施す。

同図9は波状口縁で胴中央に竹管による連続縦線を全周させる。

図29-28はL Rの原体を向後に施文することによって菱形の文様を作り出している。また、原体の端が区画文のような効果を出している。

る。(図36-25・39・40)

他は、勝坂、加曾利E式土器である。総て、西区からの出土である。

2 石器

西区では48点、東区では52点の石器が出土したが、その内2点が剝片、碎片類である。2次加工のある剝片を含めて石器と考えられるものは、總て図示した。石器の出土層位は、基本層序第IV層であり、一部には表採されたものも含んでいる。

石鏃6点(図31-1・2、図40-1~4)、石錐2点(図31-3、図40-6)、石匙1点(図31-6)、ピエス・エスキュエ7点(図31-8~14)等さまざまな石器がまんべんなく出土している。(表2)特徴的な石器の出土は無い。削器類の出土が多く、スタンプ形石器は認められない。

VIII群 前期後半竹管文系土器群(図39-19~18、PL. 43下)

黒浜式土器から諸磣、浮島式までをVIII群とした。

出土点数は少ない。

図39-21は半裁竹管による連続爪形文を施文したもの。

同図34～36は貝殻腹縁による連続鋸歯文を施したもの。

IX群 中期土器群(図29-29~36、図30・図39-25、  
39~41、PL. 29・31)

中期前半の結節をもつ縄文を縦位に施文したものが東区で3点出土している。胎土には金雲母を含んでい



表2 包含層出土石器組成表

御殿遺跡の調査では、平安時代の遺構と縄文時代の包含層等が検出され多くの遺物が出土した。その中で縄文時代の包含層の遺物分布について触れ、さらに特筆される「鏡」の鋳型の問題や御殿遺跡の平安集落の成立の問題にふれてまとめとしたい。

### 1 縄文時代包含層内の遺物分布について

遺物の分布は谷よりの緩斜面地に集中する。(図6)西区で最も遺物の出土が多いBm+m-4グリットは、急傾斜地にあって僅かに傾斜がゆるくなる部分である。東区では沢よりも平坦な部分に集中する。また、そこは、包含層が最も厚く残る場所でもある。遺物の出土量は、包含層の厚さに比例する。しかし、時期別にみると必ずしも包含層の層厚とは関係がない。(図4)なぜなら、西区では、前期・中期の遺物を比較的多く出土しているのに対して、東区には中期の遺物は1点のみであり、前期の土器も少ない。時期を異にして遺跡の選地傾向に差異があることが分かる。

最も出土点数の多い早期の土器は、細別ごとの分布をみても明瞭に分布を異なる細別土器の傾向は何えない。また、包含層内の層位的な細分は不可能であった。いずれにしても、本遺跡の早期土器群は、赤城山南麓の山地地域における縄文時代早期土器群の好例と言えよう。

### 2 BH-5号住居出土の鋳型について

住居床面からまとめて出土した鋳型は、雑密系の法具「鏡」の鋳型である。鋳型をもとに、出土した鋳型がすべて同一個体であるという前提で、原型を推定復元したものが図5である。管見する限りでは現存する「鏡」には同范のものは見当たらない。男体山山頂遺跡出土の一群の「鏡」を古式とし、茨城県新治村出土鋳型を新式とすると、古式と新式の中間形式とも思われる。ただし、御殿遺跡BH-5号住居出土の鋳型はその共伴遺物から考えて、9世紀中葉から後半の年代が考えられよう。

BH-5号住居の鋳型は住居窓状遺構前の直径0.6m前後の浅い掘り込み及びその周辺から床面密着あるいは一部が床面にめり込む状態で出土した。浅い掘り

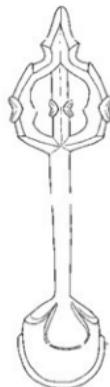


図5 御殿遺跡出土「鏡」推定復元図

込み内には炭化物、焼土等が多く認めら、床面も焼けて赤化していた。ただし、鉄滓は全く出土しなかった。銅滓は極小片が1点のみ認められた。鋳型はよく焼けており、湯道の周辺には胎土が熱のため発泡した部分もある。以上のことより、一応、BH-5号住居は小規模ながら炉を持った、鍛冶遺構としてとらえられよう。

ところで、これまでの密教法具の鋳型の出土例をみると、寺院跡との密接な関係が指摘される。ただし、法具関連の鋳型を出土した遺跡はあまり多くはない。薩摩国分寺跡他数例報告されている。最近の例をみると、徳島県大浦遺跡では錫杖や金剛杵などの密教法具の鋳型がまとめて出土している。また、群馬県では高崎市西島遺跡群5号住居から三鈷杵の鋳型が出土している。いずれも、近接する地域あるいは遺構が寺域やそれに想定される地域内にある。高崎市西島遺跡群出土例は、新保磨寺が想定されている寺域内にある。また、茨城県新治郡新治村の「鏡」鋳型が採集されている藤沢地区も、古代末の寺院跡の密集地である。特に、この地域は「東國の化主」とよばれる、律一開基の伝承を持つ寺の多い地域でもある。

法具の鋳型出土遺構と寺院あるいは何らかの宗教施設とは密接な関連があることが伺える。御殿遺跡例も

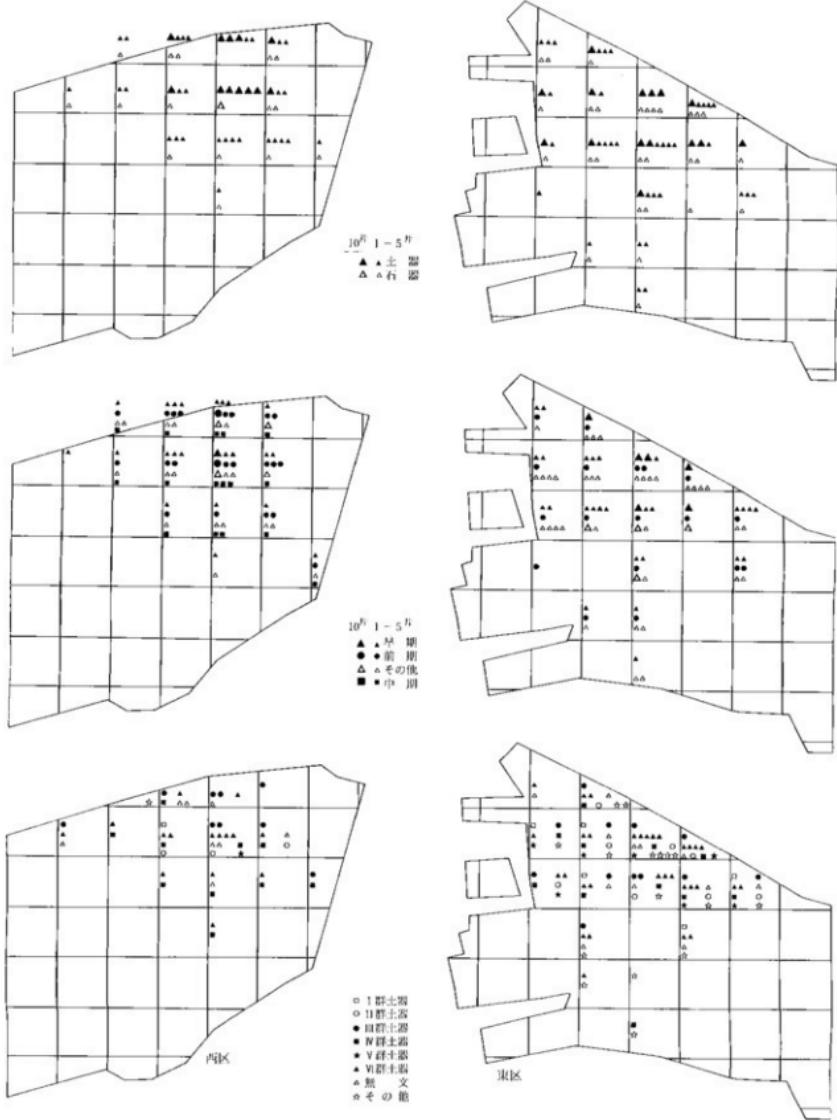


図6 御殿遺跡遺物包含層遺物出土概念図

隣接する今泉家裏礎石群や、北方500mにある宇通遺跡との関係を十分考慮する必要がある。

また、「鏡」が稚部密教に係る法具であり、男体山山頂遺跡から、まとまって6本の出土例を見ている。男体山は「勝道上人」開山の伝承を持ち、赤城山もまた「勝道上人」開山の伝承を持つ。そして、赤城山南麓地城や片品地方に残る伝説や説話の中にも日光男体山と赤城山との関わりを説くものがある。「鏡」をめぐる問題は、赤城山信仰の成立という問題とも密接に関わりを持っている。今後の研究の課題である。

### 3 山間地平安時代集落の成立 —サトとオクヤマの間—

御殿遺跡では縄文時代草創期末から中期までの遺構と遺物、平安時代前期の堅穴住居が検出された。縄文時代中期以降平安時代までの遺構は全く存在しない。伝統集落地域とは異なる第二次新開集落地域の遺跡といえる。

検出された平安時代の7軒の堅穴住居は、その出土遺物から、統て9世紀後半代（坂口編年XXX段階）<sup>ii7</sup>に位置付けができる。また、堅穴住居の形態は、5住・6住を除いて、一般的な堅穴住居である。そこから、出土した遺物も5住の特殊な遺物（鋳型）を除けばごく一般な出土遺物であるといえる。御殿遺跡は、時間的に限定されるものの一般的な平安時代集落ということができる。また、御殿遺跡は、赤城山南麓の山間僻地、急斜面地という特殊な地理環境に立地する。しかし、遺跡の立地を詳細に見た場合、現在ではシクラメン畠地の造成により大きく改変されてはいるが、広い湿地帯が開ける場所であったという。それは、近世末にはじまる中之沢の歴史のなかで最初に入植がなされるのがこの御殿湯の1の地であったことからも伺える。御殿遺跡の立地する環境は、豊富な湧水を背景として、南に湿地帯が開けている地形であり、水田耕作が可能な地域であるといえる。翻って、赤城山南麓の標高500m以上の地域を概観した場合、最も水田耕作に適した地に立地していると言えよう。明かに、御殿遺跡の平安時代の集落は、水田耕作を指向している。

赤城山南麓の山麓地域の開発の過程は、すでに、新里村や柏川村の遺跡の詳細分布調査の成果から考察が加えられている。<sup>ii8</sup> それは、この地域の弥生時代から、古墳時代、奈良・平安時代へ至る遺跡の分布を見た場合、時代が下がるにしたがって、遺跡数の増加傾向と

遺跡の分布の高標高地、山間地への拡大傾向が看取できる。しかも、その高標高地・山間地への遺跡進出地は、必ず、水田可耕地を指向している。御殿遺跡もその好例として捉えられよう。しかし、反面、山間地一すなわちここでは赤城山の高標高・山間僻地への集落の拡大は、伝統集落地域のそれが面的な拡大とするならば、点的な拡散であるともいえる。また、水田耕作が不可能な場所に立地する遺跡も存在する。（図3）

かつて、能登は水田耕作を背景とした山棲み集落地域とは別に、畠作を背景とした山棲み集落地域があることを明かにし、それぞれの地域には「サト」と「サト」の延長としての「ヤマ」—「サトヤマ」と、それとは隔離された空間としての「オクヤマ」という2つの「ヤマ」の概念を提示した。赤城山南麓地域は、サトとサトの延長、外縁部としてのサトヤマに該当するとされた。また、赤城山南麓地域に多く分布する大型炭窯に着目し、サトにおける第2次新開集落が地域特性を活かして、新たな産業を定着させていくとともに、山間地の産業を規定して行ったともした。<sup>ii9</sup>

柏川村地域では7世紀後半代には、深津三ヶ戸西遺跡に代表されるたら製鉄が開始される。また、8世紀以降のタカラ製鉄址が赤城山南麓地域には多く分布する。同様にタカラ製鉄と不離の関係にある大型炭窯の分布も濃厚である。宮城村では標高370mに位置する芳見沢遺跡で、9世紀中葉の大型炭窯が2基検出されている。ここに、新たなヤマの開発が指向された要因の一つが考えられる。

今のところ、赤城山南麓山間地への進出は、9世紀中葉を瀬らない。それは、これまで、柏川村や宮城村の標高350m以上で確認されている15箇所の遺跡の出土遺物から明らかである。弥生時代以降みられなかった赤城山南麓の高標高山間地への進出が9世紀中葉を契機として積極的に開始されることとなる。

また、一方では、前述した現象として「鏡」の鋳型や宇通遺跡として現れてくる山岳佛教の台頭という社会状況とも呼応していることも考えられる。平安新仏教と奈良仏教との確執の中、各地に山岳修行の山や寺院が開かれて行く。特に、赤城山南麓地域では、サトヤマの拡大と、宗教的なタケとしてのヤマの開発とが合致し、その結果、宇通遺跡や御殿遺跡が成立することとなるのではないだろうか。これらの現象はまた、能登が撤退するような9世紀代の集落の小規模化や、10世紀後半における堅穴住居の消失などの一連の古代

集落の変質に係わる問題をも内包していよう。今後の赤城山南麓の高標高山間地遺跡の調査の進展に期待がもたれる。

- 注1 「日光男体山」山頂遺跡発掘調査報告書  
昭和38年 日光二荒山神社
- 注2 杉山 洋「寺院付属の金属関係工房—梵鐘及び金属工房など」 仏教美術148号
- 注3 山 奥 潤山雄一「徳島県大浦遺跡」  
日本考古学年報38号 1987
- 注4 西島遺跡群(IV) 高崎市文化財報告書第76集 高崎市教育委員会 1987
- 注5 大江正行「新保田中村前遺跡出土瓦の検討」 新保田中村前遺跡III 1993  
筑群馬県埋蔵文化財調査事業団
- 注6 勢多郡誌 勢多郡誌刊行会1958年
- 注7 板口 一「奈良平安時代の土器編年—住居の重複と共伴関係による土器型式組列の検討」  
群馬県史研究24 1986
- 注8 能登健他「新里村の遺跡」新里村教育委員会 1984  
能登健他「柏川村の遺跡」柏川村教育委員会 1985  
能登健他「赤城山南麓における遺跡群研究」  
信濃35-4 1983
- 注9 岩岸遺跡—里塙み集落の発掘調査—  
新里村教育委員会 1985  
能登健他「ヤマ塙み集落の出現とその背景」 信濃37-4  
1985 4月
- 能登健「新田町誌第4巻」 1984
- 注10 宮城村教育委員会 繩野高伯氏教示
- 注11 注9と同じ

挿 図

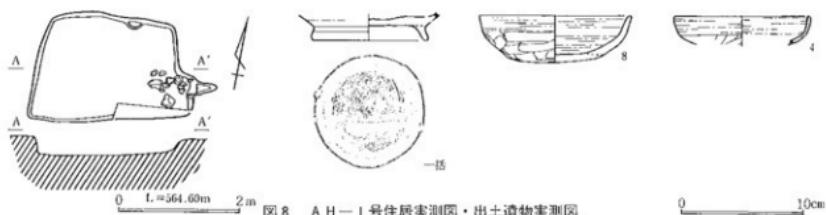
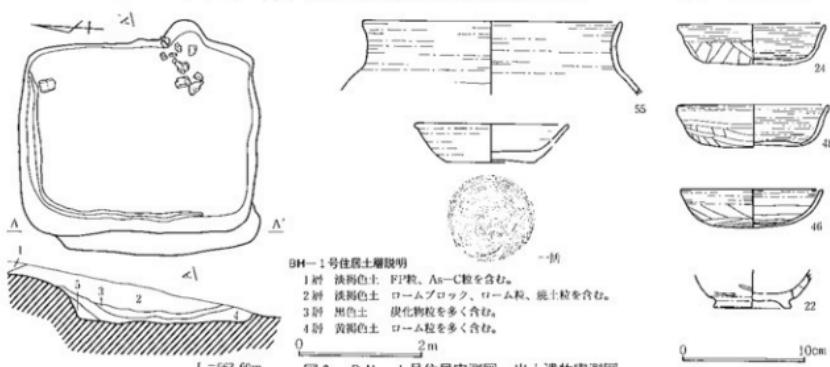


図8 AH-1号住居実測図・出土遺物実測図



BH-1号住居土層説明  
1層 淡褐色土 FIP粒、As-C粒を含む。  
2層 淡褐色土 ロームブロック、ローム粒、施肥粒を含む。  
3層 黑色土 未分化物粒を多く含む。  
4層 黄褐色土 ローム粒を多く含む。

図9 BH-1号住居実測図・出土遺物実測図

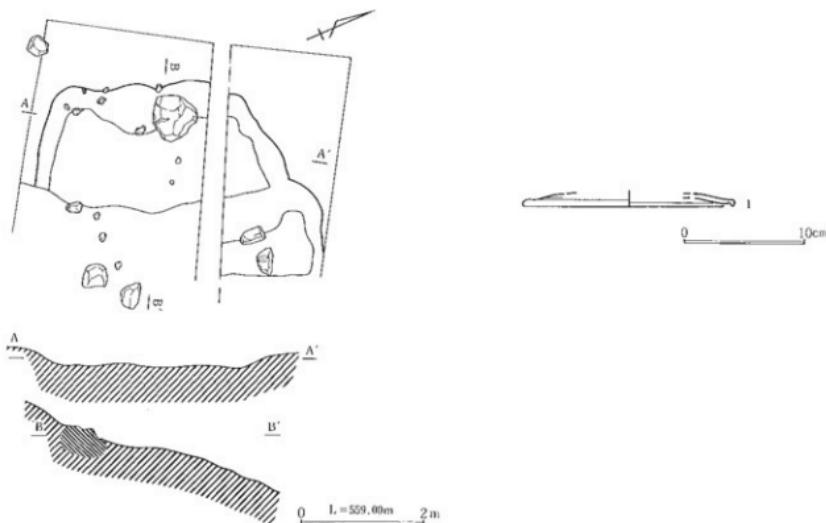
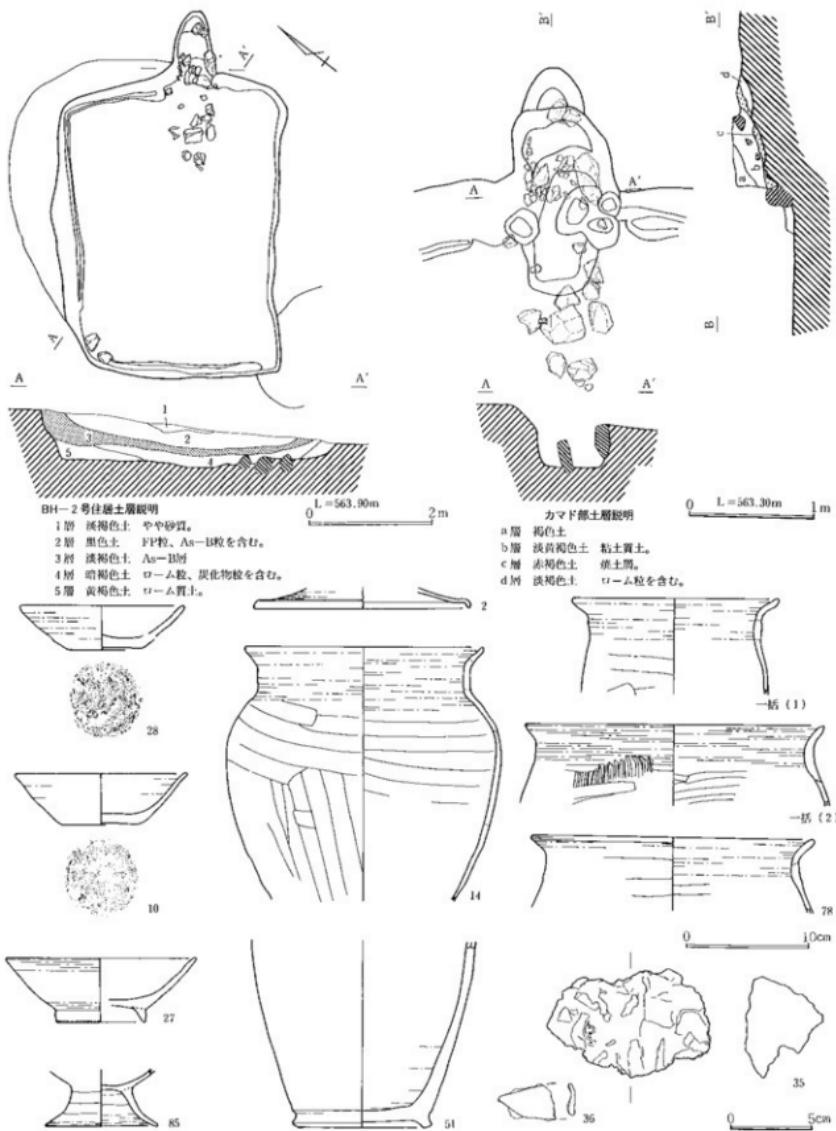


図10 BH-4号住居実測図・出土遺物実測図



図II BH-2号住居実測図・出土遺物実測図

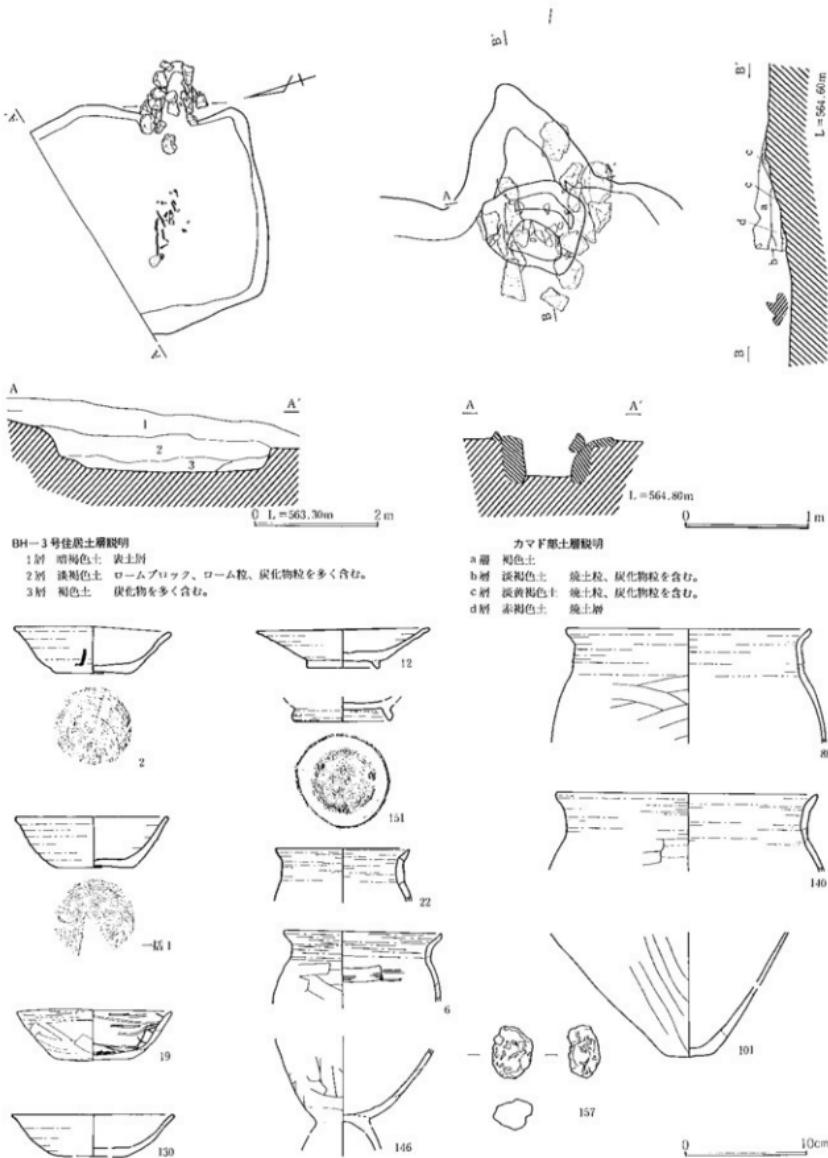


図12 BH-3号住居実測図・出土遺物実測図

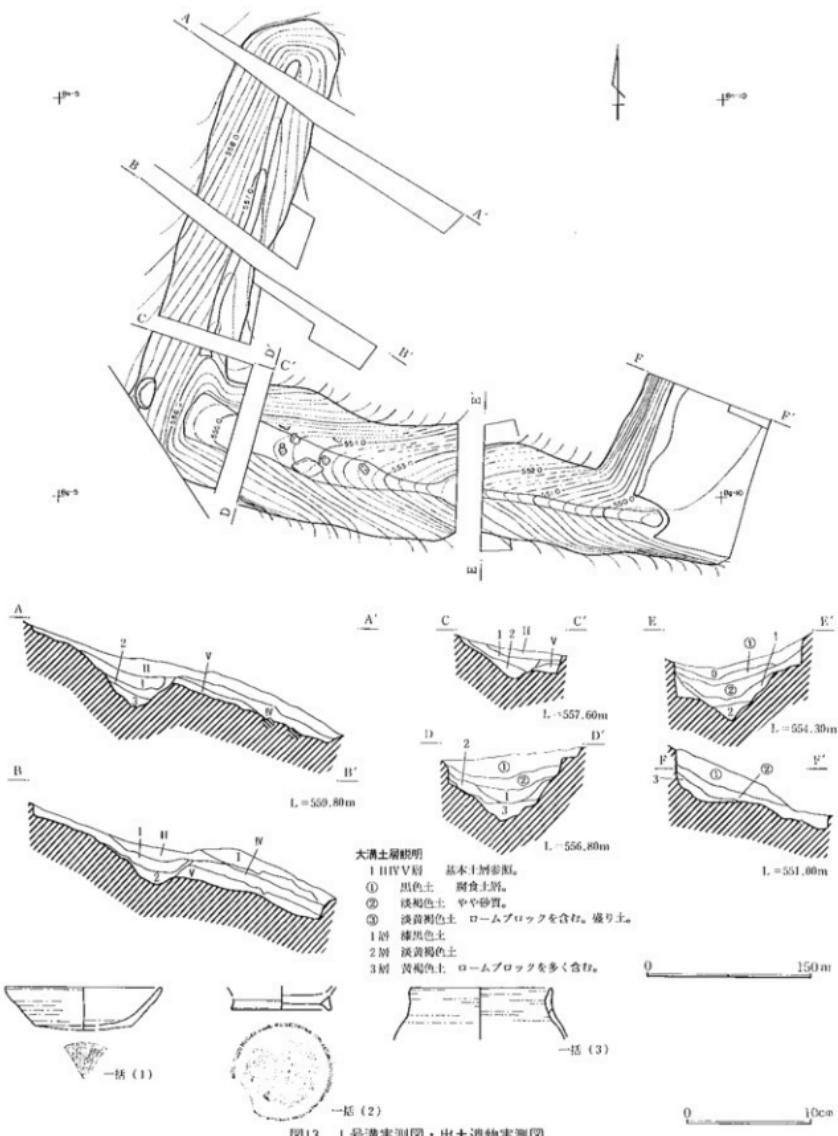


図13 1号溝実測図・出土遺物実測図

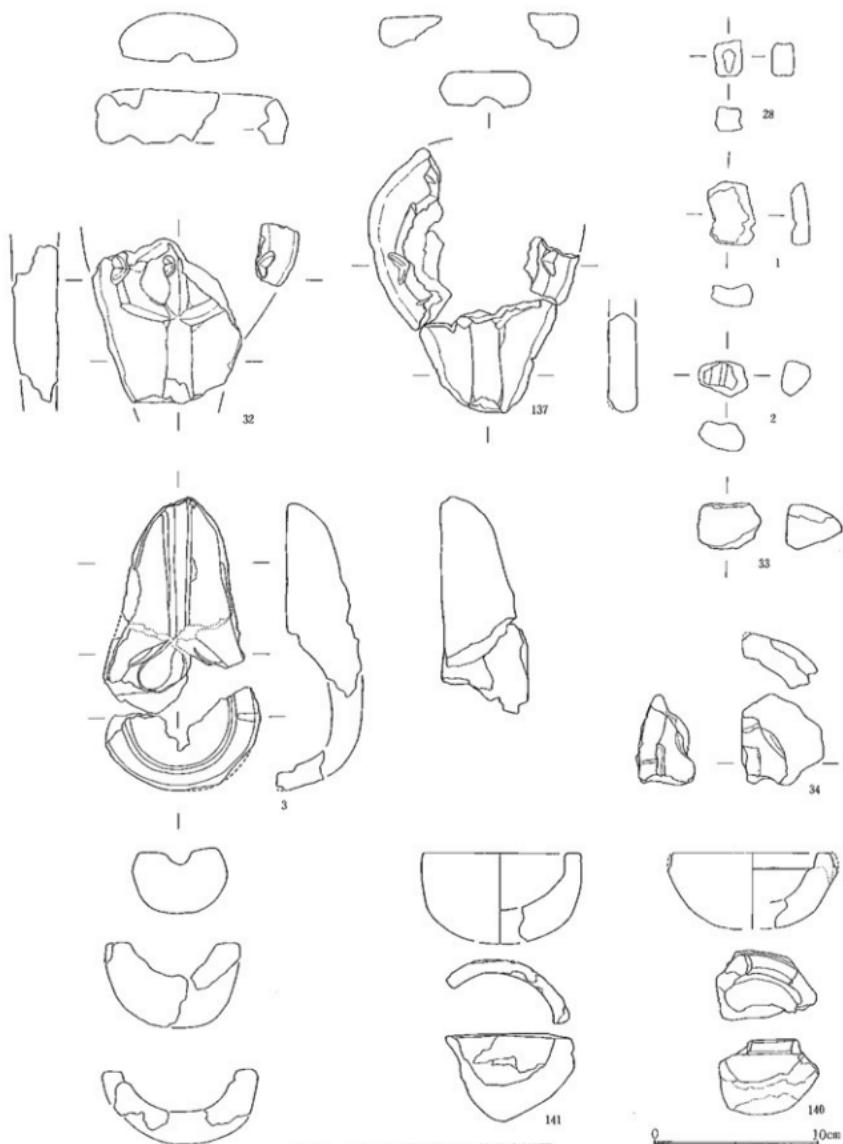
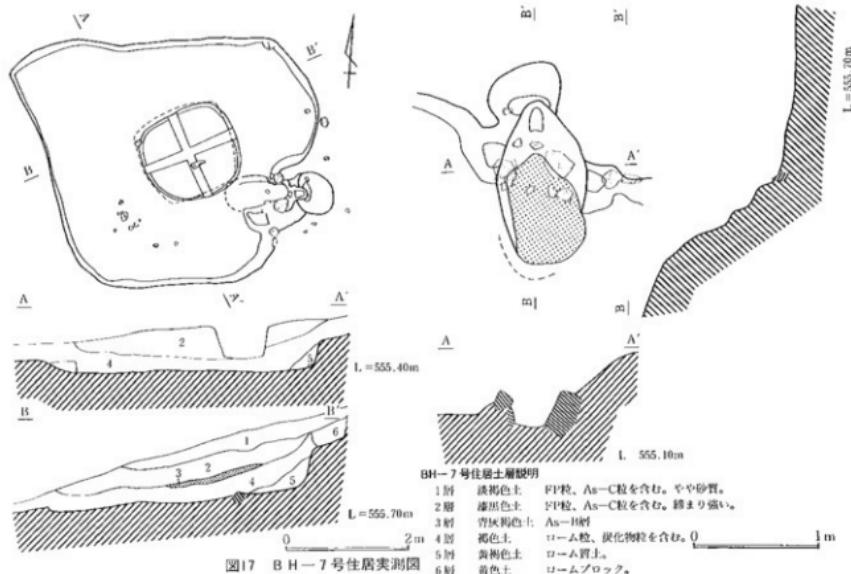
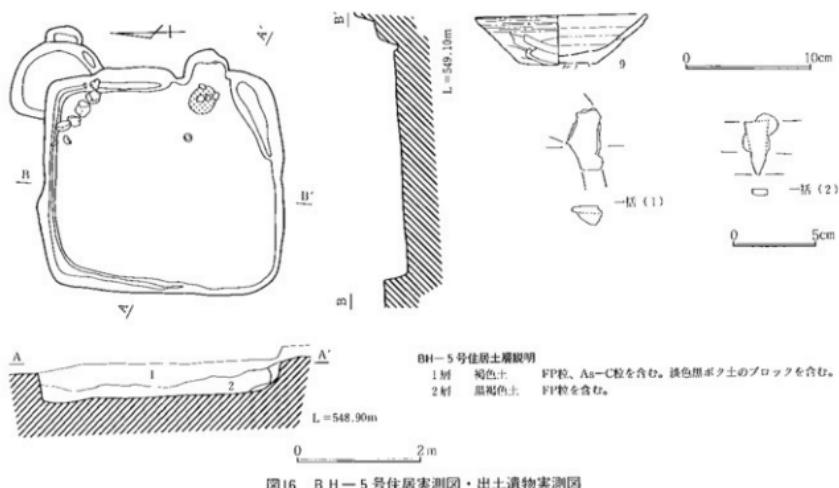


图15 BH—5号住居出土陶型实测图



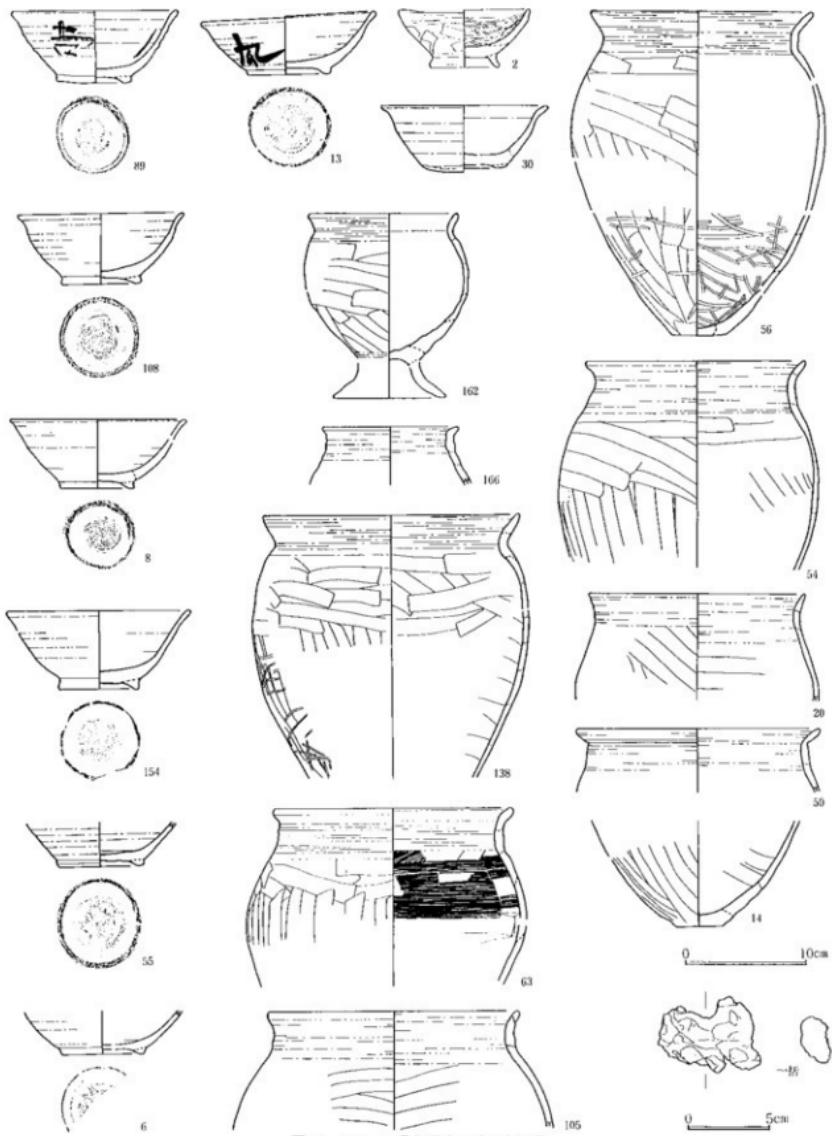


图18 BH-7号住居出土遗物实测图

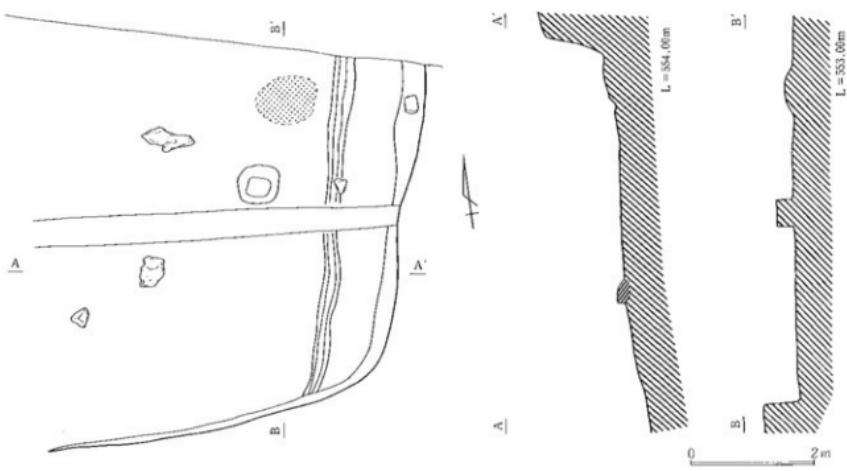


図19 BH-6号住居実測図・出土遺物実測図

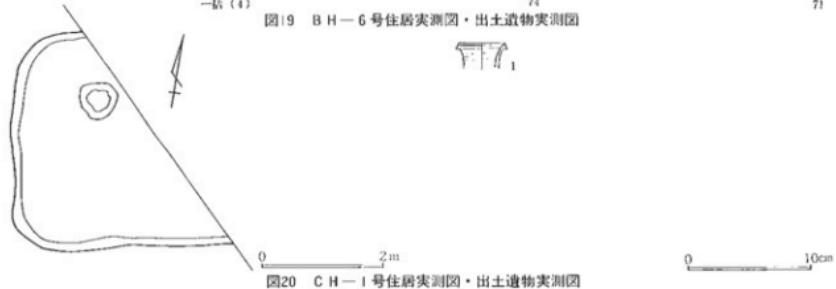


図20 C H-1号住居実測図・出土遺物実測図

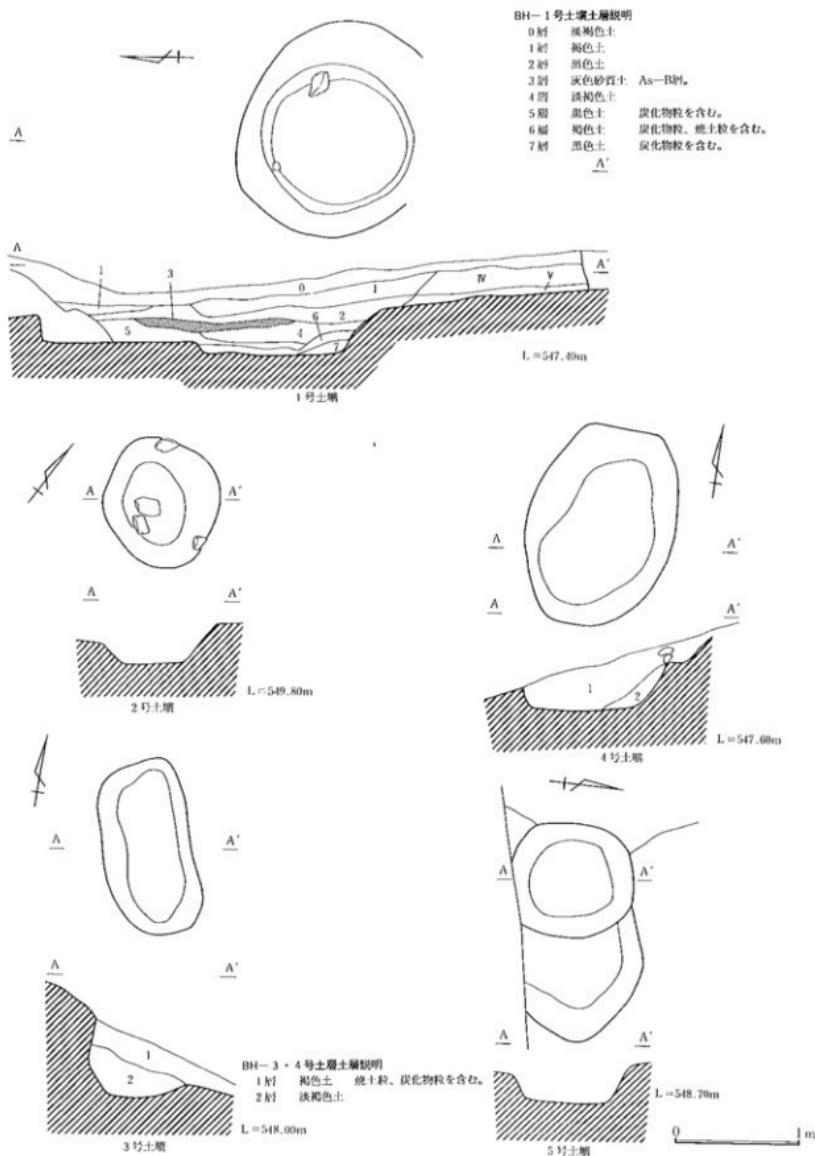


図21 東区土壤(1~5号)実測図

AH-1号住居出土遺物観察表(図8、PL.13)

| 番号 | 器形        | 法量<br>器高<br>口径<br>底径 | 器形の特徴                         | 外面調整                      | 内面調整   | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                |
|----|-----------|----------------------|-------------------------------|---------------------------|--------|-------------------------------------|
| 一括 | 高台付き楕(灰釉) | 9.1                  | ロクロ成型。底部凹削余切りの後付け臺台。          | ロクロ成型。                    | ロクロ成型。 | ①7.5Y8/1灰白②深元③底部のみ④精製⑤焼成有り。やや軟質。⑥床面 |
| 8  | 环         | 3.7<br>12.05<br>7.2  | 底部は半底窓の丸底。側部は縦やかに内凹。口縁部は短く直立。 | 底部、脇部手持ちヘラ削り。<br>口縁部ヨコ削で。 | ヨコ削で。  | ①7.5YR6/6橙②酸化③光形④精製⑤床面環部            |
| 4  | 环         | (10.8)               | 口縁部は短く直立。                     | 口縁部ヨコ削で。脇部ヘラ削り。           | ヨコ削で。  | ①7.5YR6/4にぶい橙②酸化③口縁部の一部のみ④精製⑤埋め土内   |

BH-1号住居出土遺物観察表(図9、PL.13)

| 番号  | 器形              | 法量<br>器高<br>口径<br>底径 | 器形の特徴                         | 外面調整                    | 内面調整         | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                      |
|-----|-----------------|----------------------|-------------------------------|-------------------------|--------------|---|
| 55  | 甕               | (20.8)               | つのび口縁。口付部は外反。                 | 口縁部ヨコ削で。脇部ヘラ削り。         | ヨコ削で。        | ①2.5Y6/3Cにぶい橙②酸化③口縁部に一箇所精製。砂粒を含む④床面       |
| 24  | 环               | 3.2<br>12.0<br>9.3   | 底部は平底。口縁部は縦より直線的に開く。          | 口縁部ヨコ削で。脇部削り。底部ヘラ削り。    | ヨコ削で。        | ①5YR7/4にぶい橙②酸化③2/3④精製。砂粒を含む⑤床面            |
| 48  | 环               | 3.3<br>12.4<br>8.35  | 底盤は平底。口縁部は縦より直線的に開く。          | 口縁部ヨコ削で。脇部削り。底部ヘラ削り。    | ヨコ削で。        | ①7.5YR6/6橙②酸化③2/3④精製。跡行を含む。⑤内面黒色から床面      |
| 46  | 环               | 3.0<br>11.5<br>8.5   | 底盤は平底状の丸底。側部はやや内凹ぎみに、口縁部は開く。  | 口縁部ヨコ削で。脇部削り。底部ヘラ削りの後削。 | ヨコ削で。        | ①7.5YS/3Cにぶい橙②酸化③光形④精製。跡石を含む⑤内面に墨書き⑥床面    |
| 22  | 高台付き楕           | 3.0<br>11.5<br>8.5   | 高台部は短く、外に張る。                  | 高台部張り付け。脇部ヘラ削り。         | 削で。          | ②2.5Y7/2灰黄②酸化③底部1/3④精製。砂粒を含む⑤埋め土          |
| 一括1 | 环(転用鏡)<br>(須恵器) | 3.0<br>(12.4)<br>7.1 | 底盤回転余切り。口縁部は直線的に開き口縁部は僅かに膨らむ。 | ロクロ成型。                  | ロクロ成型。底部に光沢。 | ①2.5Y4/1黄灰②幕元③1/2④白色蒙物粒を含む⑤内面底部に朱漆残存か⑥埋め土 |

BH-1号住居出土遺物観察表(図10)

| 番号 | 器形         | 法量<br>器高<br>口径<br>底径 | 器形の特徴     | 外面調整   | 内面調整   | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態           |
|----|------------|----------------------|-----------|--------|--------|--------------------------------|
| 1  | 蓋<br>(須恵器) | (17.0)               | 縁部は短く折れる。 | ロクロ成型。 | ロクロ成型。 | ①5Y8/1灰白②深元③縁部の一部のみ④砂粒を含む⑤埋め土内 |

BH-2号住居出土遺物観察表(図11、PL.13)

| 番号 | 器形         | 法量<br>器高<br>口径<br>底径     | 器形の特徴                        | 外面調整                   | 内面調整      | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態              |
|----|------------|--------------------------|------------------------------|------------------------|-----------|-----------------------------------|
| 28 | 环<br>(須恵器) | 3.5<br>(13.2)<br>6.0     | 口縁部は直線的に開く。底部回転余切り           | ロクロ成型。                 | ロクロ成型。    | ①2.5YR8/4浅黄白②酸化③2/3④砂粒を含む⑤床面      |
| 10 | 环<br>(須恵器) | 4.0<br>13.8<br>4.4       | 口縁部は直線的に開き。(1番部は傾か外反。底部回転余切り | ロクロ成型。                 | ロクロ成型。    | ①2.5Y7/2灰黄②深元③一部欠損④砂粒を含む⑤内面に黒斑⑥床面 |
| 27 | 高台付き楕      | (5.1)<br>(15.2)<br>(7.2) | 口縁部は直線的に開く。底盤付け高台。           | 底盤、脇部ヘラ削り。<br>口縁部ヨコ削で。 | ヘラ研さ。黒色処理 | ①5YR6/4にぶい橙②酸化③1/3④砂粒を含む⑤内面黒色⑥    |

| 番号   | 器 形        | 法 量<br>器高<br>口径<br>底径 | 器形の特徴                                | 外面調整                   | 内面調整   | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                    |
|------|------------|-----------------------|--------------------------------------|------------------------|--------|---|
| 2    | 蓋<br>(須恵器) | (17.4)                | 縁部は丸みを帯び、<br>短く屈曲する。                 | ロクロ成型。                 | ロクロ成型。 | ①5Y7/1灰白②還元③口縁の一部のみ④精製<br>⑥             |
| 85   | 小形台付甕      | (9.0)                 | 高台部はハの字状に<br>開く。                     | 高台部ヨコ削で。<br>底で。        | ヨコ削で。  | ①5YR7/6模②酸化③高台部2/3④精製⑥                  |
| 14   | 甕          | (19.0)                | 最大径を肩部に持つ<br>11縁部はコの字状。<br>口唇は外反し唇引。 | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削で底の削り | ヨコ削で。  | ①2.5YR6/6模②酸化③1/2④精製。輝石を含<br>む⑥電燈道部     |
| 51   | 甕<br>(須恵器) | (11.2)                |                                      | ロクロ成型。                 | ロクロ成型。 | ①5Y7/1灰白②還元③底面1/2④石英粒を含<br>む⑥           |
| 一括 1 | 甕          | (16.4)                | 口縁部はコの字状。                            | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。    | ヨコ削で。  | ①5YR7/4によい模②酸化③口縁部の一澤④<br>精製。輝石を含む⑥窓内一括 |
| 一括 2 | 甕          | (23.8)                | コの字状口縁。                              | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。    | ヨコ削で。  | ①7.5YR7/4によい模②酸化③口縁部の一部<br>④精製⑥窓内一括     |
| 78   | 甕          | (22.6)                | コの字状口縁。                              | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。    | ヨコ削で。  | ①2.5YR6/6模②酸化③口縁部の一部④精製<br>⑥            |
| 35   | 鉄滓         |                       |                                      |                        |        |   |
| 36   | 鉄器         |                       | 鎌の一端か                                |                        |        |   |

BH-3号住居出土遺物観察表(図12、PL. 13)

| 番号   | 器 形           | 法 量<br>器高<br>口径<br>底径  | 器形の特徴                  | 外面調整                            | 内面調整                | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                       |
|------|---------------|------------------------|------------------------|---------------------------------|---------------------|--|
| 2    | 环<br>(須恵器)    | 3.7<br>12.7<br>6.5     | 底部凹板系切り。口<br>唇部は僅かに肥厚。 | ロクロ成型。                          | ロクロ成型。              | ①5Y8/2灰白②還元③4/5④砂粒を含む⑤外<br>面に墨斑。内外面に斑斑。⑥床面 |
| 一括 1 | 环<br>(須恵器)    | 4.1<br>12.4<br>6.4     | 底部凹板系切り。肩<br>部は僅かに内薄。  | ロクロ成型。                          | ロクロ成型。              | ①7.5Y7/1灰白②還元③2/3④精製⑤内外面<br>にタール状の褐化物⑥電燈一括 |
| 19   | 环             | 3.9<br>12.35<br>6.25   | 口縁部は直線的に開<br>く。        | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>压削。肩部、底部ヘラ<br>削り。 | ヨコ削で。               | ①5YR7/6模②酸化③充形④精製。砂粒を含<br>む⑤底部に墨斑⑥床面       |
| 130  | 环<br>(須恵器)    | 3.3<br>(13.0)<br>(6.0) | 口縁部は僅かに外反<br>する。       | ロクロ成型。                          | ロクロ成型。              | ①2.5Y8/2灰白②還元③1/4④精製⑤内外面<br>に墨斑⑥           |
| 12   | 高台付き瓶         | 3.2<br>13.7<br>5.6     | 底盤より直線的に開<br>く。口縁部は肥厚。 | ロクロ成型。                          | ロクロ成型。              | ①2.5Y8/2灰白②酸化③3/4④砂粒を含む⑤<br>底部内面に墨斑⑥床面     |
| 151  | 高台付き瓶<br>(灰釉) | 8.0                    | 高台部は大きく、外<br>側は大きく張出す。 | ロクロ成型。                          | ロクロ成型。              | ①5Y8/1灰白②還元③成形④精製⑤底部周辺<br>打欠⑥床面            |
| 22   | 甕             | (10.5)                 | コの字状口縁。口縁<br>端部は外傾。    | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。             | ヨコ削で。               | ①5YR5/3によい模②酸化③口縁部の一部<br>④精製⑥              |
| 6    | 小形台付甕         | (12.5)                 | コの字状口縁。口縁<br>端部は丸く、外傾。 | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。             | 口縁部ヨコ削で。頸<br>部にハケド。 | ①5YR7/4によい模②酸化③口縁部のみ④精<br>製⑤146と同一個体か⑥     |

| 番号  | 器 形   | 法量<br>器高<br>口徑<br>底径 | 器形の特徴                  | 外面調整                | 内面調整 | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                 |
|-----|-------|----------------------|------------------------|---------------------|------|--------------------------------------|
| 146 | 小型台付甕 |                      | ヘラ削り。                  |                     |      | ①5YR7/4にぼい黄②酸化③底部のみ④精製<br>⑤と同一個体か⑥   |
| 88  | 甕     | (19.8)               | コの字状口縁。口唇<br>部外傾。      | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。 | 掘で。  | ①2.5YR5/6明赤褐②酸化③口縁部1/5④精<br>製⑤       |
| 140 | 甕     | (21.6)               | コの字状口縁。                | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。 | 掘で。  | ①5YR7/6稍②酸化③口縁部2/5④精製。砂粒<br>を含む⑥     |
| 101 | 甕     | 3.8                  | 底部は小さく、肩部<br>直線的に立ち上がる | 底部ヘラ削り。             |      | ①5YR7/6稍②酸化③底部のみ④精製⑤外面<br>にタール状の付着物⑥ |
| 157 | 粘土塊   |                      | 焼けた粘土塊。                |                     |      | ①7.5YR8/6浅黄褐②酸化③光沢④精製⑥               |

B区大溝出土遺物観察表(図13)

| 番号  | 器 形            | 法量<br>器高<br>口徑<br>底径     | 器形の特徴           | 外面調整                | 内面調整   | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                     |
|-----|----------------|--------------------------|-----------------|---------------------|--------|--|
| 一括1 | 壺<br>(須恵器)     | (3.5)<br>(12.4)<br>(7.6) | 口縁部は直線的に開<br>く。 | ロクロ成型。底部回転<br>ヘラ削り。 | ロクロ成型。 | ①2.5Y6/1黄灰②還元③1/5④精製⑥埋め土                 |
| 一括2 | 高台付き瓶<br>(須恵器) | (7.9)                    |                 | ロクロ成型。              | ロクロ成型。 | ①2.5Y7/3浅黄②還元③底部のみ④砂粒を含<br>む⑤器面の荒れ跡有⑥埋め土 |
| 一括3 | 甕              | (11.4)                   | コの字状口縁。         | 掘で。                 | 掘で。    | ①5YR6/6稍②酸化③口縁部の一部のみ④精<br>製⑥埋め土          |

BH-5号住居周辺(1号掘立柱建物)出土遺物観察表(図14)

| 番号  | 器 形            | 法量<br>器高<br>口徑<br>底径   | 器形の特徴                              | 外面調整                           | 内面調整   | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態             |
|-----|----------------|------------------------|------------------------------------|--------------------------------|--------|----------------------------------|
| 41  | 壺<br>(須恵器)     | 3.8<br>(12.0)<br>(5.8) | 底脚4輪糸切り。<br>肩部は僅かに内凹し<br>口唇部は窪く外反。 | ロクロ成型。                         | ロクロ成型。 | ①5Y7/1灰白②還元③1/3④精製。砂粒を含む<br>⑥    |
| 48  | 高台付き瓶<br>(須恵器) | 6.1                    | 底部は回転糸切りの<br>後付け高台。高台部<br>は丸みを帯びる。 | ロクロ成型。                         | ロクロ成型。 | ①2.5Y7/3浅黄②還元③底部のみ④白色鉛物<br>粒を含む⑥ |
| 15  | 壺              | 4.0<br>(12.8)<br>(5.4) | 底盤は平底。口縁部<br>は直線的に開く。              | 口縁部ヨコ削で。肩部、<br>底部ヘラ削で状の削<br>り。 | 掘で。    | ①5YR5/6明赤褐②酸化③1/2④精製。砂粒を含む⑥      |
| 158 | 甕              | (16.8)                 | コの字状口縁。                            | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。            | 掘で。    | ①10YR7/4にぼい黄褐②酸化③口縁部の一<br>部④精製⑥  |
| 154 | 甕              |                        | コの字状口縁。                            | 肩部ヘラ削り。                        | ヘラ削で。  | ①7.5YR7/6稍②酸化③肩部の一部のみ④精<br>製⑥    |

BH-5号住居出土鋤型観察表(図15、PL. 15・16)

| 番号      | 器 形 | 法 量<br>器高<br>口徑<br>底径 | 器形の特徴  | 外面調整 | 内面調整 | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態 |
|---------|-----|-----------------------|--|------|------|----------------------|
| 32      |     |                       | 三鋸部分の鋤型で、上下を欠損している。全体の現存長9.87°、現存最大幅9.17°、厚溝1.42°、中鋸部幅0.93°、協鋸部幅1.37°である。鋸部には金剛牙の半月形を表現しているが鋸きを欠く。また、金剛牙の下には泡刺の表現も認められる。鋤型の湯道の断面形は柄の部分では丸く、鋸部では鋸く波をもつ。鋤型全体の断面形は底平で柄部分で稍かに丸みを帯びる。 |      |      |                      |
|         |     |                       | 色調は赤褐色で、断面は黒色。表面の湯道部分は暗褐色に変色している。胎土は砂粒をやや多く含む。5号住居床面密着で出土している。   |      |      |                      |
| 2・7     |     |                       | 復元実測してある小破片は一括出土のものである。  |      |      |                      |
| 129-137 |     |                       | 三鋸部分の鋤型で、2・7と同一個体と考えた。金剛牙、泡刺に表現が認められる。   |      |      |                      |
| 3・31    |     |                       | 鋤身部分の鋤型である。上端は原形を残す。現存長17.53°、現存最大幅8.72°、鋤型から復元できる鋤身の最大長8.17°、直徑6.03°である。柄の部分の最大幅は1.67°である。鋤身の上部には進弁形を表現する。鋤型全体の断面形は半球状である。  |      |      |                      |
| 29・30   |     |                       | 鋤身下部の鋤頭であろう。鋤身の表現が認められる。鋤型における割出は1.07°である。また、鋤頭表面の縁部に僅かな段(段)を作る。これは、同じ鋤身の鋤型と考えられる34にも認められ、鋸頭の合わせ日の記しと思われる。   |      |      |                      |
| 34      |     |                       | 鋤身上部の鋤頭か、肩出の切り上りがりの切り込みや運弁の一部の表現が残る。また、表面縁部には僅かな段をもつ。  |      |      |                      |
| 140     |     |                       | 鋤身の鋤頭とと考えられるが、29・30とは別個体である。   |      |      |                      |
| 1・2     |     |                       | いずれも鋤型の一部と考えられる。   |      |      |                      |
| 28・33   |     |                       |  |      |      |                      |
| 141     |     |                       | 鋤身の鋤頭と考えられるが肩出の表現が僅かに認められる。一部被熱の為胎土が発泡している。  |      |      |                      |

BH-5号住居出土遺物観察表(図16、PL. 14)

| 番号  | 器 形 | 法 量<br>器高<br>口徑<br>底径 | 器形の特徴                 | 外面調整                       | 内面調整 | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態       |
|-----|-----|-----------------------|-----------------------|----------------------------|------|----------------------------|
| 9   | 环   | 3.8<br>13.65<br>6.2   | 底部は半円。口縁部は底部より直線的に開く。 | 口縁部ヨコ擦で。副部指頭圧痕の押さえ。底部ヘラ削り。 | 擦で。  | ①7.5YR7/4に赤い模②酸化③2/3④精製⑤床面 |
| 一括1 | 鉄器  |                       | 鎌か                    |                            |      |                            |
| 一括2 | 鉄器  |                       | 鎌か                    |                            |      |                            |

BH-7号住居出土遺物観察表(図17・18、PL. 14)

| 番号  | 器 形            | 法 量<br>器高<br>口徑<br>底径   | 器形の特徴                         | 外面調整            | 内面調整              | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                  |
|-----|----------------|-------------------------|-------------------------------|-----------------|-------------------|---------------------------------------|
| 89  | 高台付き椀<br>(須恵器) | 5.8<br>13.4<br>6.1      | 底部回転条切りの後付け高台。口縁部は直線的に削かれている。 | ロクロ成型。副部に墨書き有り。 | ロクロ成型。副部下半に墨書き有り。 | ①2.7Y8/4淡黄②酸化③光形④精製⑤内外面に墨書き⑥床面        |
| 13  | 高台付き椀<br>(須恵器) | 4.9<br>13.5<br>6.6      | 底部回転条切りの後付け高台。副部は僅かに内溝する。     | ロクロ成型。副部に墨書き有り。 | ロクロ成型。            | ①5Y7/2灰白②墨元③光形④精製⑤床面                  |
| 2   | 高台付き椀          | 4.6<br>10.6<br>(5.6)    | 底部付け高台。副部僅かに内溝。               | 口縁部ヨコ擦で。副部ヘラ削り。 | ヘラ研ぎ。             | ①10YR7/2に赤い模②酸化③1/2④精製。砂粒を含む⑤床面       |
| 30  | 环<br>(須恵器)     | 5.25<br>(13.3)<br>(6.4) | 底部回転条切りか。副部横かに内溝。口縫部横かに外反。    | ロクロ成型。          | ロクロ成型。            | ①10YR7/4に赤い模②還元③1/2④小円錐を含む⑥           |
| 108 | 高台付き椀<br>(須恵器) | 5.5<br>(13.4)<br>6.4    | 底部回転条切りの後付け高台。副部横かに内溝。        | ロクロ成型。          | ロクロ成型。            | ①10YR6/3に赤い模②酸化③1/2④精製。砂粒を含む⑤内外面に墨書き⑥ |
| 8   | 高台付き椀<br>(須恵器) | 5.4<br>(14.2)<br>6.0    | 底部回転条切りの後付け高台。副部横かに内溝。        | ロクロ成型。          | ロクロ成型。            | ①5YR7/4に赤い模②酸化③1/2④精製⑥                |

| 番号  | 器形             | 法量<br>器高<br>口径<br>底径 | 器形の特徴                               | 外面調整   | 内面調整                | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態                   |
|-----|----------------|----------------------|-------------------------------------|--|---------------------|--|
| 154 | 高台付き碗<br>(須恵器) | 6.2<br>(14.9)<br>6.5 | 底部回転糸切りの後<br>付け高台。                  | クロコ成型。   | クロコ成型。              | ①10YR7/3に由い黄橙②酸化③2/3④精製⑤外面上に黒斑⑥        |
| 55  | 高台付き碗<br>(須恵器) | 7.0                  | 底部回転糸切りの後<br>付け高台。                  | クロコ成型。   | クロコ成型。              | ①2.5YR7/4浅黄②混元③底部のみ④精製⑤内面上に黒斑⑥         |
| 6   | 高台付き碗<br>(須恵器) | (6.6)                | 底部回転糸切りの後<br>付け高台。                  | クロコ成型。   | クロコ成型。              | ①10YR7/3に由い黄橙②酸化③底部1/3④精<br>製⑥         |
| 162 | 小形台付壺          | (12.1)               | 口縁部は短く外傾。<br>口唇部は肥厚する。<br>胴部は球形。    | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。  | ヨコ削で。               | ①2.5YR5/4に由い赤褐②蓮元③肩部1/2④<br>精製⑥        |
| 166 | 壺              | (10.8)               | コの字状口縁か。口<br>脣部は短く外傾する              | 口縁部ヨコ削で。   | 口縁部ヨコ削で。            | ①5YR7/4に由い橙②酸化③口縁部のみ1/3<br>④精製。砂粒を含む。⑥ |
| 138 | 壺              | (20.5)               | 口縁部はくの字に短<br>く外傾。                   | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>半部はヘラ削で状の削<br>り。下半は一帯に研ぎ<br>り。下半は一帯に研ぎ<br>り。 | 口縁部ヨコ削で。肩<br>部削で。   | ①10Y8/3浅黄橙②酸化③1/2④精製⑥                  |
| 63  | 壺              | (19.2)               | コの字状口縁か。口<br>脣部は短く外傾し、<br>端部をつまみ上げる | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>削で状のヘラ削り。                                    | 口縁部ヨコ削で。肩<br>部ヘラ削。  | ①10YR7/3に由い黄橙②酸化③口縁部1/2④<br>精製。砂粒を含む⑥  |
| 105 | 壺              | (20.0)               | 口縁部短く、緩やか<br>に外反。                   | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>削で状のヘラ削り。                                    | 口縁部ヨコ削で。肩<br>部ヘラ削で。 | ①2.5Y8/3淡黄②酸化③口縁部の一部④精<br>製。砂粒を含む⑥壺内   |
| 54  | 壺              | 17.6                 | 口縁部短く、緩やか<br>に外反。                   | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>削で状のヘラ削り。                                    | 口縁部ヨコ削で。肩<br>部ヘラ削で。 | ①2.5YR5/4明赤褐②酸化③底部を欠損④精<br>製。砂粒を含む⑥壺内  |
| 56  | 壺              | (17.85)<br>4.3       | コの字状口縁か。                            | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>削で状のヘラ削り。                                    | 口縁部ヨコ削で。            | ①10YR8/4浅黄橙②酸化③1/2④精製。赤色<br>鉛物粒を含む⑥壺内  |
| 20  | 壺              | (17.4)               | 口縁部は短く外傾。                           | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>削で状のヘラ削り。                                    | 口縁部ヨコ削で。肩<br>部削で。   | ①7.5YR7/4に由い橙②酸化③口縁部の一部④<br>精製。砂粒を含む⑥  |
| 50  | 壺              | (19.6)               | コの字状口縁。口縁<br>部は肥厚し、短く外<br>傾。        | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削り。  | 口縁部ヨコ削で。            | ①5YR7/4に由い黄橙②酸化③口縁部の一部④<br>精製。砂粒を含む⑥   |
| 14  | 壺              | 3.9                  | 底部は小さく、肩部<br>はやや内凹して立ち<br>上がる。      | 削で状のヘラ削り。  |                     | ①10YR6/4に由い黄橙②酸化③底部のみ④<br>精製。砂粒を含む⑥    |
| 一括1 | 鉄鋤             |                      |                                     |  |                     | ⑥埋め土一括                                 |

III-6 号住居出土遺物観察表(図19、PL. 14)

| 番号  | 器形    | 法量<br>器高<br>口径<br>底径   | 器形の特徴                             | 外面調整                | 内面調整       | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態               |
|-----|-------|------------------------|-----------------------------------|---------------------|------------|------------------------------------|
| 一括1 | 环     | 4.0<br>(11.0)<br>(3.8) | 底部は平底。口縁部<br>は僅かに内凹する。            | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削で。 | 口縁部ヨコ削で。   | ①5YR6/6橙②酸化③2/5④精製。砂粒を含む<br>⑥埋め土一括 |
| 93  | 高台付き碗 | 5.4<br>(14.0)<br>6.6   | 体部は浅く、肩部は<br>僅かに内凹し、口縁<br>部に段を持つ。 | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削で。 | ヘラ研ぎ。      | ①10YR7/3に由い黄橙②酸化③1/2④精製。<br>輝石を含む⑥ |
| 一括2 | 环     |                        |                                   | 口縁部ヨコ削で。肩部<br>ヘラ削で。 | 黑色研磨。ヘラ研ぎ。 | ①10YR8/3浅黄橙②酸化③口縁部のみ④精<br>製⑤墨青⑥    |

BII-6号住居出土遺物観察表(図19、Pl. 9・14)

| 番号  | 器 形            | 法量<br>器高<br>口径<br>底径   | 器形の特徴                 | 外面調整                  | 内面調整            | BII-6号住居出土遺物観察表(図19、Pl. 9・14)                   |
|-----|----------------|------------------------|-----------------------|-----------------------|-----------------|---|
| 一括3 | 高台付き椀<br>(須恵器) | 4.4<br>(13.9)<br>(6.9) | 高台部は低く端部は丸みを帯びる。      | ロクロ成型。                | ロクロ成型。          | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態<br>①5YR7/6焼化③I/3④精製⑤内面に黒斑⑥ |
| 53  | 高台付き椀          | 5.45<br>14.8<br>7.2    | 口縁部は緩やかに内湾して開く。       | 口縁部ヨコ幅で。副部ヘラ削り。       | 黑色削痕。ヘラ削き。      | ①10YR7/4に近い黄褐色②酸化③光沢④精製<br>⑤内外面にダール状の沈化物⑥       |
| 44  | 杯              |                        | 口縁部内面に段を持つ。           | 口縁部ヨコ幅で。              | 黑色削痕。ヘラ削き。      | ①2.5Y8/3淡黄②酸化③口縁部の一部④精製<br>⑤外面上に墨斑⑥             |
| 37  | 高台付き椀<br>(須恵器) | 6.0<br>(12.5)<br>5.55  | 体部はやや深い。              | ロクロ成型。                | ロクロ成型。          | ①7.5YR7/6焼化②酸化③I/2④精製。砂粒を含む⑤2次焼成か⑥              |
| 70  | 高台付き椀          | (16.4)                 | 体部はやや深く、副部は内凹する。      | 口縁部ヨコ幅で。副部幅で。         | 副部削痕で。          | ①10YR7/3に近い黄褐色②酸化③口縁部の一部④精製。砂粒を含む⑥              |
| 115 | 杯<br>(須恵器)     |                        |                       | ロクロ成型。                | ロクロ成型。          | ①2.5Y8/3淡黄②酸化③口縁部の一部④精製<br>⑤外面上に墨斑⑥             |
| 一括4 | 貝殻盃<br>(灰陶)    |                        | 肩部が張る。                | ロクロ成型。                | ロクロ成型。          | ①5Y7/1灰白②混元③肩部の一部④精製⑤口部外側にオリーブ色の物⑥埋め土一括         |
| 12  | 高台付き椀<br>(須恵器) | (6.6)                  | 底部中央余切りの後付け高台。        | ロクロ成型。                | ロクロ成型。          | ①10YR7/4に近い橙②酸化③底部I/2④精製<br>⑥                   |
| 74  | 小形台付甕          | (9.4)                  | 副部はハの字状に開く。           | ヨコ幅で。                 | ヨコ幅で。           | ①5YR5/4に近い赤褐色②酸化③舞台部I/2④精製⑥                     |
| 33  | 甕              | (20.7)                 | コの字状口縁。口縁部は肥厚し、外反。    | 口縁部ヨコ幅で。副部ヘラ削り状のヘラ削り。 | 口縁部ヨコ幅で。副部ヘラ削り。 | ①7.5YR7/3に近い橙②酸化③口縁部の一部④精製。砂粒を含む⑥               |
| 47  | 甕              | (22.5)                 | 口縁部は緩やかに外反。口唇内面に棱を持つ。 | 口縁部ヨコ幅で。副部ヘラ削り。       | 口縁部ヨコ幅で。        | ①5YR7/4に近い橙②酸化③口縁部の一部④精製。難行を含む⑥                 |
| 71  | 甕              | (20.4)                 | 口縁部は短く、外傾。            | 口縁部ヨコ幅で。副部ヘラ削り。       | 口縁部ヨコ幅で。        | ①7.5YR7/4に近い橙②酸化③口縁部の一部④精製。砂粒を含む⑥               |

CII-1号住居出土遺物観察表(図20)

| 番号 | 器 形          | 法量<br>器高<br>口径<br>底径 | 器形の特徴                     | 外面調整   | 内面調整   | CII-1号住居出土遺物観察表(図20)                             |
|----|--------------|----------------------|---------------------------|--------|--------|--|
| 1  | 知頭甕<br>(須恵器) | (5.6)                | I口部を短くつまみ上げ。口縁部外面にカエリを持つ。 | ロクロ成型。 | ロクロ成型。 | ①色調②焼成③残存④胎土⑤備考⑥出土状態<br>①10Y4/1灰②混元③口縁部I/3④精製⑤床面 |

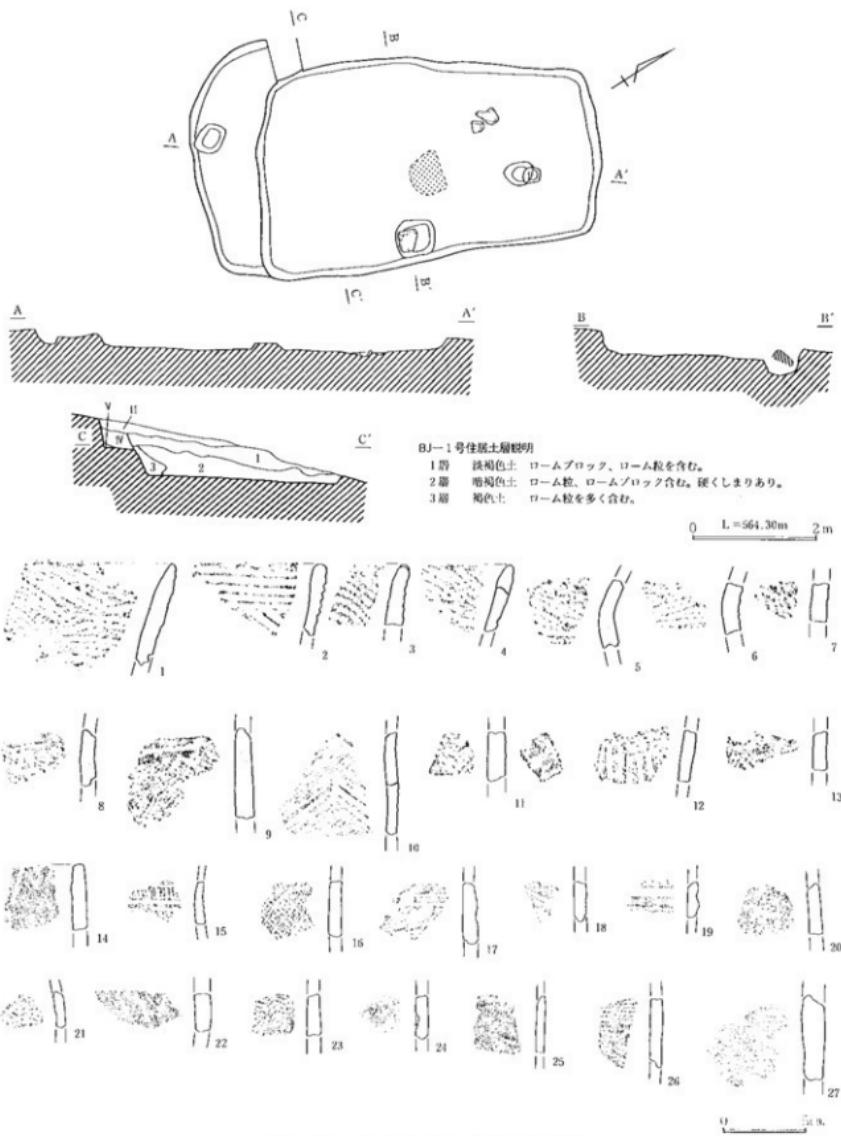


図22 BJ-1号住居実測図・出土遺物拓影図

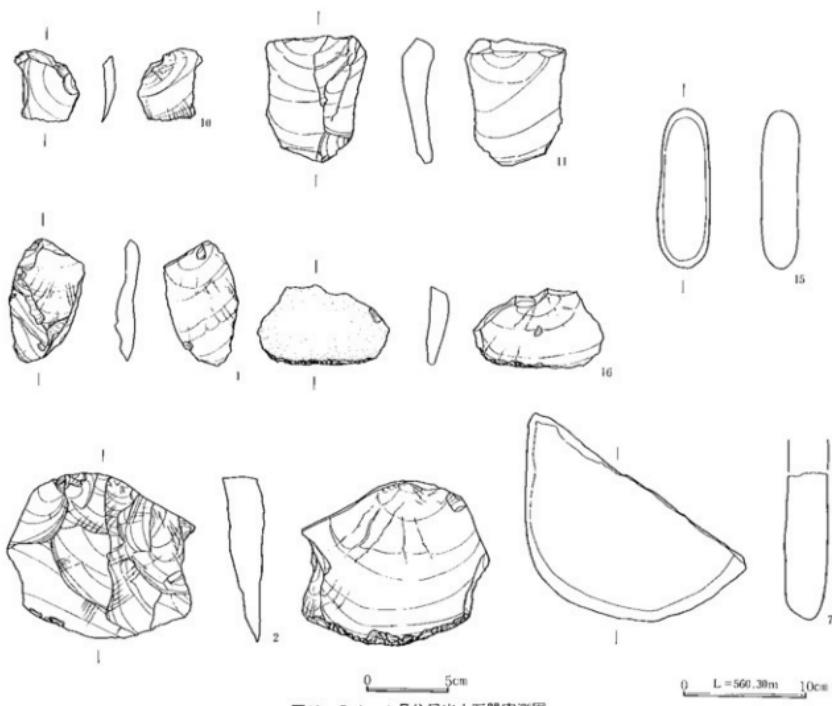


図23 BJ-1号住居出土石器実測図

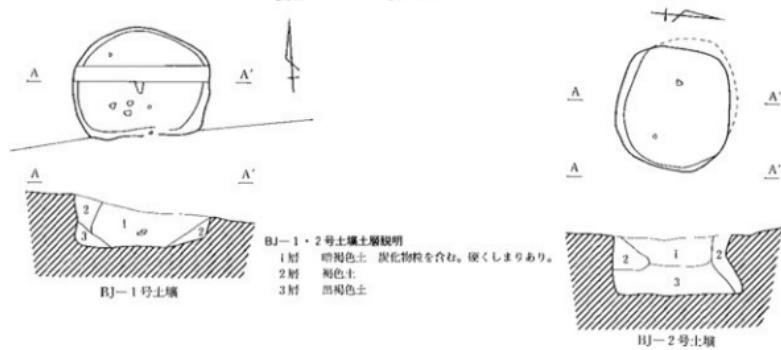


図24 西区縄文期土壤実測図

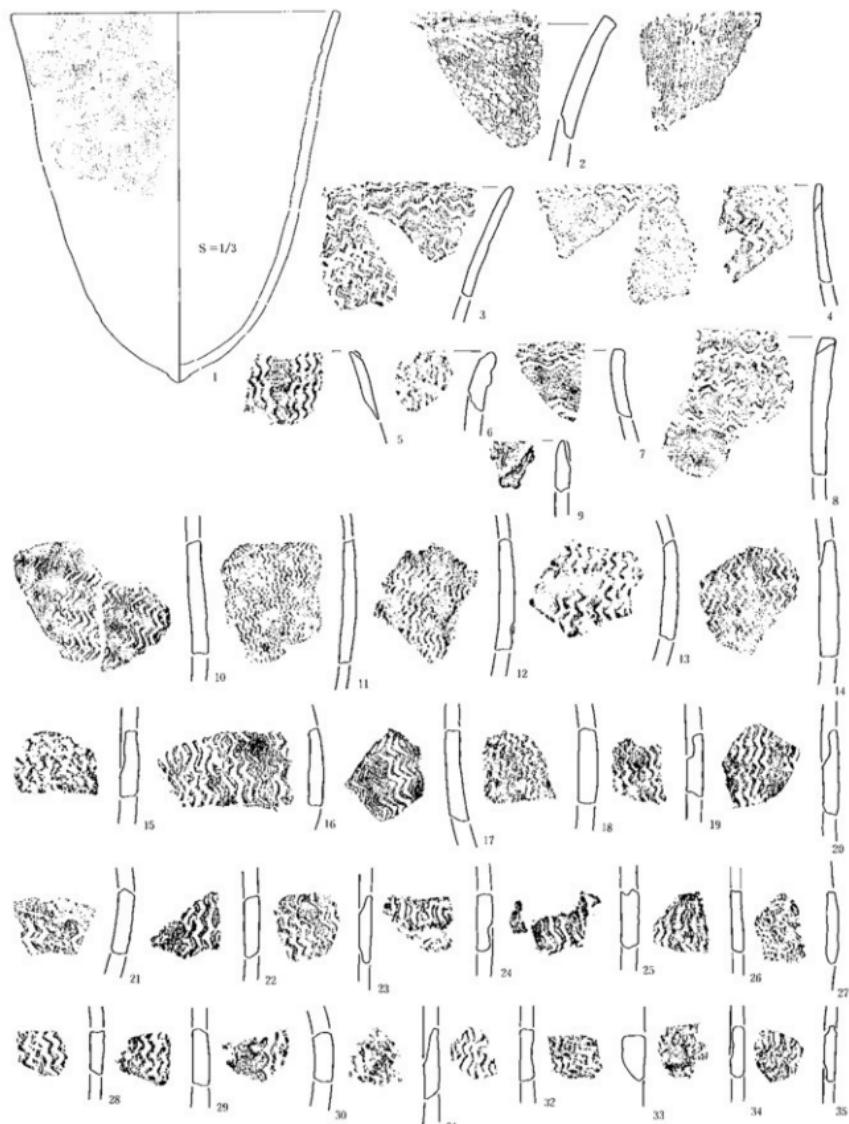


图25 西区绳文期包含层出土遗物拓影图 I

$S = 1/2$

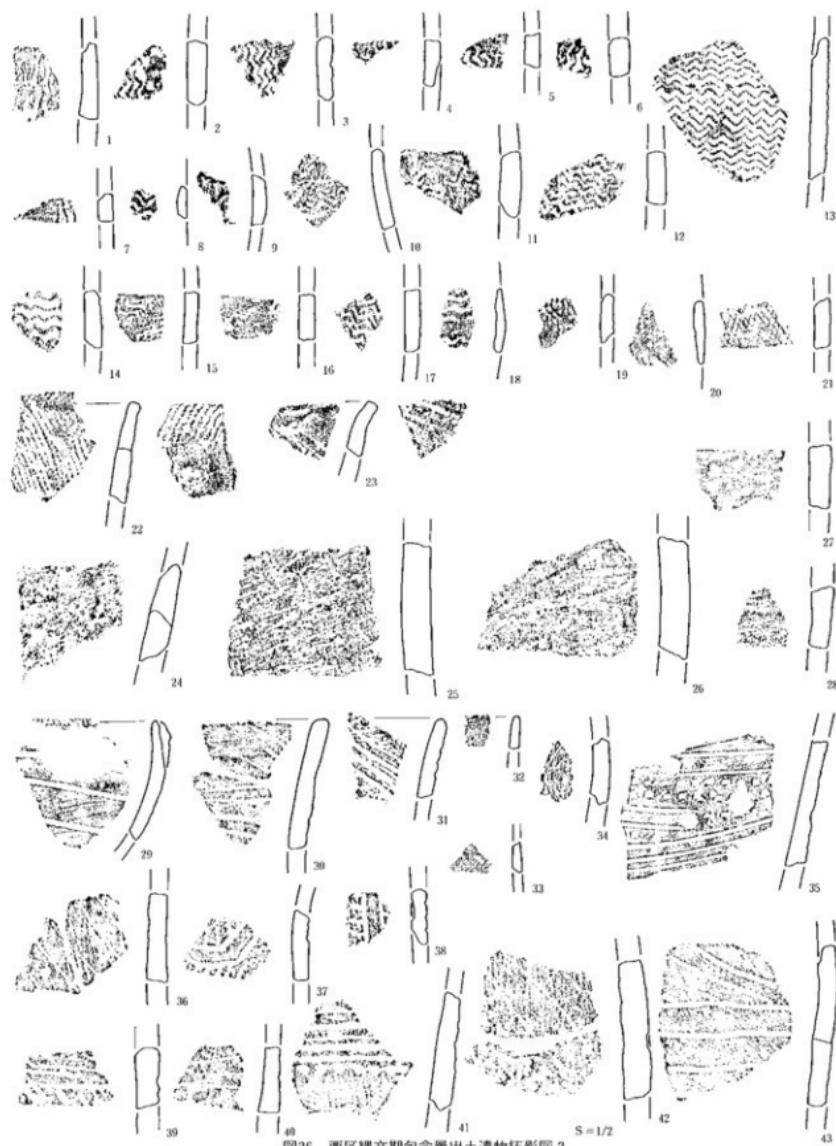


图26 西周青铜器包含层出土遗物拓影图 2

$S = 1/2$

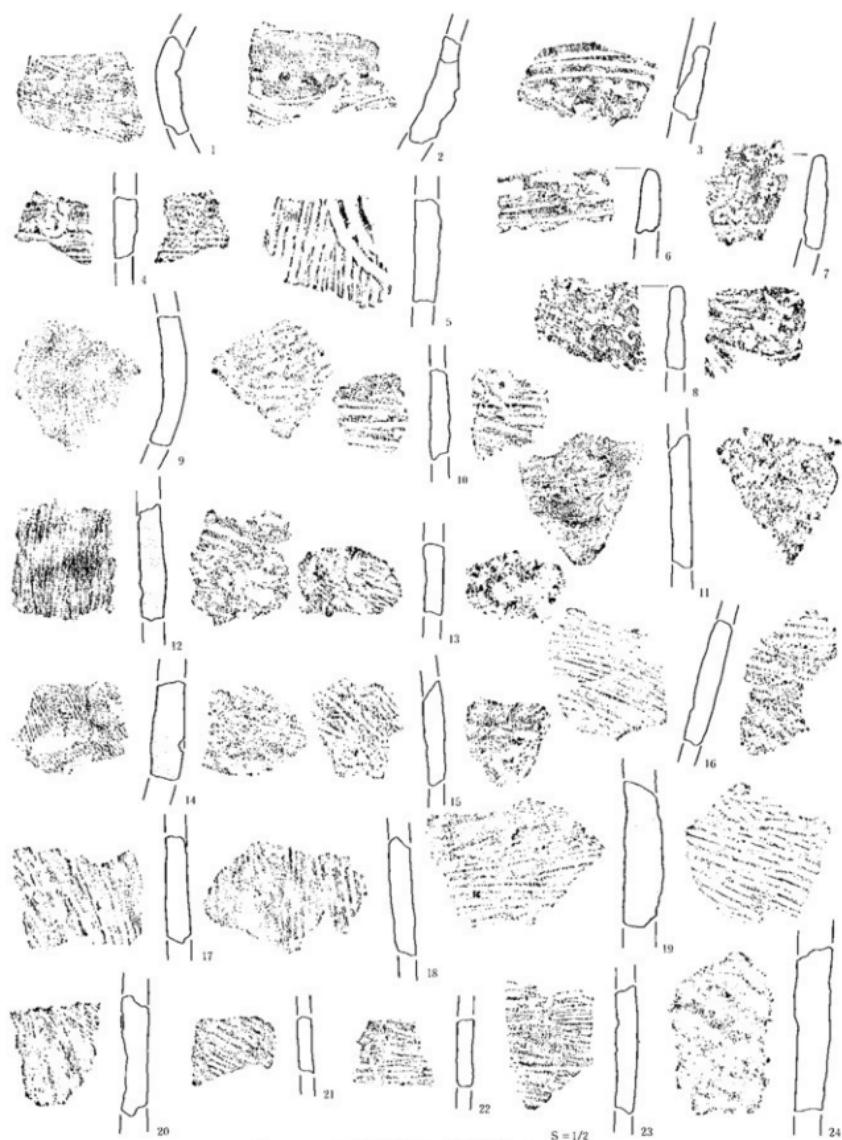


图27 西区绳文期包含层出土遗物拓影图 3

$S = 1/2$

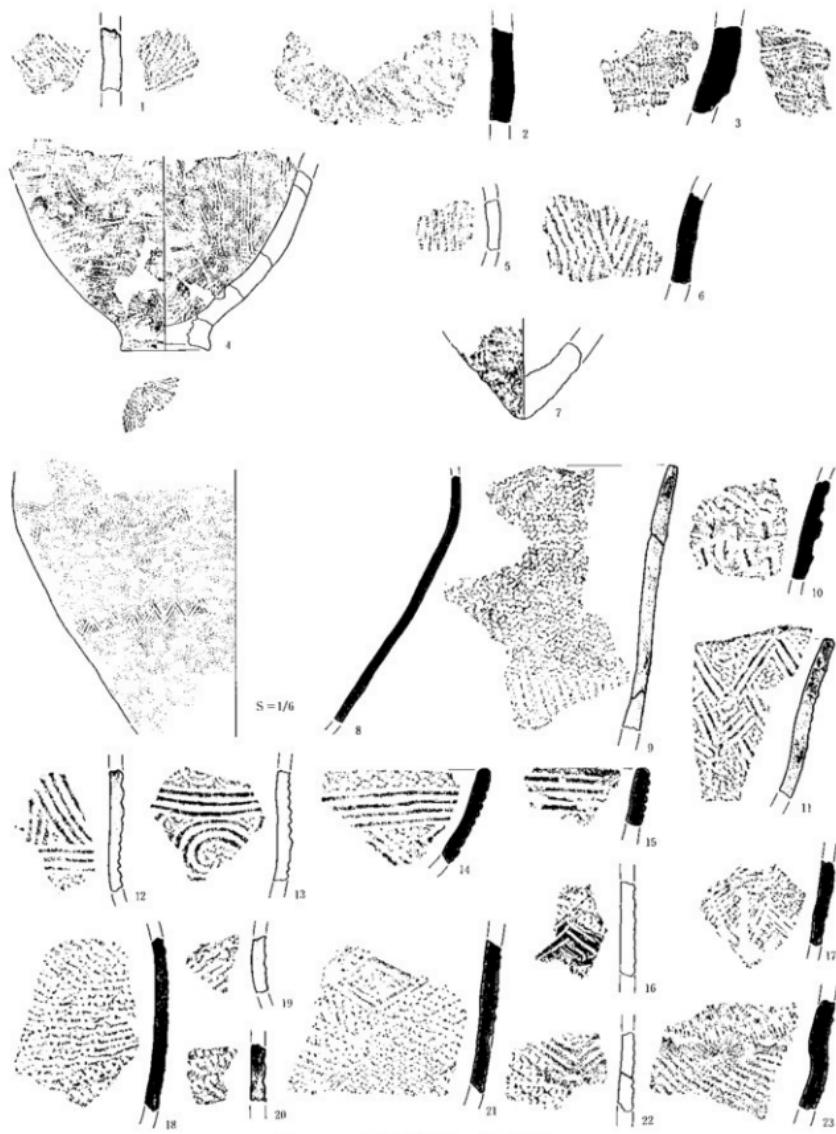


图28 西区绳文层包含层出土遗物拓影图 4

$S = 1/3$

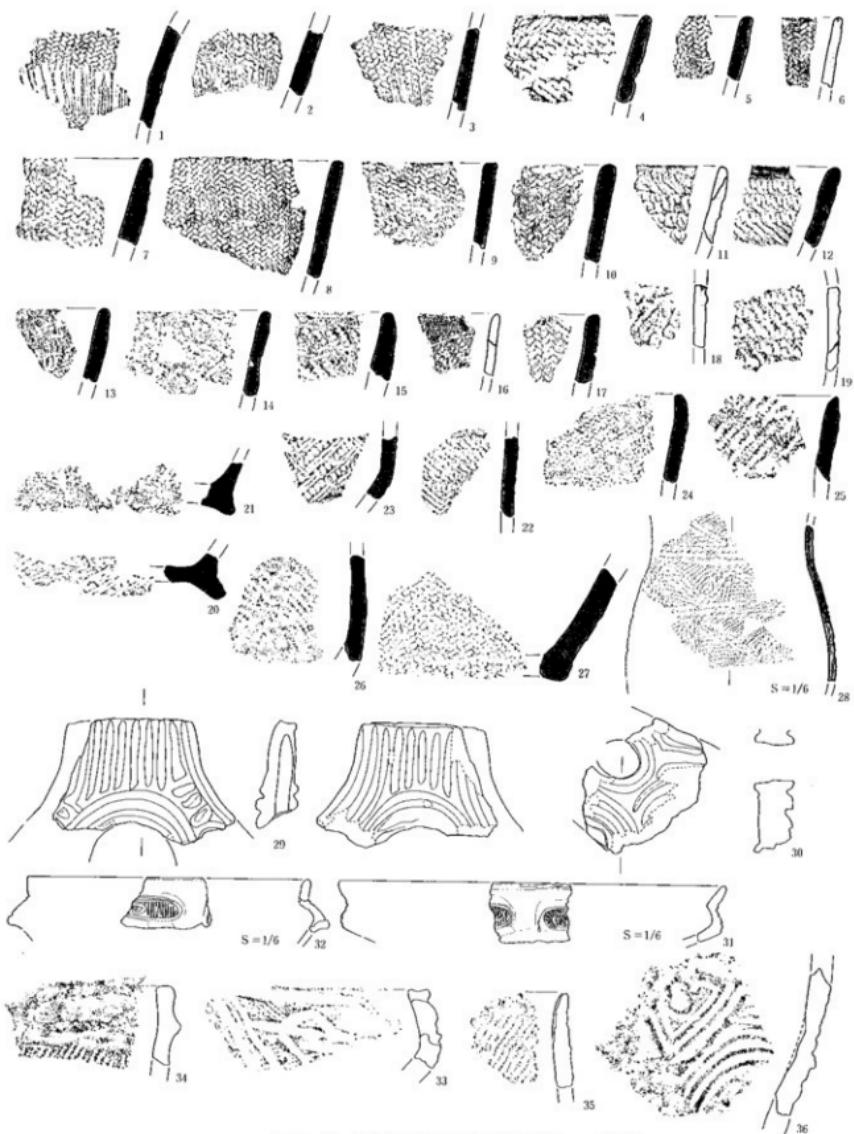


図29 西周縄文期包含層出土遺物拓影図 5

$S = 1/3$

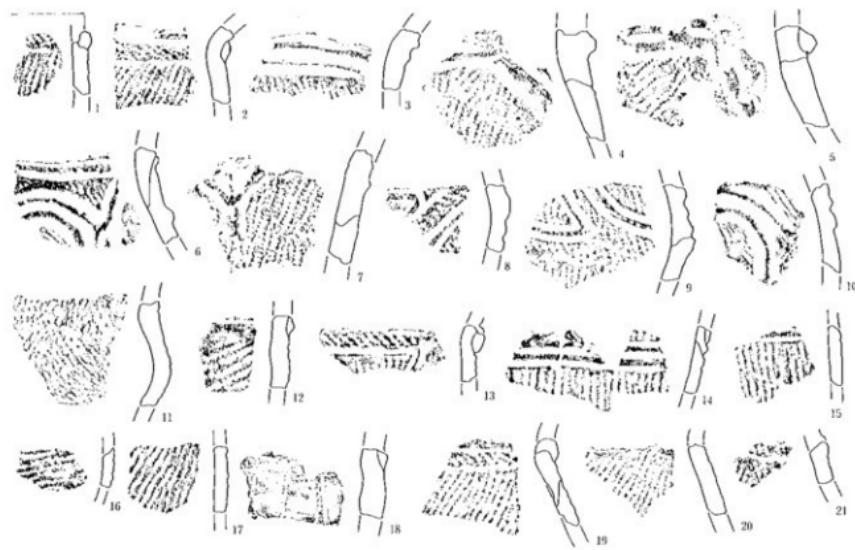


图30 西区绳文期包含层出土遗物拓影图 6 S=1/3

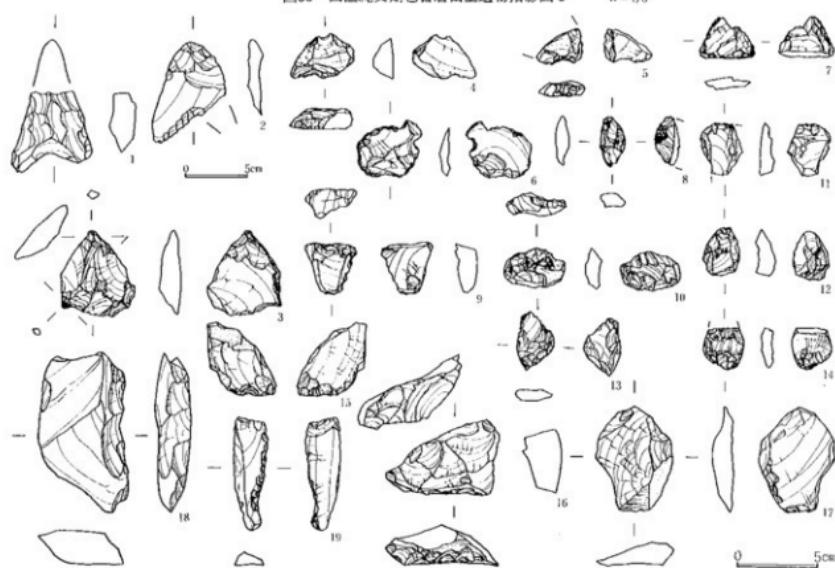


图31 西区绳文期包含层出土石器实测图



图32 西区绳文期包含层出土石器实测图2



図33 東区縄文期包含層出土遺物拓影図 1

S - 1/2

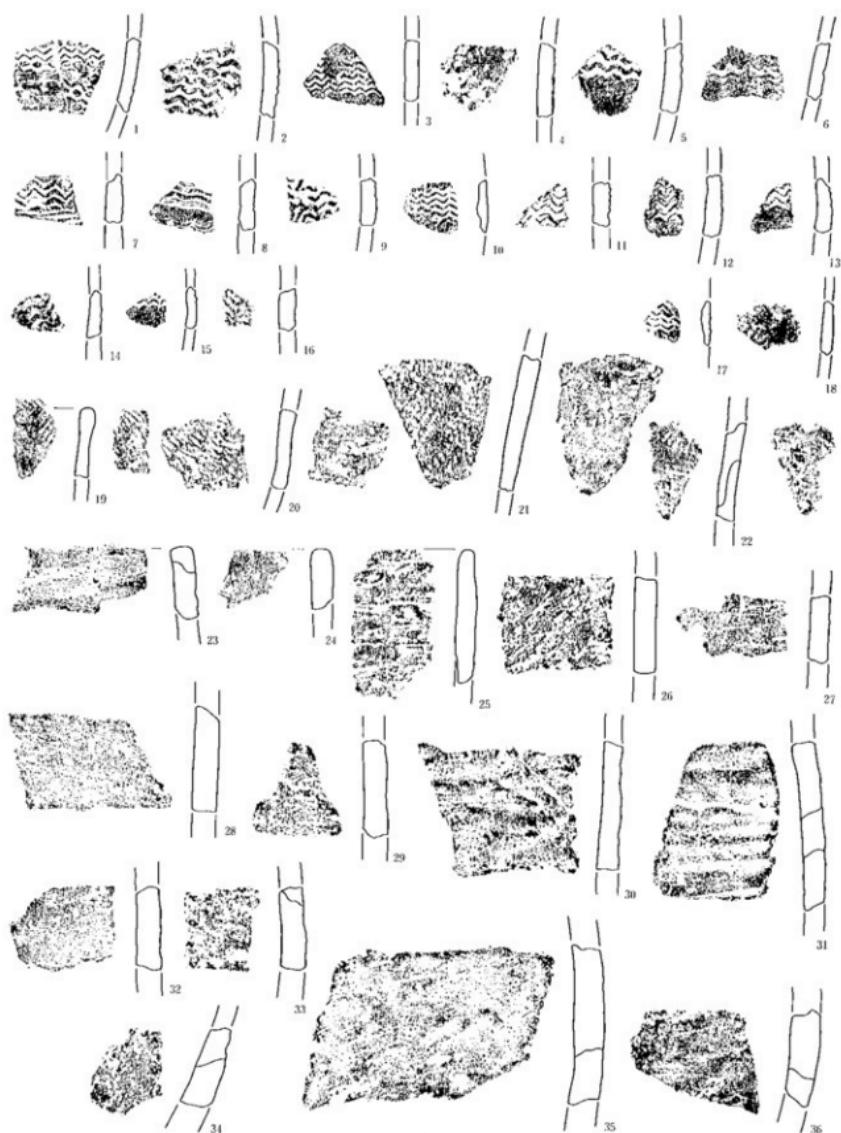


图34 東区縄文期包含層出土遺物拓影圖 2

S = 1/2



図35 東区網文期包含層出土遺物拓影図 3

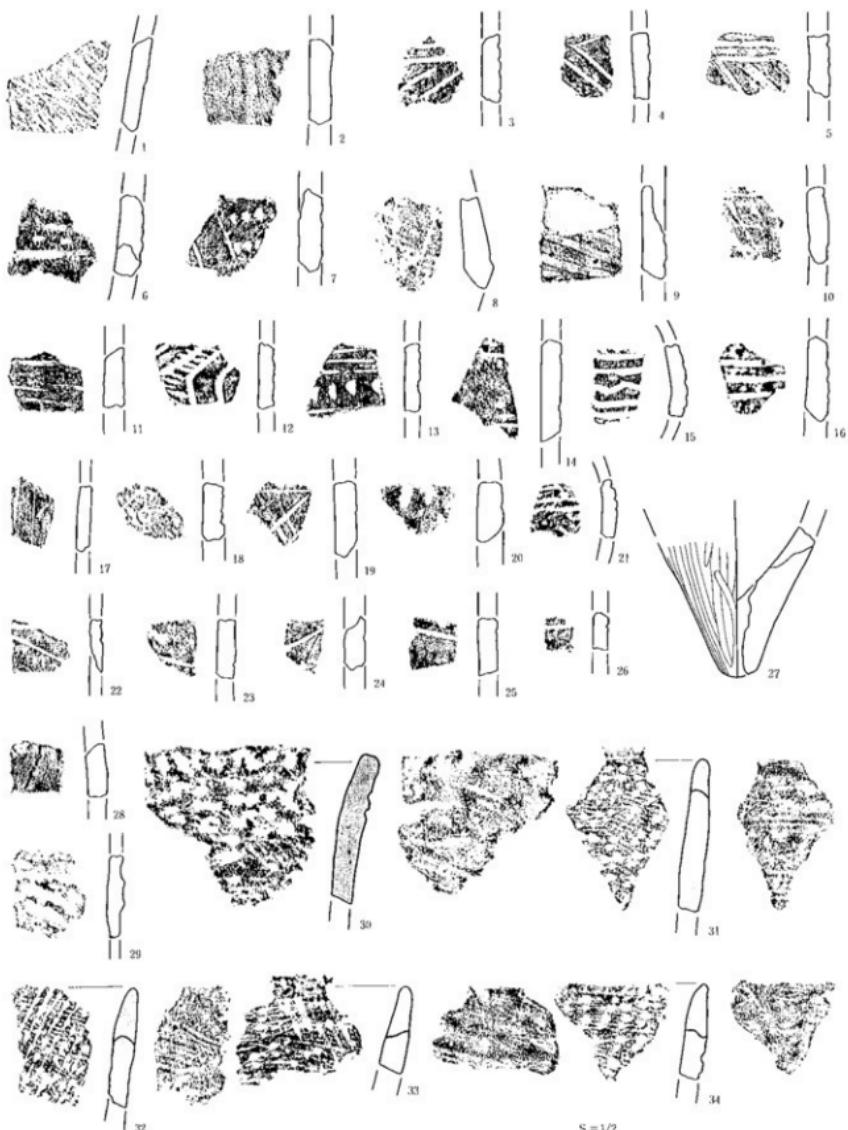


图36 東区縄文期包含層出土遺物拓影圖 4



图37 東区縄文期包含層出土遺物拓影圖 5 S = 1/2

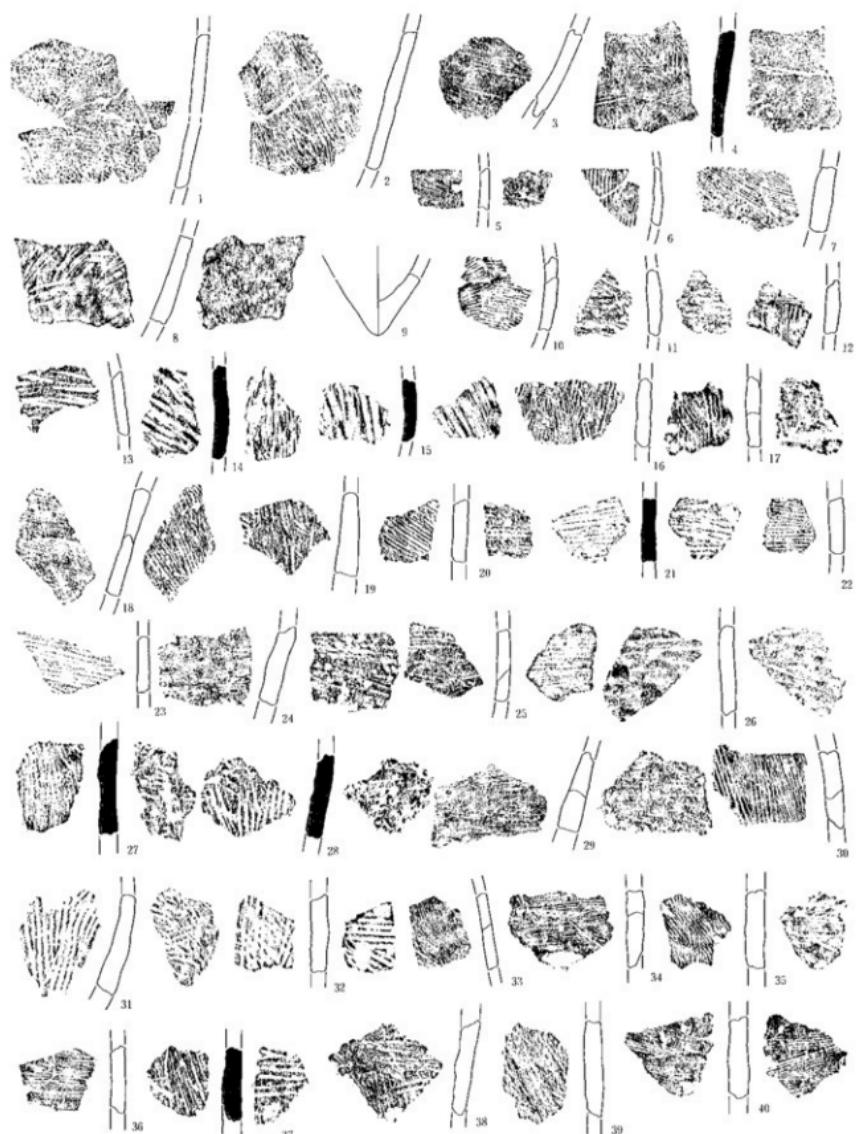


图38 東区縄文期包含層出土遺物拓影圖 6 S=1/3

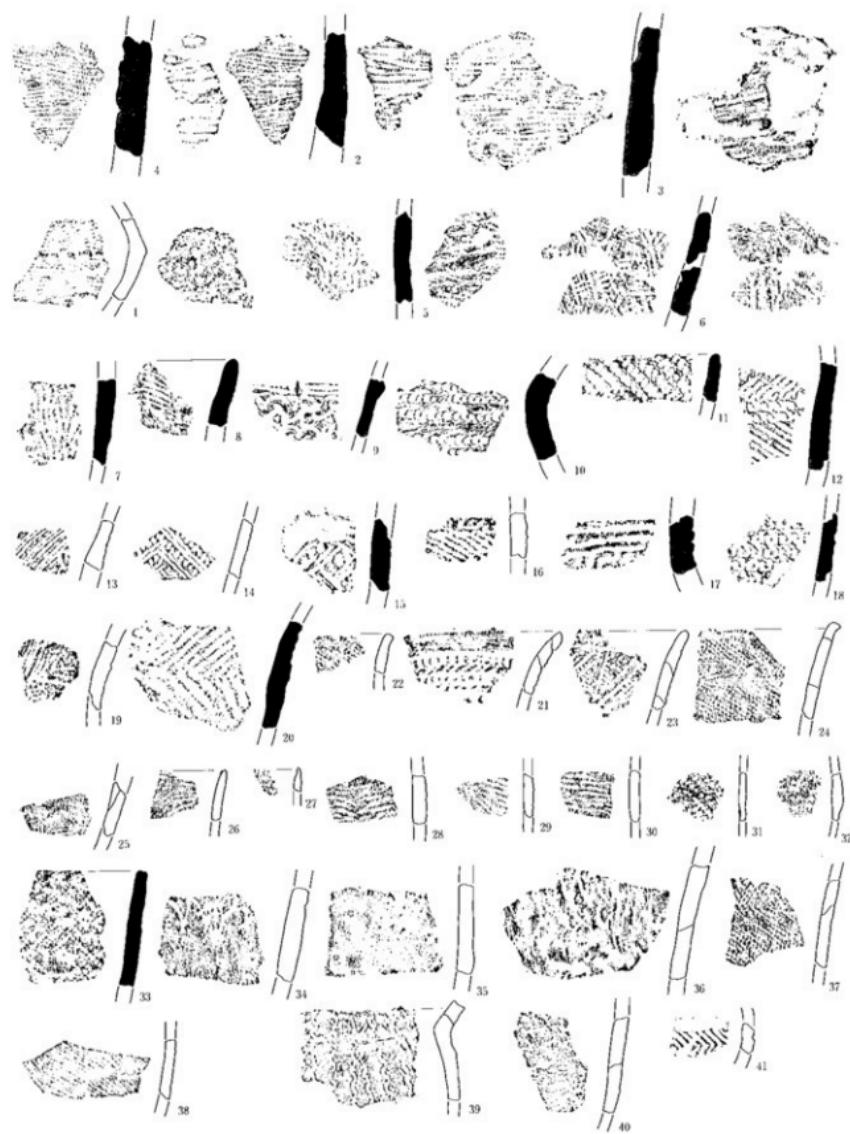


图39 東区绳文期包含層出土遺物拓影圖 7

S = 1/3



図40 東区縄文期包含層出土石器実測図 1

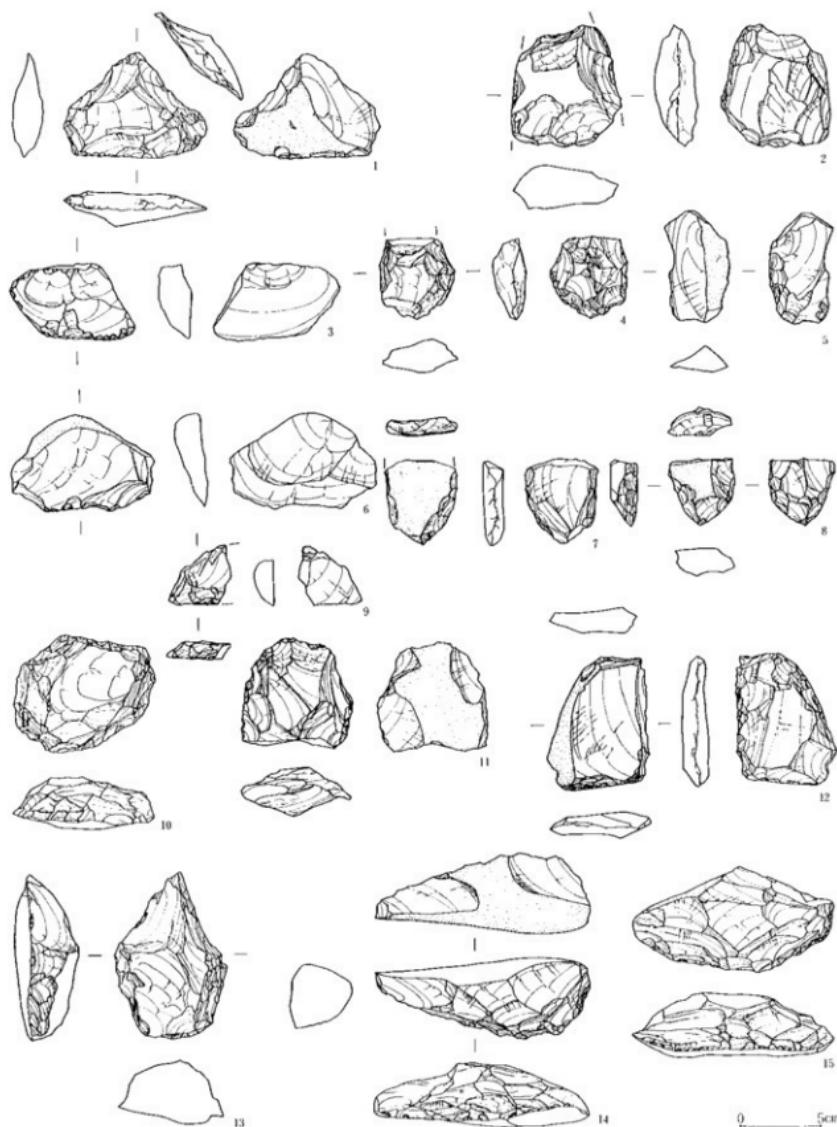


図41 東区縄文期包含層出土石器実測図2

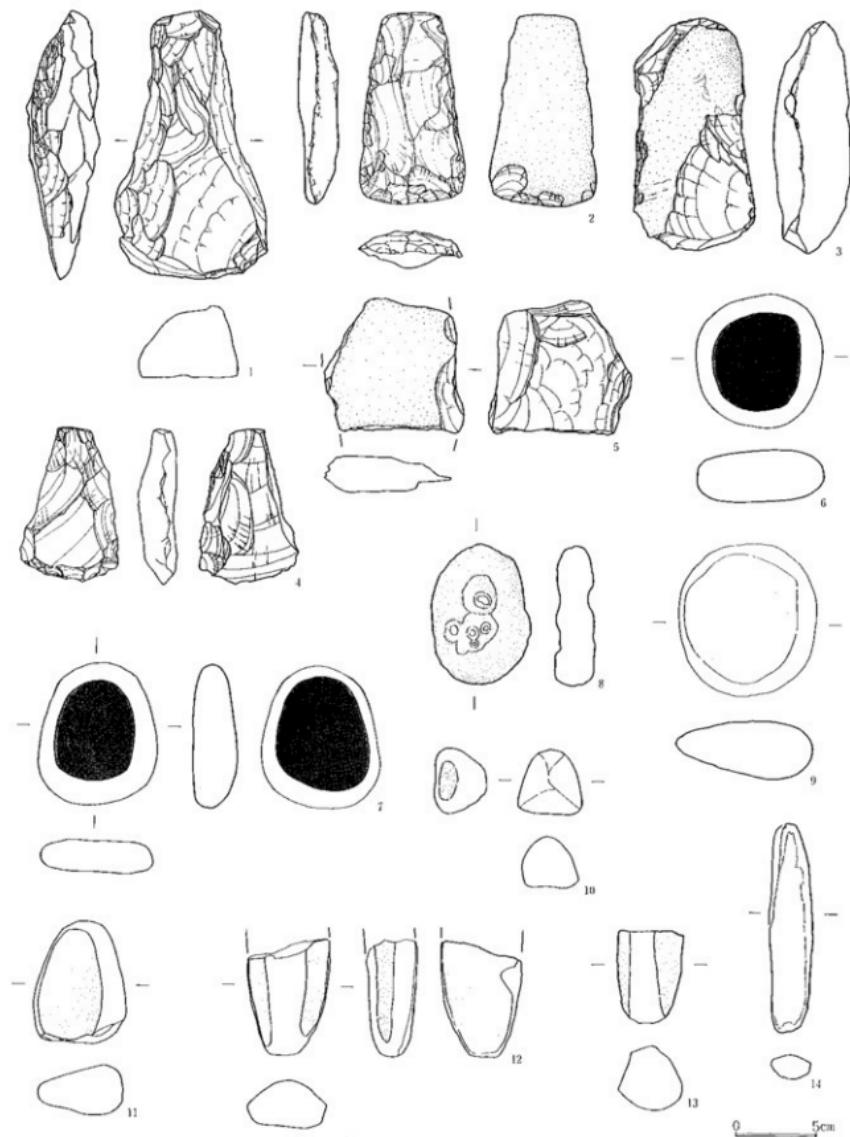


图42 東西区純文湖包含層出土石器実測圖

0 5cm

石器一覧表

| 遺物     |                | 器種          | 石質   | 重量(g)     |         |       |
|--------|----------------|-------------|------|-----------|---------|-------|
| 図-23 1 | B J - 1 H - 10 | 使用 瓦 有る 刃 片 | 頁岩   | 10.2      |         |       |
| 2      | B J - 1 H - 11 | 剝片          | 岩    | 73.0      |         |       |
| 3      | B J - 1 H - 1  | 剝片          | 岩    | 38.0      |         |       |
| 4      | B J - 1 H - 16 | 剝片          | 岩    | 43.8      |         |       |
| 5      | B J - 1 H - 2  | 剝片          | 岩    | 253.1     |         |       |
| 6      | B J - 1 H - 15 | すり石         | 安山岩  | 254.3     |         |       |
| 7      | B J - 1 H - 7  | 石           | 頭安山岩 | (1,036.9) |         |       |
| 図-31 1 | Bm - 5 - 210   | 石           | 鐵鉢   | (1.2)     |         |       |
| 2      | Bn - 4 - 282   | 石           | 鐵チヤ  | -ト        | (0.7)   |       |
| 3      | 西区一括           | 石           | 錆頁岩  | (26.7)    |         |       |
| 4      | Bm - 3 - 1括    | 錆           | 器    | 安山岩       | 12.2    |       |
| 5      | Bm - 4 - 1括    | 錆           | 器    | 頭安山岩      | (4.7)   |       |
| 6      | Bm - 4 - 1括    | 石           | 起チヤ  | -ト        | 7.6     |       |
| 7      | Bn - 5 - 367   | 錆           | 器    | 頭安山岩      | (5.4)   |       |
| 8      | Bo - 5 - 438   | ビエスキユ       | 黒    | 曜         | 石       | (2.8) |
| 9      | Bn - 4 - 273   | ビエスキユ       | チヤ   | -ト        | 13.4    |       |
| 10     | Bn - 5 - 372   | ビエスキユ       | 黒    | 曜         | 石       | 8.9   |
| 11     | Bn - 3 - 1括    | ビエスキユ       | チヤ   | -ト        | (5.7)   |       |
| 12     | Bo - 5 - 1括    | ビエスキユ       | 黒    | 曜         | 石       | 6.9   |
| 13     | Bn - 4 - 449   | ビエスキユ       | 頁岩   | 4.4       |         |       |
| 14     | Bn - 5 - 362   | ビエスキユ       | 風    | 曜         | 石       | (4.7) |
| 15     | Bo - 4 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | 20.5    |       |
| 16     | Bo - 6 - 433   | 削           | 器    | 頁岩        | 71.3    |       |
| 17     | Bo - 5 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | 37.6    |       |
| 18     | Bn - 3 - 1括    | 片面加工削       | 器    | 安山岩       | 147.8   |       |
| 19     | Bo - 3 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | 11.9    |       |
| 図-32 1 | Bn - 3 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | 50.8    |       |
| 2      | Bm - 4 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | 22.8    |       |
| 3      | Bn - 5 - 484   | 削           | 器    | 頁岩        | (21.2)  |       |
| 4      | Bo - 5 - 420   | 削           | 器    | 頁岩        | (11.1)  |       |
| 5      | Bm - 4 - 187   | 削           | 器    | 頁岩        | 12.1    |       |
| 6      | Bo - 4 - 411   | 削           | 器    | 頁岩        | (17.8)  |       |
| 7      | Bn - 4 - 470   | 削           | 器    | 頁岩        | (50.5)  |       |
| 8      | Bo - 4 - 周辺    | 削           | 器    | 頁岩        | 38.0    |       |
| 9      | Bn - 3 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | (13.2)  |       |
| 10     | An - 25 - 1括   | 削           | 器    | 頁岩        | 25.8    |       |
| 11     | Bn - 3 - 394   | 三角錐形石器      | 頁岩   | 岩         | 159.1   |       |
| 12     | Bo - 5 - 周辺    | 三角錐形石器      | 頁岩   | 岩         | (48.9)  |       |
| 13     | Ag - 1 - 1括    | 削           | 器    | 頁岩        | 94.3    |       |
| 14     | Bn - 4 - 107   | 片面加工削       | 器    | 頁岩        | 49.6    |       |
| 15     | Ag - 18 - 1括   | 石斧          | 斧安山岩 | 岩         | 320.0   |       |
| 16     | Bo - 5 - 1括    | 石斧          | 斧安山岩 | 岩         | 477.5   |       |
| 17     | Bn - 5 - 1括    | 片面加工石器      | 斧安山岩 | 岩         | 39.6    |       |
| 18     | Bo - 4 - 116   | 片面加工石器      | 器    | 頁岩        | 82.9    |       |
| 19     | Bm - 4 - 186   | 錆           | 器    | 頁岩        | 184.9   |       |
| 20     | Bn - 5 - 373   | 石斧          | 斧    | 岩         | (370.5) |       |
| 21     | Bm - 4 - 333   | 磨製石         | 斧蛇紋岩 | 岩         | (24.7)  |       |
| 22     | Bm - 4 - 1括    | 石斧          | 斧    | 頁岩        | 60.2    |       |
| 図-40 1 | Bn - 20 - 1括   | 石           | 鐵頁岩  | 岩         | (1.7)   |       |
| 2      | Bm - 4 - 1括    | 石斧          | チヤ   | -ト        | 2.8     |       |
| 3      | Bm - 4 - 1括    | 石斧          | チヤ   | -ト        | 1.5     |       |
| 4      | Bn - 19 - 1括   | 石斧          | 鐵黑   | 曜         | 石       | 2.8   |
| 5      | Bo - 18 - 166  | 玉           | 斧蛇   | 紋岩        | (12.9)  |       |
| 6      | Bm - 19 - 周辺   | 石斧          | チヤ   | -ト        | 7.7     |       |
| 7      | 東区一括           | 削           | 器    | 頁岩        | (129.5) |       |

| 遺物     |            | 器種      | 石質       | 重量(g)   |
|--------|------------|---------|----------|---------|
| 8      | B n-20     | 削       | 頁岩       | 3.8     |
| 9      | B n-19—柄   | 削       | 頁岩       | 12.3    |
| 10     | B o-19-178 | 三角錐形石器  | チヤード     | 116.9   |
| 11     | B o-21—周辺  | 鋸       | 頁岩       | 361.5   |
| 12     | テストレNo.6   | 三角錐形石器? | 頁岩       | (311.2) |
| 13     | B m-18     | 削       | 安山岩      | 13.5    |
| 14     | A n-19—柄   | 削       | 頁岩       | 54.1    |
| 15     | B n-17     | 削       | 安山岩      | 16.7    |
| 16     | B m-17-236 | 削       | 頁岩       | (12.0)  |
| 17     | B n-19-121 | 削       | 安山岩      | (150.1) |
| 18     | B o-20-284 | 削       | 頁岩       | 16.1    |
| 19     | B g-18—周辺  | 削       | 頁岩       | 30.0    |
| 20     | B o-17-58  | 削       | 頁岩       | 68.9    |
| 21     | B p-21-332 | 削       | 頁岩       | 134.3   |
| 22     | B H-5-49   | 削       | 頁岩       | (48.2)  |
| 23     | B n-19-131 | 使用痕有る削片 | 頁岩       | 18.6    |
| 図-41 1 | B n-19-127 | 削       | 頁岩       | 83.6    |
| 2      | B o-17     | 石斧      | フォルンフェルス | (140.0) |
| 3      | B m-18—柄   | 削       | 頁岩       | 66.4    |
| 4      | B p-21-326 | 円盤状石器   | 頁岩       | (40.5)  |
| 5      | B o-20     | 削       | 頁岩       | 35.5    |
| 6      | B n-19-160 | 削       | フォルンフェルス | 87.5    |
| 7      | B H-5—柄    | 石斧      | 頁岩       | (33.7)  |
| 8      | B o-20     | 石斧      | 頁岩       | 30.0    |
| 9      | B n-18-373 | 削       | 頁岩       | (15.8)  |
| 10     | B n-19-112 | 片面加工石器  | 頁岩       | 220.0   |
| 11     | B n-19—柄   | 石斧      | 頁岩       | 119.7   |
| 12     | B n-19-370 | 削       | 頁岩       | 93.4    |
| 13     | B n-19-368 | 片面加工石器  | 頁岩       | 227.0   |
| 14     | B r-19—周辺  | 削       | 頁岩       | 232.2   |
| 15     | B n-19-123 | 片面加工石器  | 頁岩       | 273.9   |
| 図-42 1 | B H-5—柄    | 石斧      | 安山岩      | 619.6   |
| 2      | B m-17-379 | 片面加工石器  | フォルンフェルス | 183.7   |
| 3      | B o-20     | 石斧      | 頁岩       | 529.3   |
| 4      | B o-19-198 | 石斧      | フォルンフェルス | 108.5   |
| 5      | B r-19—周辺  | 石斧      | 安山岩      | (206.7) |
| 6      | B n-3-3    | 磨       | 石安山岩     | 648.1   |
| 7      | B o-19-294 | 磨       | 石安山岩     | 540.8   |
| 8      | 西区—柄       | 凹       | 石安山岩     | 349.5   |
| 9      | 西区—柄       | 磨       | 石安山岩     | 928.5   |
| 10     | B n-4-244  | 極すり     | 石安山岩     | 110.9   |
| 11     | B o-20-289 | 磨       | 石安山岩     | 428.6   |
| 12     | B m n-17   | 極すり     | 石安山岩     | (338.4) |
| 13     | B n-4-473  | 極すり     | 石安山岩     | 323.4   |
| 14     | B n-3-382  | 自然      | 結晶片岩     | 154.0   |

## 西区

|    | 图 22       | 图 25         | 图 26        | 图 27        | 图 28        | 图 29        | 图 30       |
|----|------------|--------------|-------------|-------------|-------------|-------------|------------|
| 1  | RJ-1-1-12  | Bn-3-9       | Bn-4---括3   | Ah-17---括15 | Ap-19---括16 | Bn-5---括12  | Bo-5-423   |
| 2  | RJ-1---括2  | Bn-3-381     | Bn-4---括14  | Aq-18---括14 | Bo-4-409    | Bm-4-158    | Bn-5---括1  |
| 3  | RJ-1-8     | Bn-4-271     | 1M---括38    | Bm-4-152    | Bn-3-33     | Bo-5---括18  | Bn-4---括9  |
| 4  | RJ-1-4     | Bn-4-321     | Bn-4---括18  | Bn-3---括4   | Bo-4-405    | Bn-3---括1   | Bn-3-139   |
| 5  | RJ-1---括4  | 东侧面---括1     | Bn-4---括24  | Bn-3---括3   | Bn-2---括2   | Bn-4---括3   | Bn-4-72    |
| 6  | RJ-1-13    | 1M-SB2---括35 | Bn-4---括26  | Bn-5---括8   | BH-2---括1   | Bo-5-413    | Bo-4---括10 |
| 7  | RJ-1---括6  | Bo-4-290     | Bn-4-257    | BH-3---括1   | Bn-4-326    | Bn-5-115    | Bo-3-41    |
| 8  | RJ-1-5     | Bn-4-374     | Bn-3---括27  | Bn-3-384    | Bn-5-114    | Bn-4-54     | Bn-4-184   |
| 9  | RJ-1---括1  | 1M-2---括36   | 西区---括16    | Bn-3-16     | Bn-4-185    | Bn-4-228    | Bn-4-278   |
| 10 | RJ-1-6     | Bn-5---括6    | Bn-4-265    | Bn-4-260    | Bn-5---括15  | Bn-4-188    | Bo-5-421   |
| 11 | RJ-1---括7  | Bn-5-122     | 1M---括34    | Bn-4-311    | Bn-4-453    | Bn-4---括2   | Bn-5-358   |
| 12 | RJ-1---括3  | Bm-5---括4    | Bn-3-302    | Bn-4-144    | Bn-5---括11  | Bn-4-77     | Bn-4-153   |
| 13 | RJ-1---括5  | Bn-4-53      | Bn-4---括5   | Bn-3---括9   | Bo-5-452    | Bn-4---括8   | Bn-4-167   |
| 14 | RJ-1---括10 | Bn-4-310     | Bn-4---括12  | Bn-2-1      | 1M-3---括1   | Bo-4-502    | Bn-34---括7 |
| 15 | RJ-1---括12 | Bn-4-304     | Bn-4---括21  | Bn-4-473    | 1M-SB---括3  | Bn-4-156    | Bn-5---括5  |
| 16 | RJ-1-3     | Bo-6-446     | 1M-3---括37  | Bp-4-442    | Bn-4-164    | Bn-2---括4   | Bo-6-441   |
| 17 | RJ-1-17    | Bn-4---括7    | Bn-5---括11  | Ah-17---括13 | Bn-5---括17  | Bn-4-182    | Bn-4-92    |
| 18 | RJ-1---括14 | Bn-4-299     | Bn-4---括23  | Bn-4-452    | Bn-5---括23  | BH-2-88     | Bn-3---括2  |
| 19 | RJ-1-18    | Bn-4---括19   | Bn-3---括1   | Bo-5---括1   | Bn-4-312    | Bn-4---括13  | 1M-6---括14 |
| 20 | RJ-1---括9  | Bn-5---括2    | Bn-3---括2   | Bn-4-154    | Bn-3---括22  | Bn-4-86     | 1M-4---括15 |
| 21 | RJ-1---括16 | BH-3---括4    | BH-3---括3   | Bn-3-32     | Bo-5-427    | 1M-1---括24  | 1M---括16   |
| 22 | RJ-1-19    | Bn-4---括22   | 1M-5---括1   | Bn-3---括10  | Bn-3-398    | BH-2---括2   |            |
| 23 | RJ-1---括15 | Bn-4-298     | Bn-4---括2   | Bn-4---括5   | Bo-5-414    | BH-2---括5   |            |
| 24 | RJ-1---括13 | Bn-4-172     | Bn-4-253    | Bn-5-118    |             | 1M-SB3---括4 |            |
| 25 | RJ-1---括11 | Bn-4-293     | Bn-4-269    |             |             | 1M-1---括5   |            |
| 26 | RJ-1-14    | Ap-19---括39  | Bn-4-112    |             |             | Bn-4---括25  |            |
| 27 | RJ-1---括18 | Bn-4-292     | Bn-4---括2   |             |             | Bn-4-192    |            |
| 28 |            | Bn-5---括10   | Bn-3---括3   |             |             | BH-2-71     |            |
| 29 |            | Bn-4---括13   | Bn-5-424    |             |             | 1M-3---括    |            |
| 30 |            | Bn-5---括17   | Bn-2---括1   |             |             | Bo-5-412    |            |
| 31 |            | Bn-4---括15   | 西区---括2     |             |             | Bn-4-195    |            |
| 32 |            | Bn-5---括25   | Bn-3---括6   |             |             | Bn-4---括1   |            |
| 33 |            | Bn-3---括20   | Bn-3---括7   |             |             | Bn-4---括8   |            |
| 34 |            | Bn-4---括8    | Bn-3---括4   |             |             | Bn-4-194    |            |
| 35 |            | Bn-4---括9    | BH-3-39     |             |             | Bn-4-104    |            |
| 36 |            |              | Bn-3-385    |             |             | Bo-3---括6   |            |
| 37 |            |              | Bn-3-125    |             |             |             |            |
| 38 |            |              | Bn-4---括5   |             |             |             |            |
| 39 |            |              | An-25---括16 |             |             |             |            |
| 40 |            |              | Bo-3---括3   |             |             |             |            |
| 41 |            |              | Bn-5-365    |             |             |             |            |
| 42 |            |              | Bn-3-6      |             |             |             |            |
| 43 |            |              | Bo-6-447    |             |             |             |            |

## 東区

|    | 回 33        | 回 34       | 回 35         | 回 36       | 回 37       | 回 38        | 回 39         |
|----|-------------|------------|--------------|------------|------------|-------------|--------------|
| 1  | Bo-18-352   | Bo-19-一括11 | Bo-19-102    | 東区一括16     | Bp-21-309  | Bn-19-369   | 東区一括12       |
| 2  | 1トレ一一括4     | Bo-19-一括13 | Bo-20-一括1    | Bp-21-318  | Bo-20-273  | Bm-18-218   | Bm-19-一括20   |
| 3  | Bn-17-377   | Bo-20-一括4  | 東区5一括4       | Bo-17-238  | Bm-17-一括2  | Bn-19-136   | Bo-21-一括29   |
| 4  | Bn-17-237   | Bo-19-一括9  | BH-5-11      | Bn-18-一括19 | BH-5-57    | Bo-17-255   | Bo-19-180    |
| 5  | Bo-17-231   | Bo-19-一括7  | Bo-19-89     | Bo-18-一括6  | 東区一括15     | Bn-18-一括534 | Bo-21-11     |
| 6  | 1トレ一一括3     | Bn-19-364  | Bn-19-一括2    | Bo-19-212  | 1トレ一一括62   | Bo-18-一括32  | Bo-17-64     |
| 7  | Bn-18-一括2   | Bn-19-一括6  | Bo-20-一括24   | Bn-18-一括8  | Bo-19-181  | Bo-17-254   | Bo-20-一括8    |
| 8  | Bo-21-一括1   | 東区一括15     | Bo-19-94     | BH-5-84    | 1トレ一一括60   | Bo-20-一括10  | BH-5-98      |
| 9  | Bp-21-308   | Bo-18-357  | Bo-19-227    | Bo-20-262  | Bn-18-一括44 | Bo-20-一括42  | Bm-17-242    |
| 10 | Bo-19-208   | Bo-19-一括17 | 1トレ一一括53     | BH-5-78    | Bn-20-一括4  | Bn-18-一括28  | Bm-17-238    |
| 11 | Bo-19-200   | Bm-18-一括24 | Bo-17-40     | Bn-18-一括22 | Bo-20-一括5  | Bo-17-9     | Bp-21-一括7    |
| 12 | Bo-18-一括14  | Bo-21-一括22 | BH-5-45      | Bm-18-一括11 | Bn-17-一括1  | Bo-20-267   | Bo-17-45     |
| 13 | Bn-18-一括1   | Bo-17-一括25 | Bo-19-202    | BH-5-一括12  | Bo-19-193  | Bn-18-375   | Bn-19-一括13   |
| 14 | Bm-18-221   | Bo-17-一括21 | Bo-20-一括3    | Bo-17-一括18 | Bo-17-8    | Bo-19-一括9   | Bn-19-一括9    |
| 15 | Bo-19-292   | Bp-19-一括18 | Bo-17-27     | Bo-20-一括15 | Bo-20-一括6  | Bn-19-103   | BH-5-66      |
| 16 | Bmn-17-一括18 | Bo-18-172  | BH-5-94      | Bm-19-一括20 | BH-5-29    | Bn-19-一括18  | BH-5-一括14    |
| 17 | 東区一括28      | Bo-20-一括19 | Bo-17-15     | Bn-18-一括28 | Bn-18-一括3  | Bn-19-143   | Bp-19-一括6    |
| 18 | Bo-17-233   | Bo-19-230  | BH-5-一括7     | Bn-19-一括34 | Bn-19-100  | BH-5-60     | Bo-17-249    |
| 19 | Bo-20-一括8   | Bp-19-一括2  | Bo-17-30     | Bo-18-一括21 | Bo-17-39   | Bn-19-130   | BH-5-一括11    |
| 20 | Bo-17-252   | Bn-18-一括10 | Bo-19-372    | Bn-17-一括17 | Bo-20-一括1  | Bo-18-一括26  | Bp-19-一括5    |
| 21 | Bo-19-179   | Bo-19-149  | Bo-17-一括10   | Bo-17-一括27 | Bo-20-81   | Bn-20-一括25  | Bp-17-一括2    |
| 22 | BH-5-6      | Bo-17-5    | Bo-17-一括13   | Bn-19-一括25 |            | Bn-19-一括33  | Bo-18-一括4    |
| 23 | Bn-18-一括16  | Bo-20-274  | Bo-17-一括29   | BH-17-一括26 |            | Bn-17-一括22  | Bp-19-一括3    |
| 24 | Bn-19-197   | Bn-18-一括3  | Bo-18-一括9    | Bo-18-一括31 |            | 東区一括19      | BH-5-129     |
| 25 | Bn-19-一括5   | 東区一括5      | Bo-18-一括23   | BH-17-一括30 |            | Bn-18-一括13  | 東区一括10       |
| 26 | Bn-18-一括2   | テストレ2-一括2  | Br-19周邊-一括14 | Bo-21-一括32 |            | Bn-19-118   | Bo-17-一括5    |
| 27 | 1トレ一一括30    | Bn-19-359  | テストレX6-一括5   | BH-5-159   |            | Bo-17-21    | 東区一括13       |
| 28 | 1トレ一一括31    | Bo-20-43   | Bo-17-97     | Bo-21-一括   |            | Bo-19-185   | No.5 Tes-一括1 |
| 29 | Bo-19-一括12  | Bm-18-223  | BH-5-34      | Bn-21-341  |            | Bn-17-一括11  | Bm-19-一括7    |
| 30 | Bo-17-53    | BH-5-51    | Bn-17-一括35   | Bn-19-134  |            | Bo-18-173   | BH-5-一括4     |
| 31 | 東区一括13      | Bo-19-256  |              | Bn-17-48   |            | Bn-19-155   | Bn-18-一括6    |
| 32 | Bm-18-一括29  | Bn-19-144  |              | Bo-17-47   |            | Bo-18-一括24  | Bo-20-一括10   |
| 33 | Bo-20-一括26  | Bn-18-一括7  |              | Bn-20-72   |            | Bo-17-28    | Bo-21-一括1    |
| 34 | Bo-17-一括29  | BH-5-一括4   |              | Bo-20-46   |            | 1トレ-一括51    | Bo-17-224    |
| 35 | Bo-17-一括23  | Bo-19-211  |              |            |            | Bn-20-51    | Bo-17-251    |
| 36 | Bo-19-一括20  | Bo-18-一括1  |              |            |            | Bn-19-158   | BH-5-171     |
| 37 | Bm-18-一括10  |            |              |            |            | Bn-18-一括43  | BH-5-160     |
| 38 |             |            |              |            |            | BH-5-75     | BH-5-161     |
| 39 |             |            |              |            |            | Bn-18-219   | 1トレ-一括16     |
| 40 |             |            |              |            |            | Bp-21-315   | BH-5-162     |
| 41 |             |            |              |            |            |             | Bn-17-一括15   |

写 真 図 版



1 御殿遺跡遠景(東より)



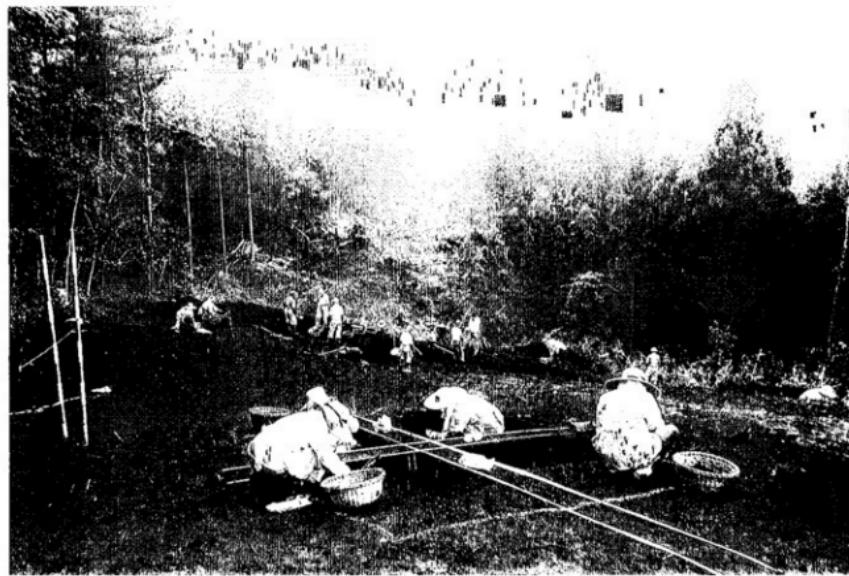
2 西区基本土層



3 東区基本土層



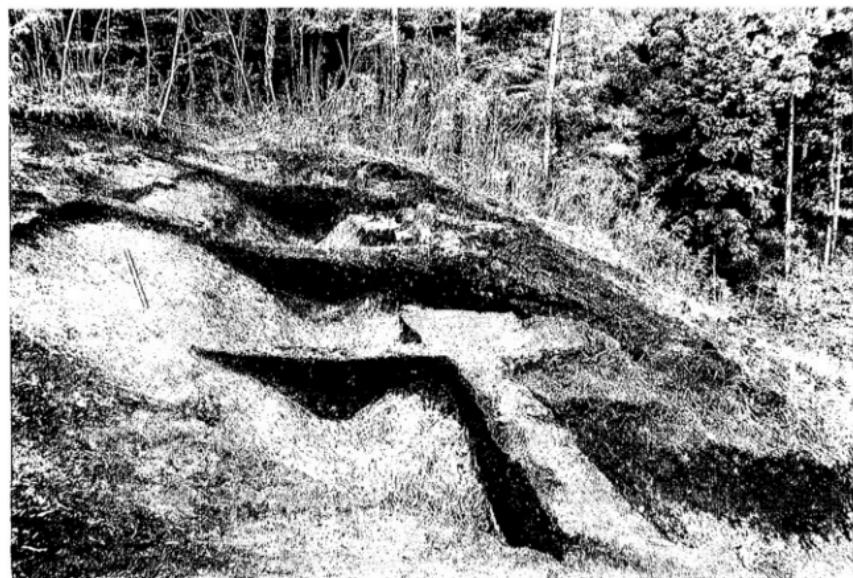
1 御殿遺跡全景(東より)



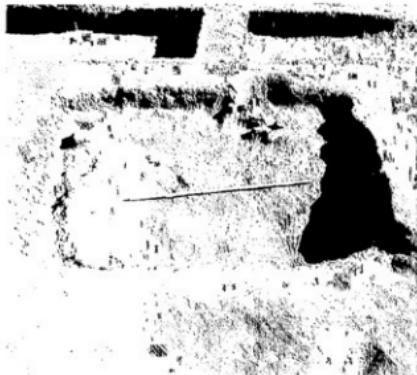
2 西区調査状況



1 大溝の調査



2 大溝全景



1 BH-1号住居全景



4 BH-2号住居全景



2 BH-1号住居土層堆積状況



5 BH-2号住居土層堆積状況



3 BH-1号住居遺物の出土状況



6 BH-2号住居遺物詳細



1 BH- 3号住居全景



4 AH- 1号住居全景



2 BH- 3号住居遺部分詳細



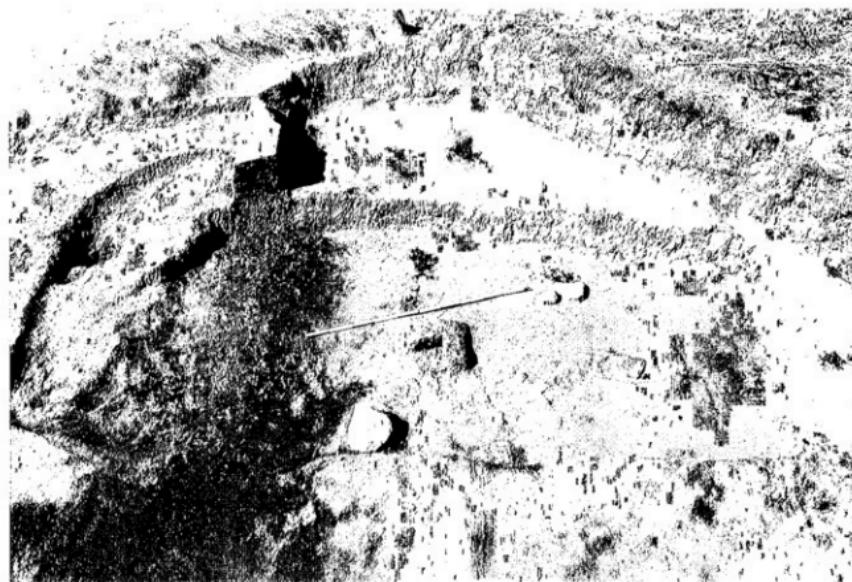
5 AH- 1号住居遺部遺物出土状況



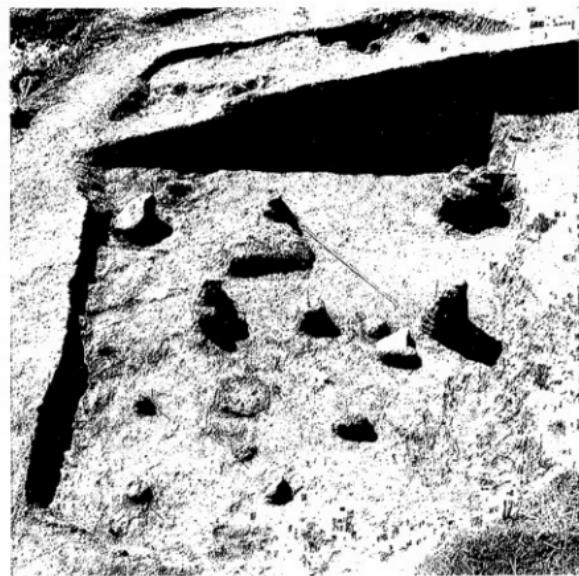
3 BH- 4号住居全景



6 西区発掘状況(西より)



1 BJ-1号住居全景(東より)



2 BJ-1号住居遺物出土状況



3 BJ-1号住居地床炉



1 西区包含層遺物出土状況(南東より)



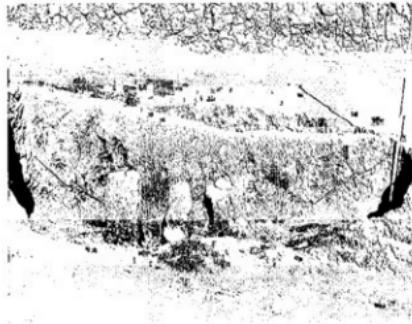
2 西区包含層遺物出土状況



3 包含層下部で検出されたBJ-2号土壤



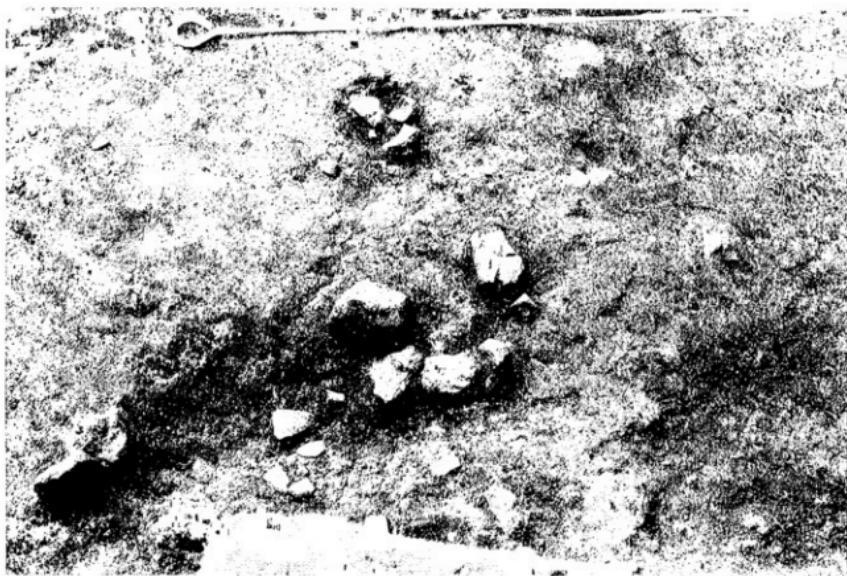
4 包含層下部で検出されたBJ-1号土壤



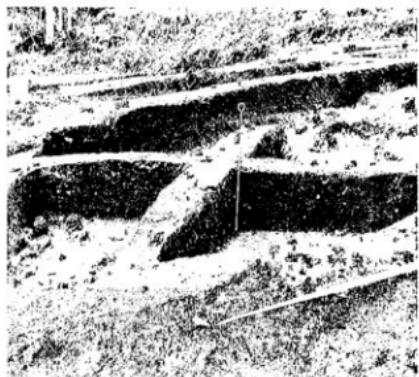
5 BJ-1号土壤土層堆積状況



1 BH-5号住居全景



2 「錢」 鑄型出土状况



1 BH-5号住居土層堆積状況



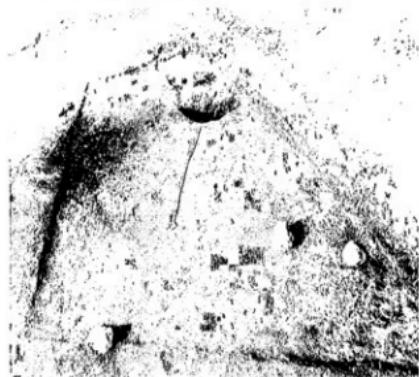
4 BH-6号住居遺物出土状況



2 BH-5号住居土層堆積状況



5 BH-6号住居全景(北より)



3 CH-1号住居全景



6 CH-1号住居土層堆積状況



1 東区西端の造成段(北より)



2 造成段上の1号柱立柱建物



1 BH-7号住居遺物出土状況



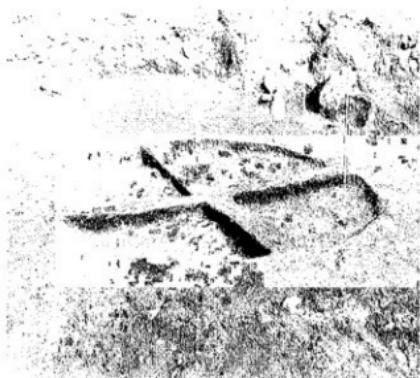
4 BH-7号住居全景



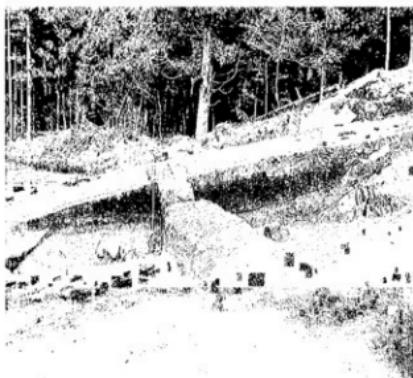
2 BH-7号住居遺物出土状況(部分)



5 BH-7号住居部遺物出土状況



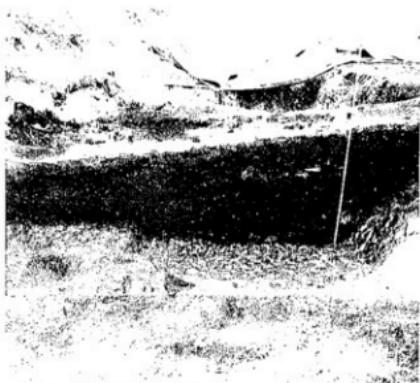
3 BH-7号住居中央敷物炭化物断面



6 BH-7号住居土層堆積状況



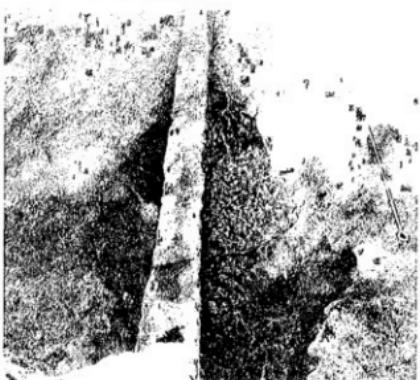
1 東区発掘状況(東より)



4 BH-1号土壤土層堆積状況



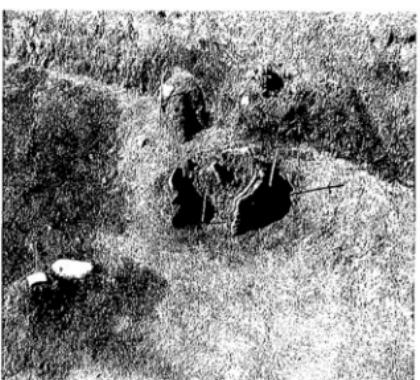
2 BH-1・2号土壤



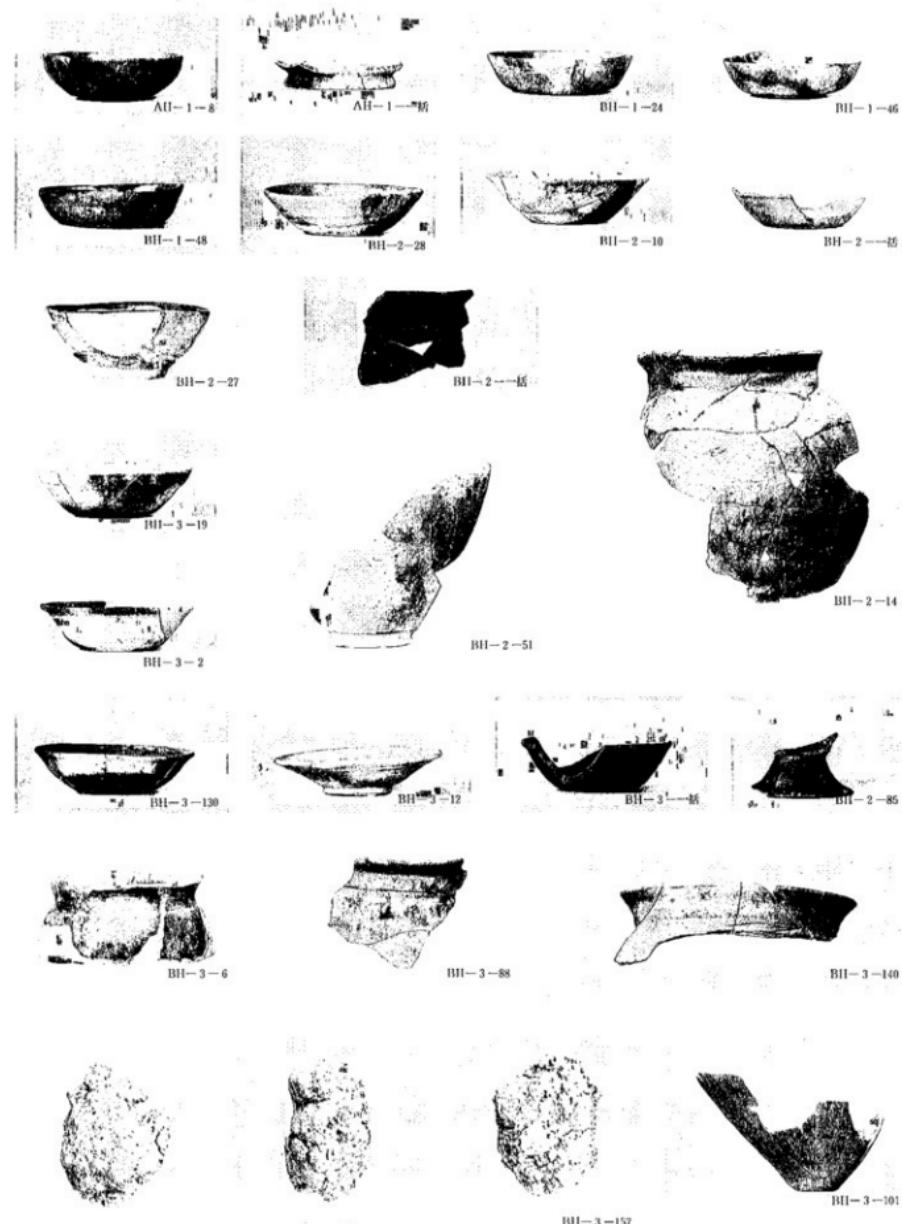
5 BH-1号土壤全景



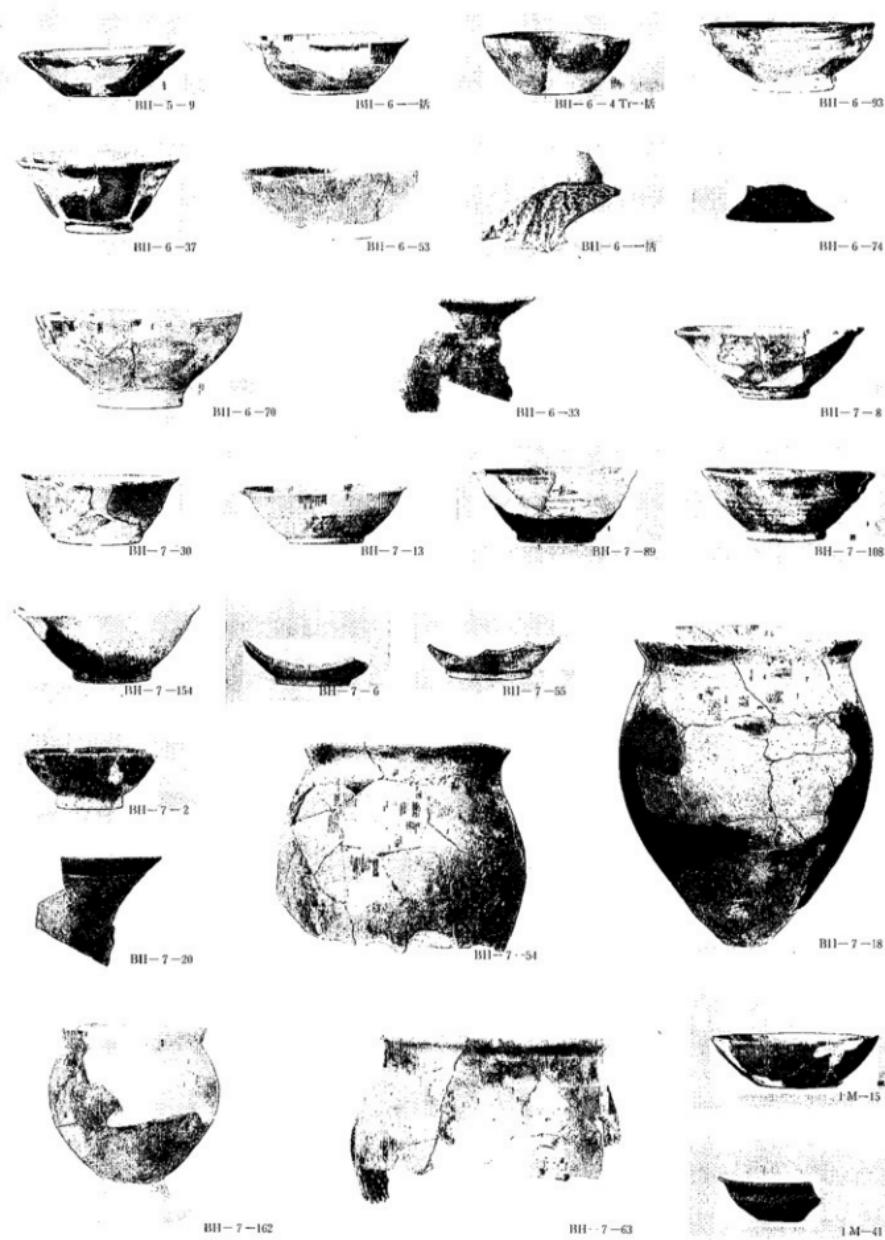
3 東区縄文包含層遺物出土状況



6 東区縄文包含層戸下層式土器出土状況



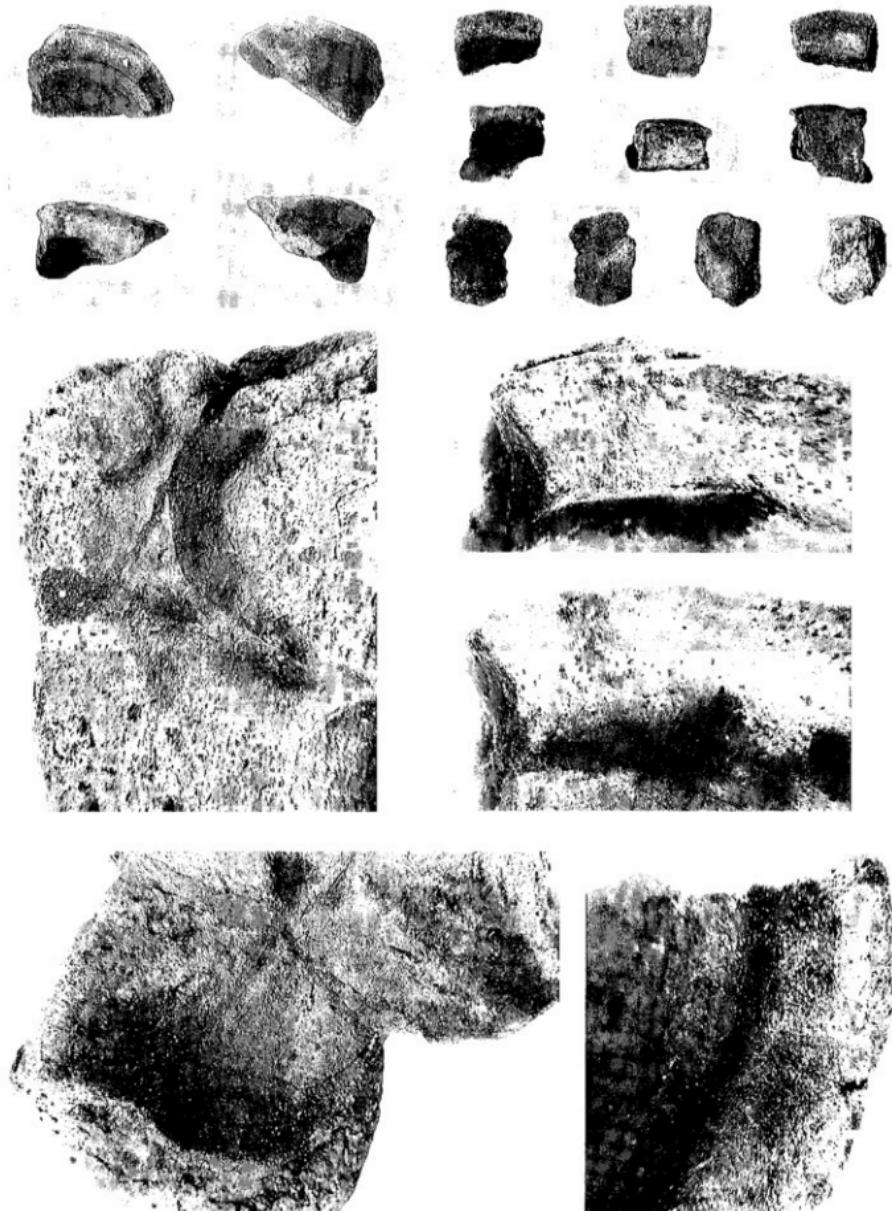
AH-1、BH-1・2・3号住居出土遺物



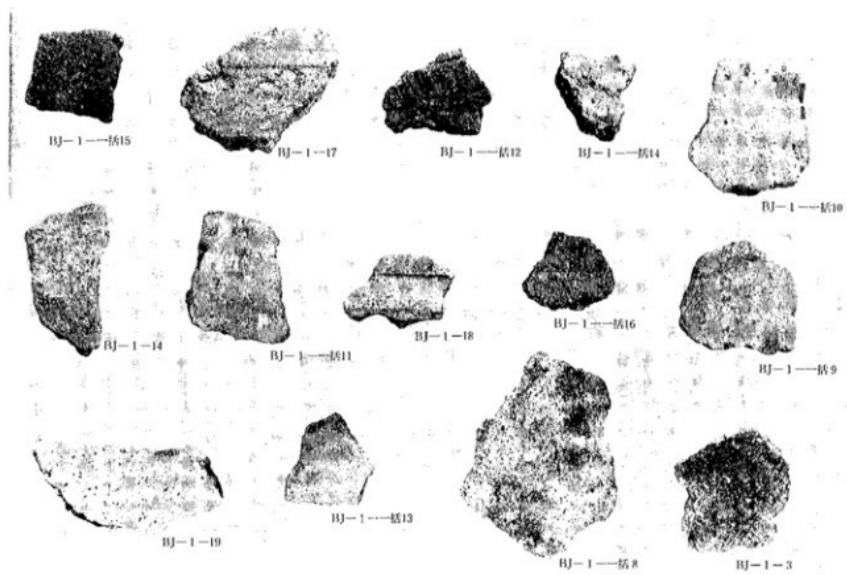
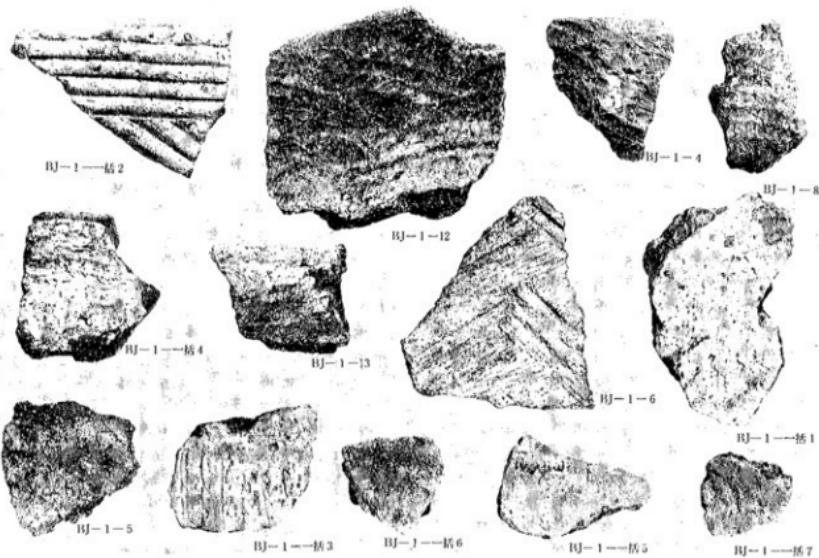
BH-5 • 6 • 7 号住居出土遺物



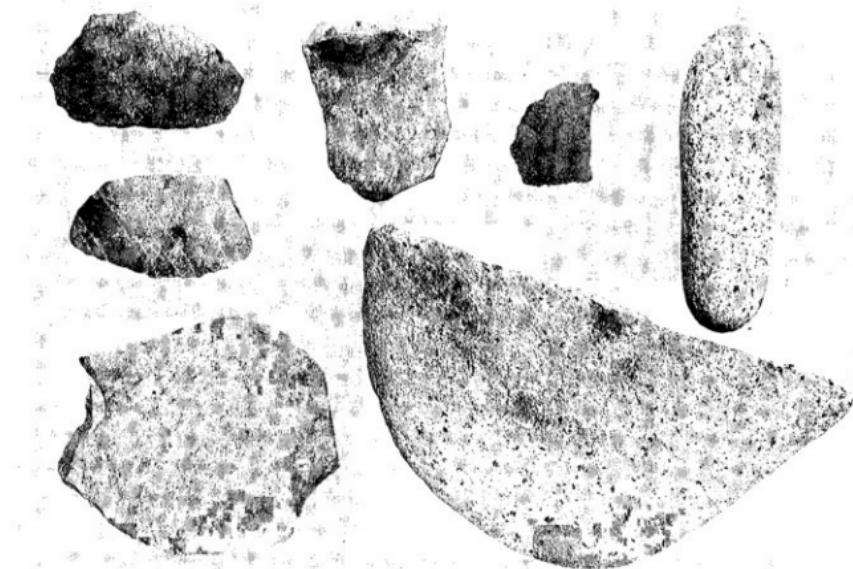
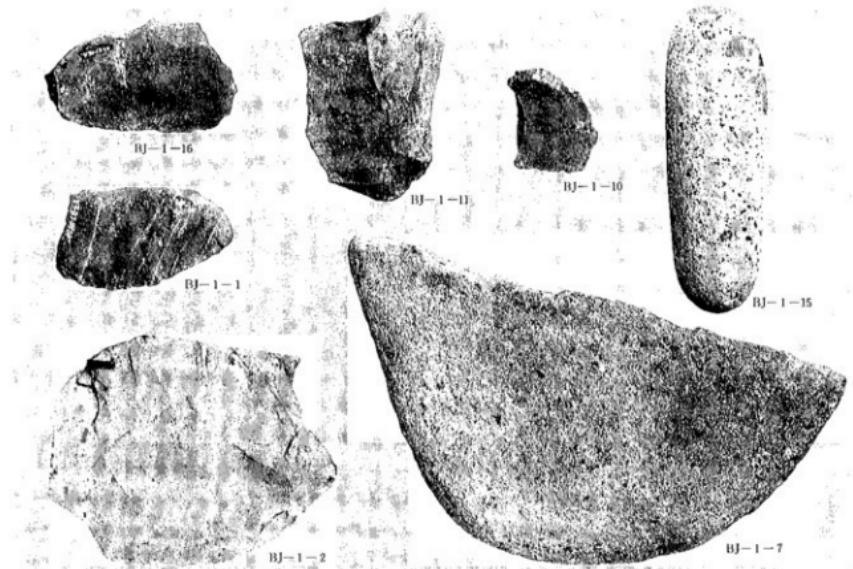
BH-5号住居出土「鉢」鉄型



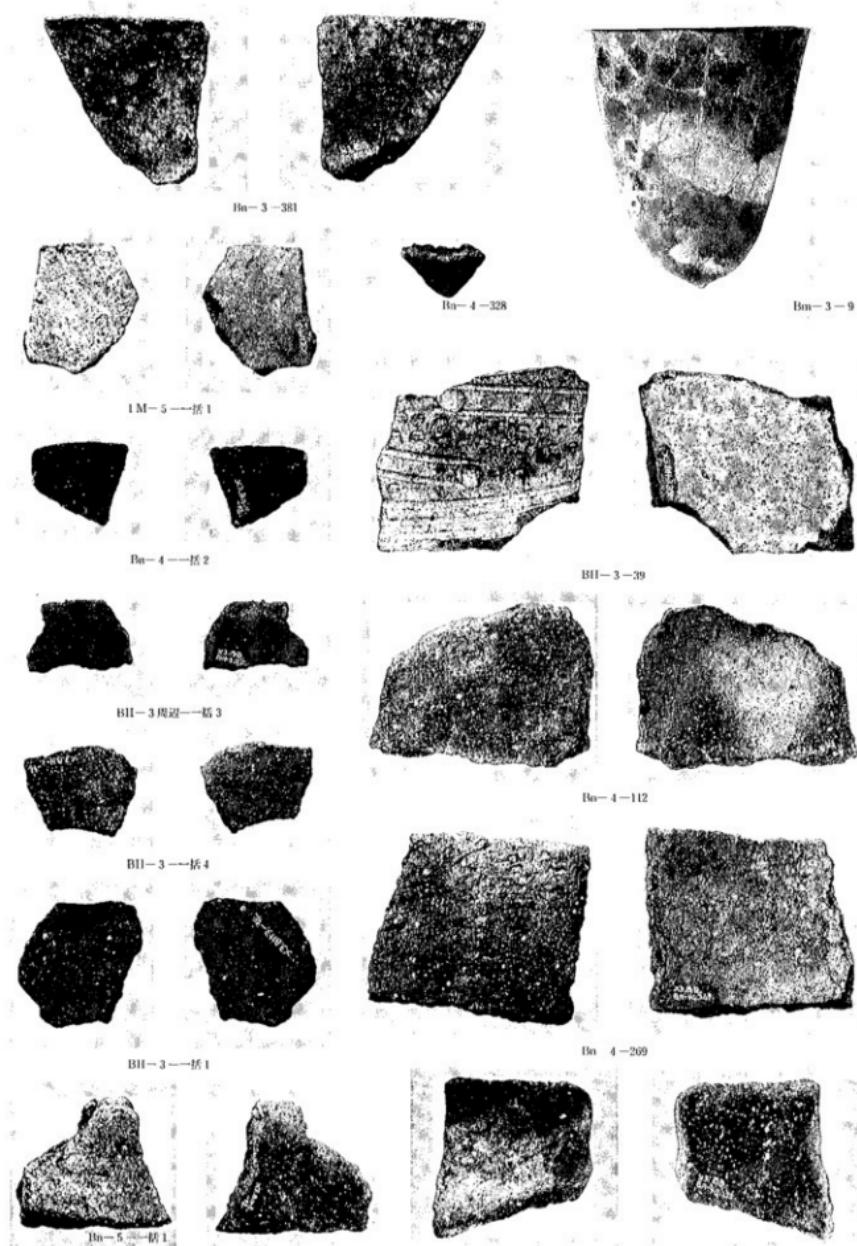
BH-5号住居出土「鎌」鉗型



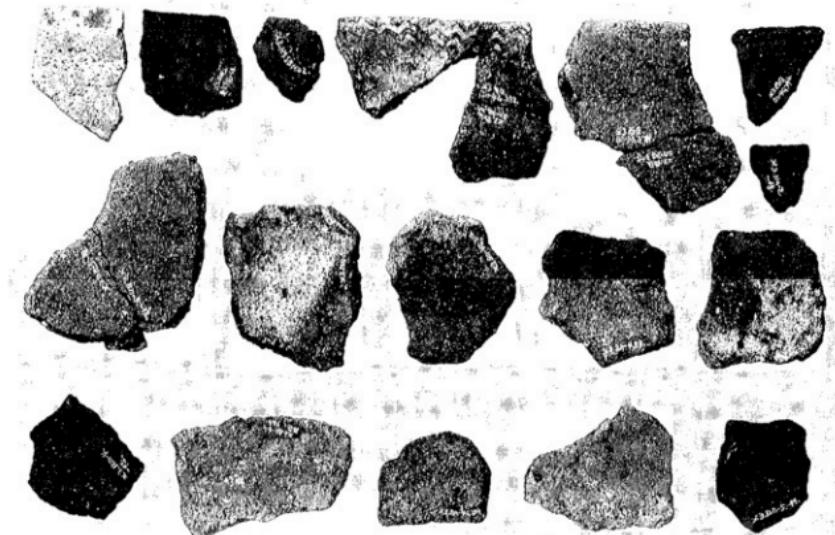
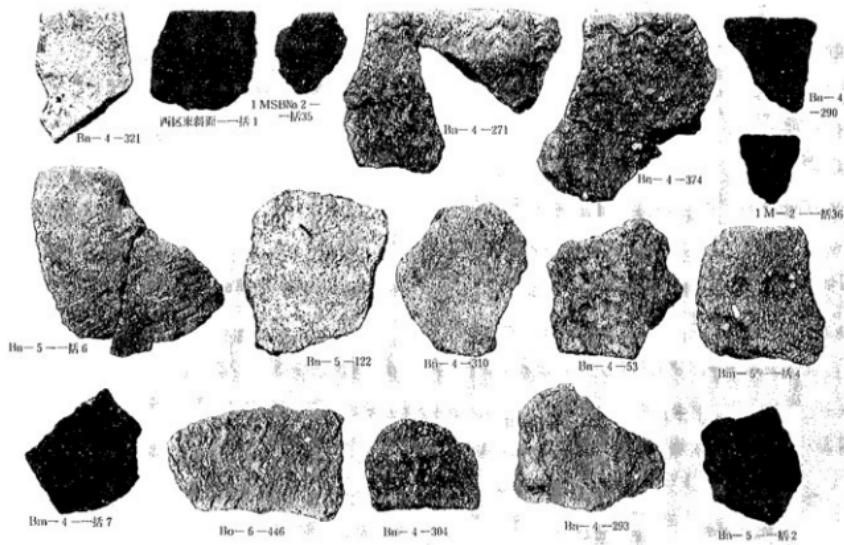
BJ-1号住居出土遗物(土器)



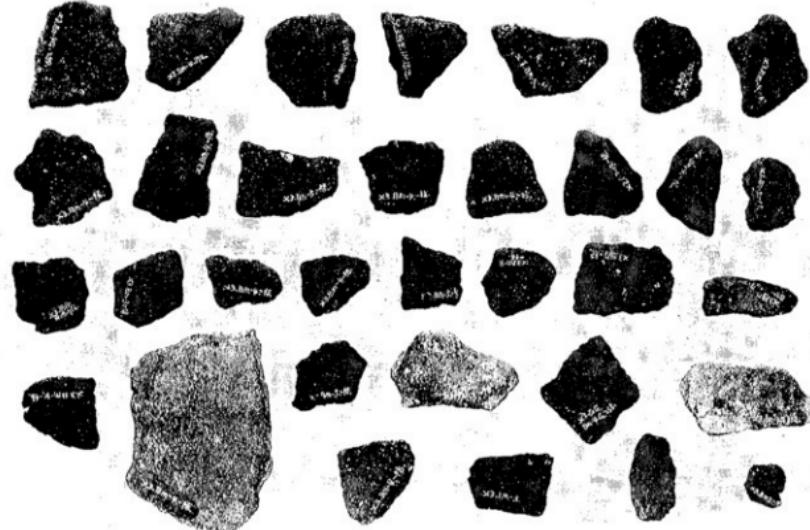
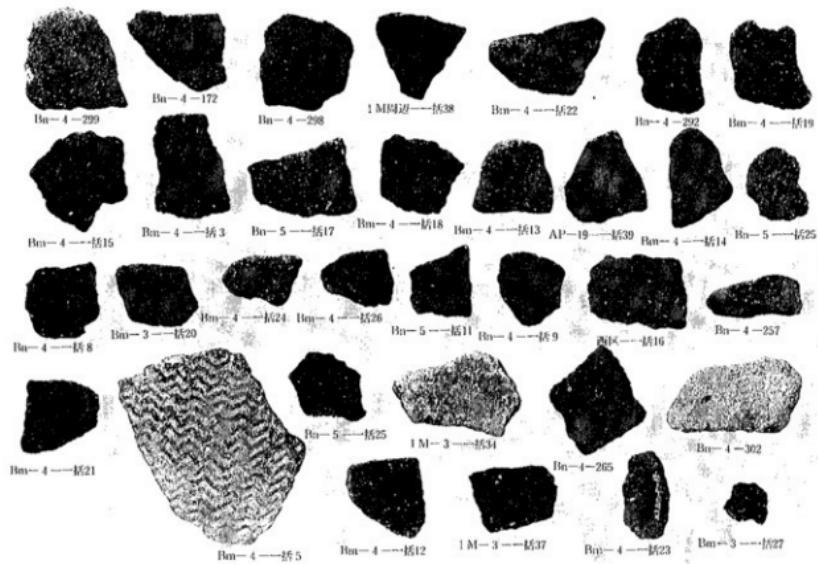
BJ-1号住居出土遺物(石器)

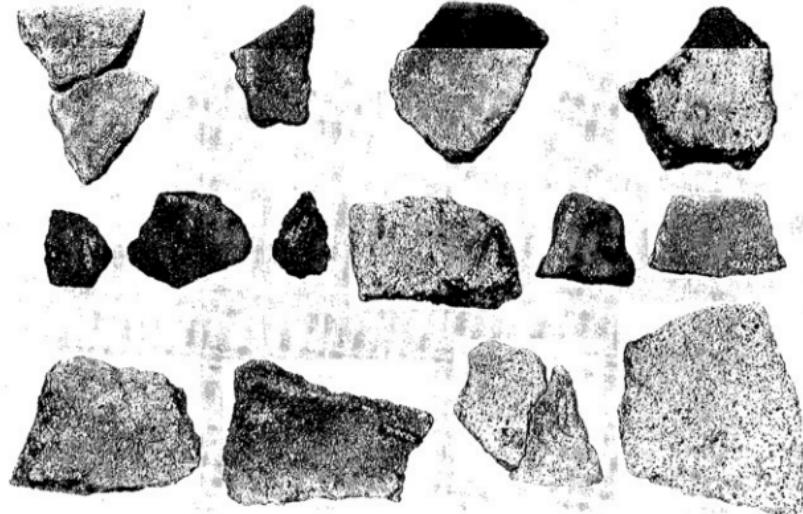
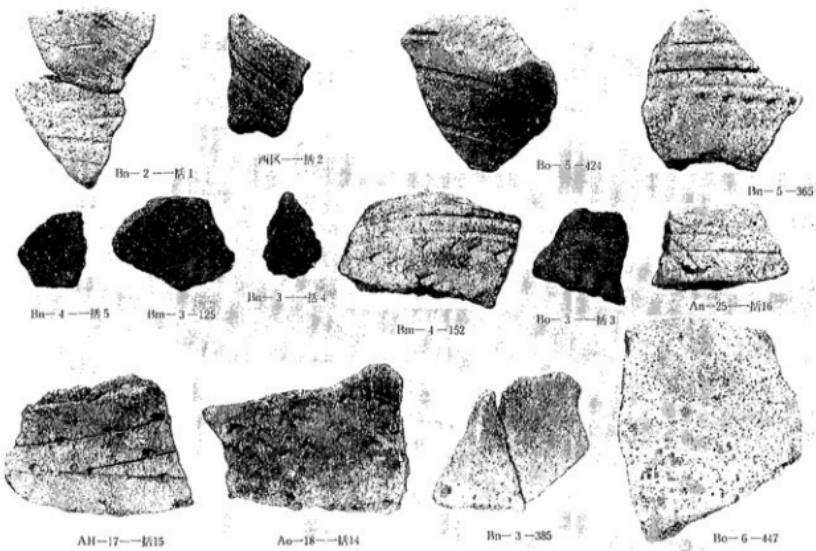


西区包含层出土土器(草创期·早期) |

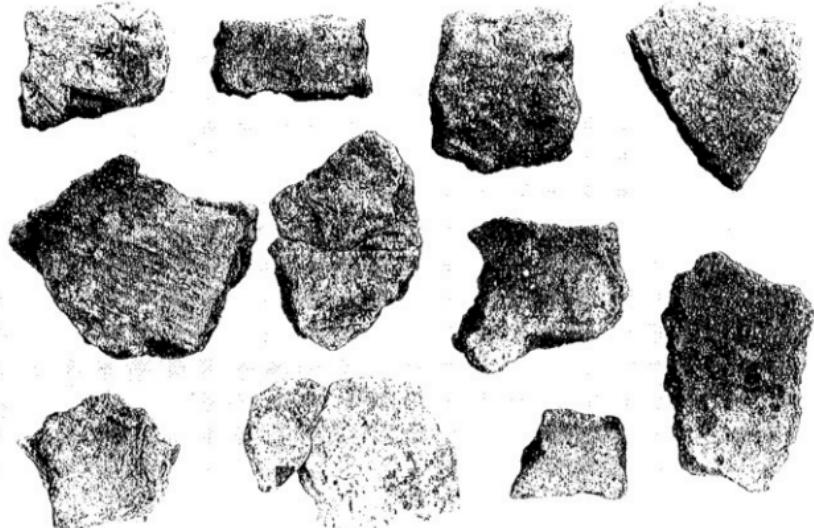
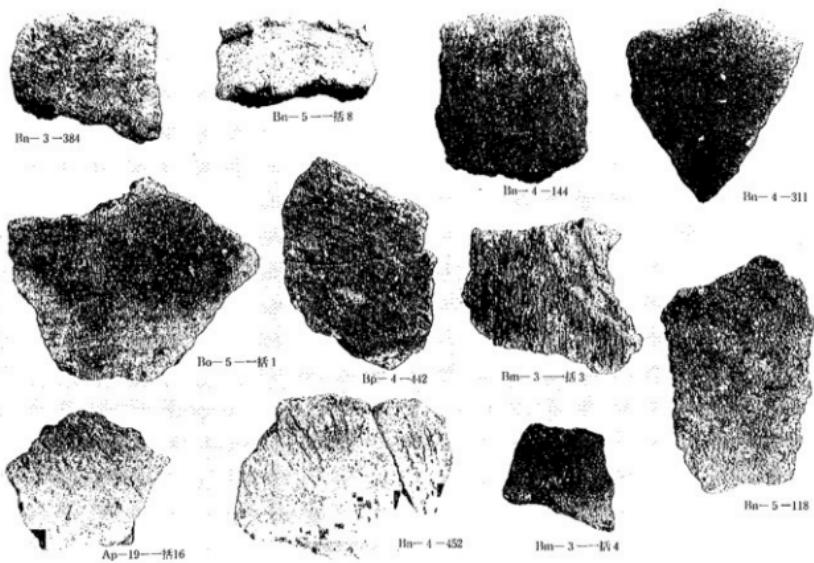


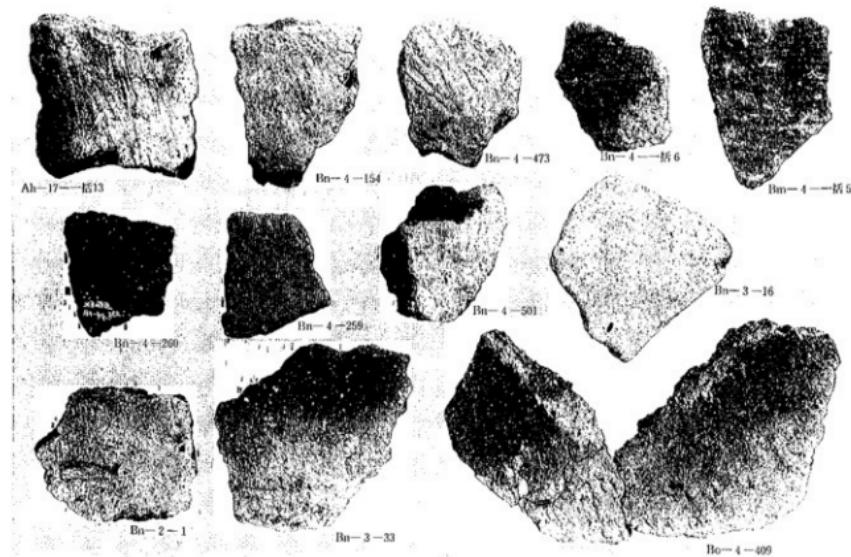
西区包含层出土土器(早期)



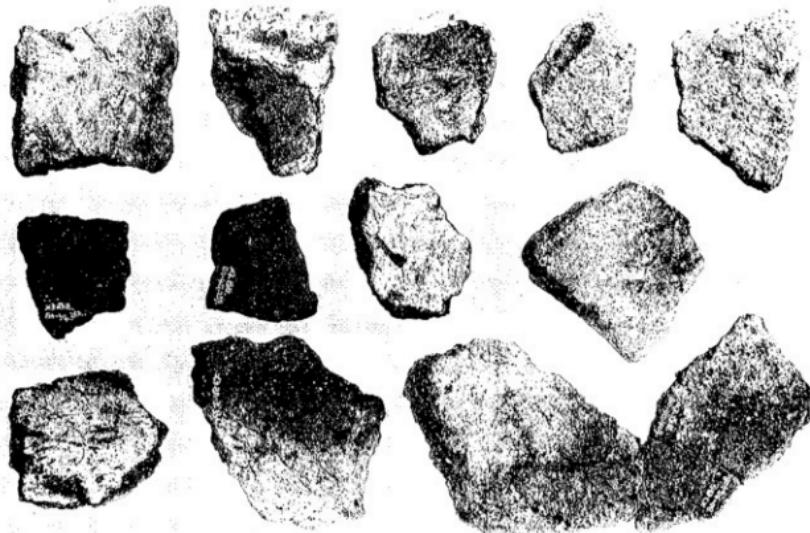


西区包含层出土土器(早期沈綸文)

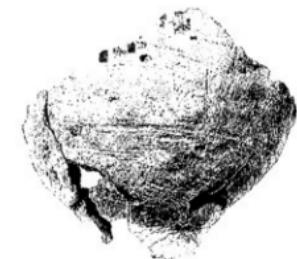




西区包含层出土土器(早期·前期)



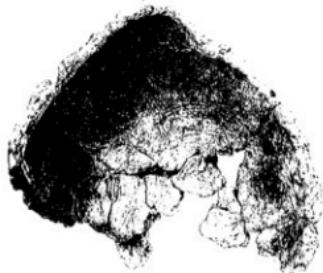
西区包含层出土土器(早期·前期)



Bm-4-405



Bm-5-114



Bm-4-525



Bm-4-86

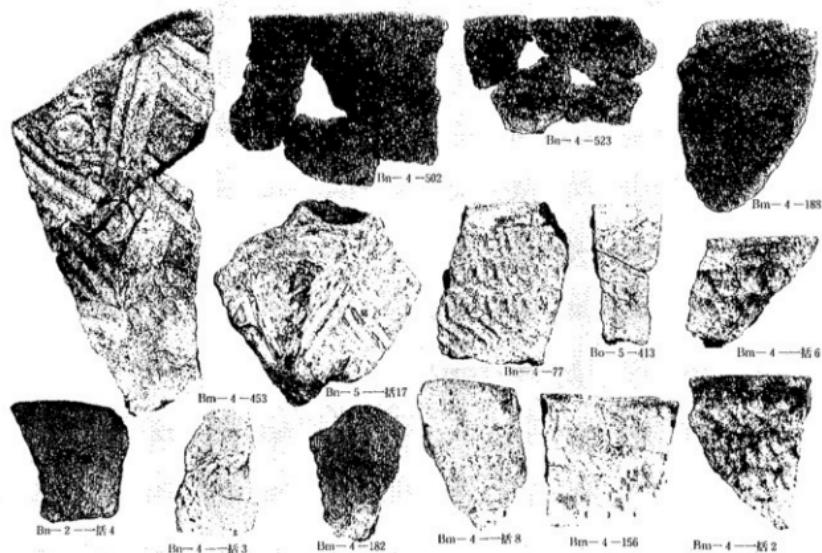
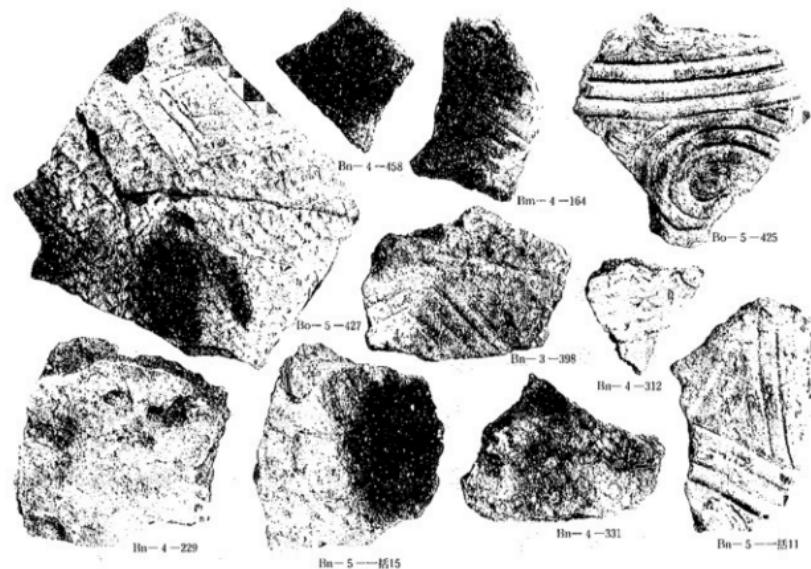


1M-1-1524

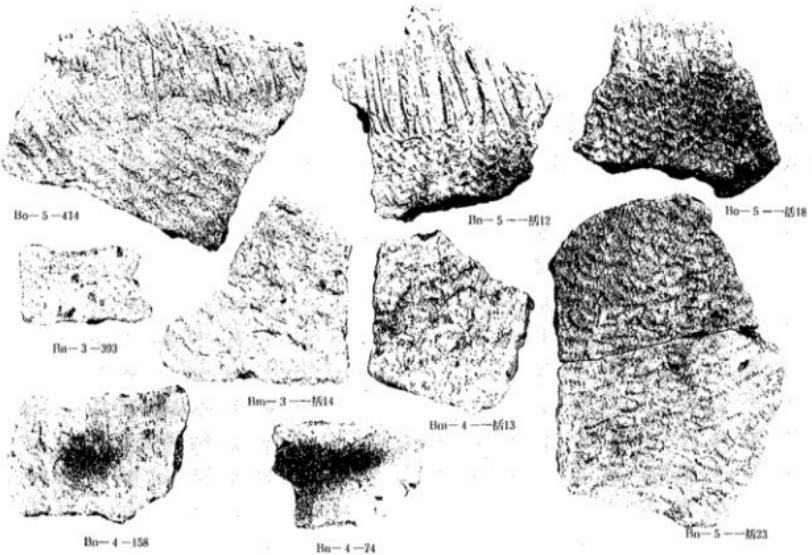
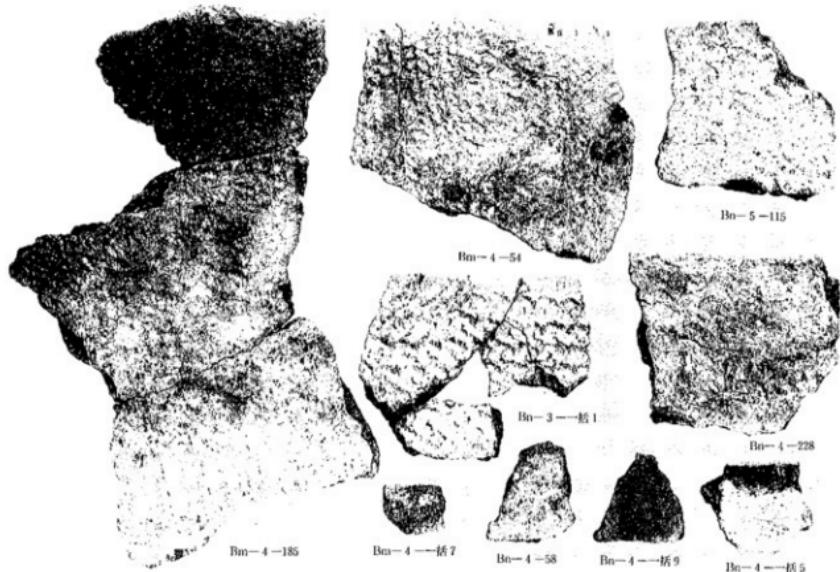


Bm-4-192

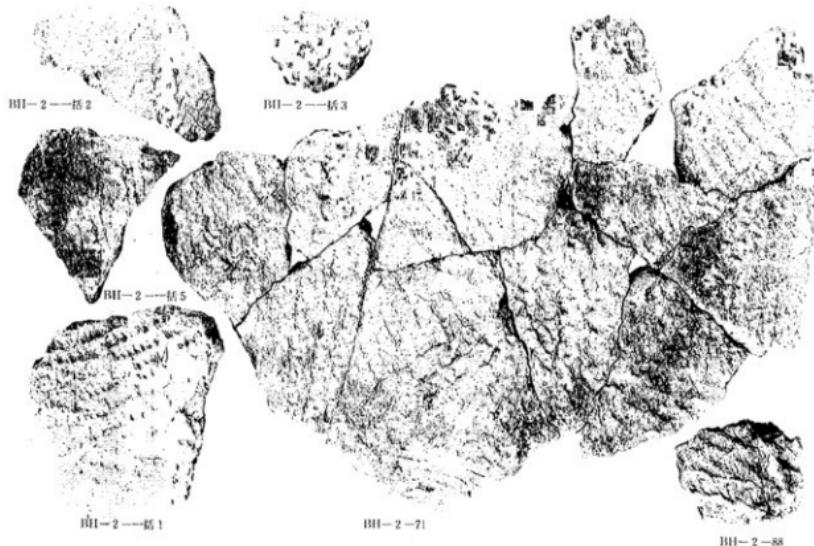
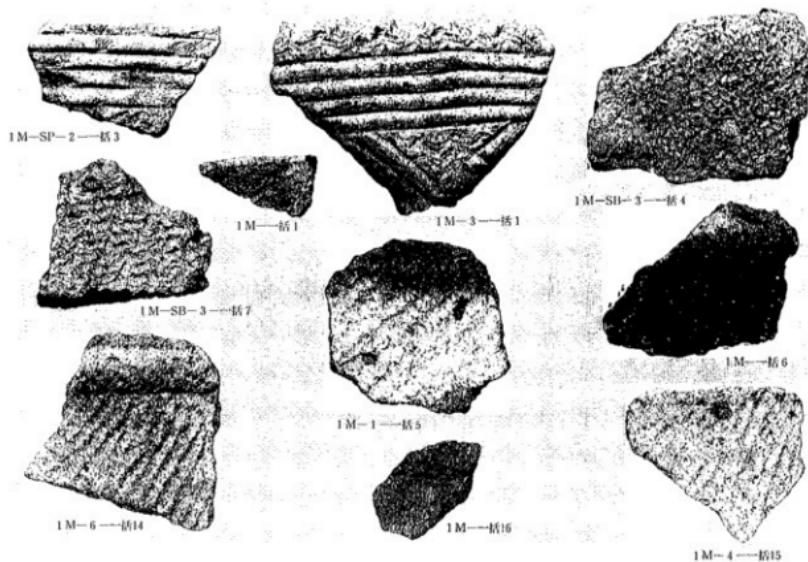




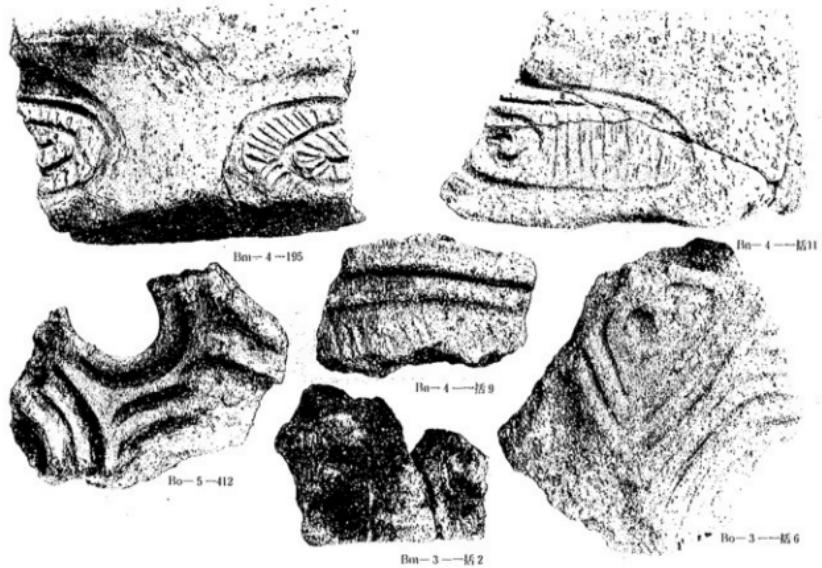
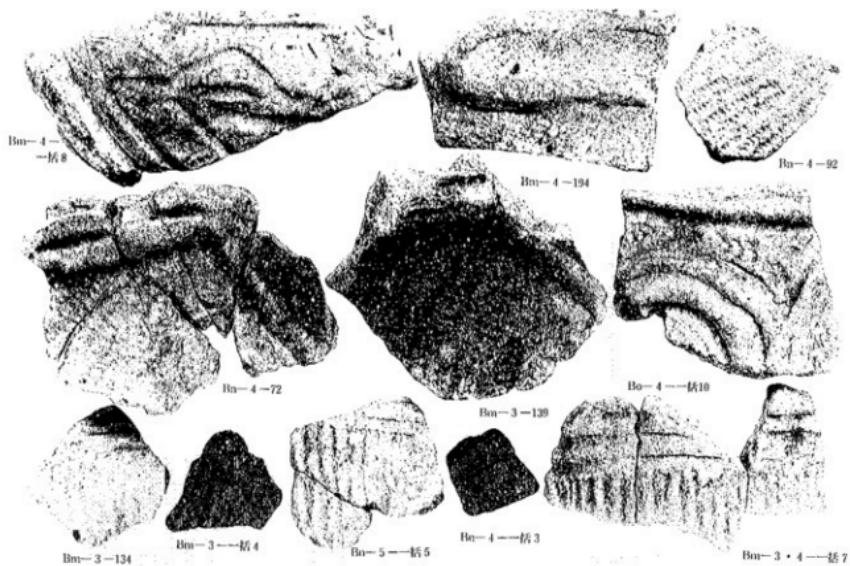
西区包含出土土器(前期)



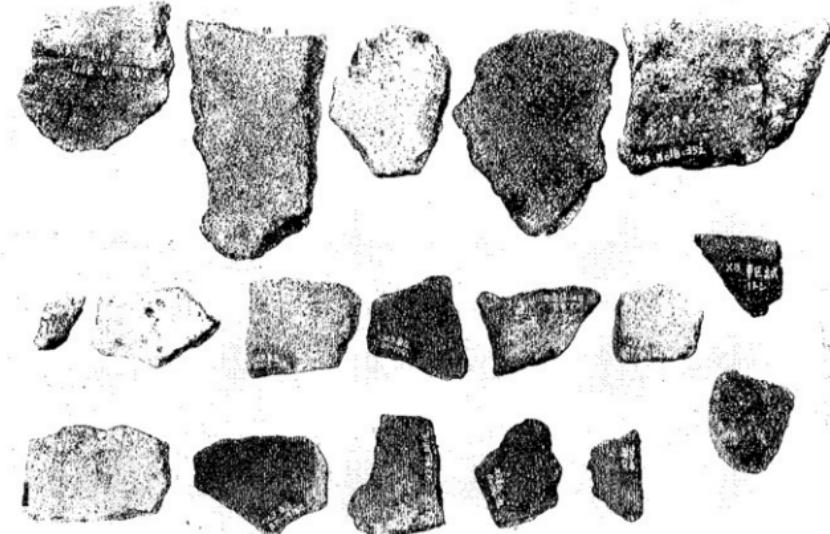
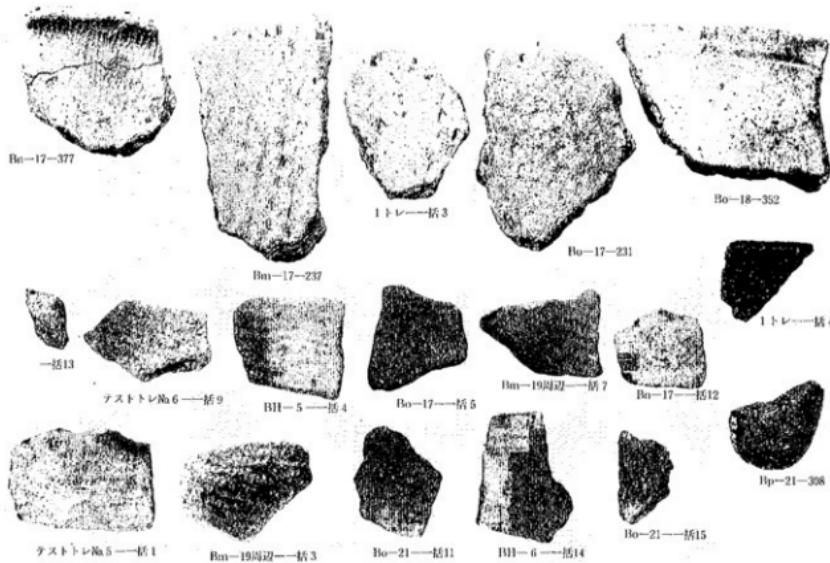
西区包含层出土土器(前期)



西区包含层出土土器(前期)



西区包含层出土土器(中期)





Bn-19-145.2 Bn-19-149 Bn-17-5 Bn-18-1510 Bo-20-1510 Bn-18-157



Bn-19-89

東区N.5—括4



東区—括10

Bn-5-11

Bo-20-151

Bn-17-1515

Bn-20-341

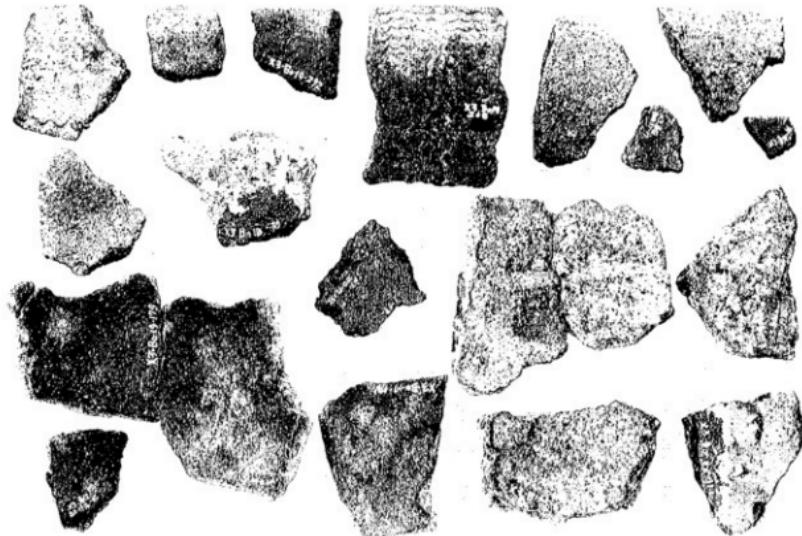
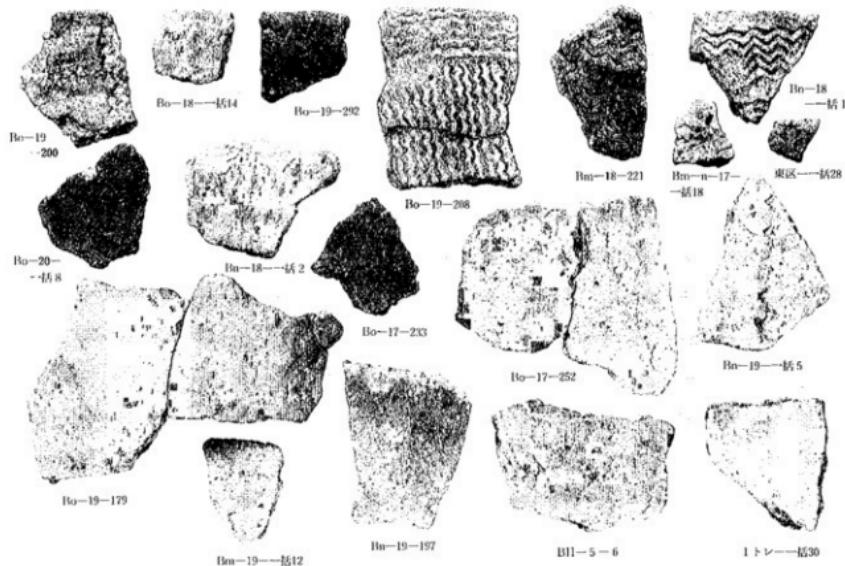
Bo-20-155



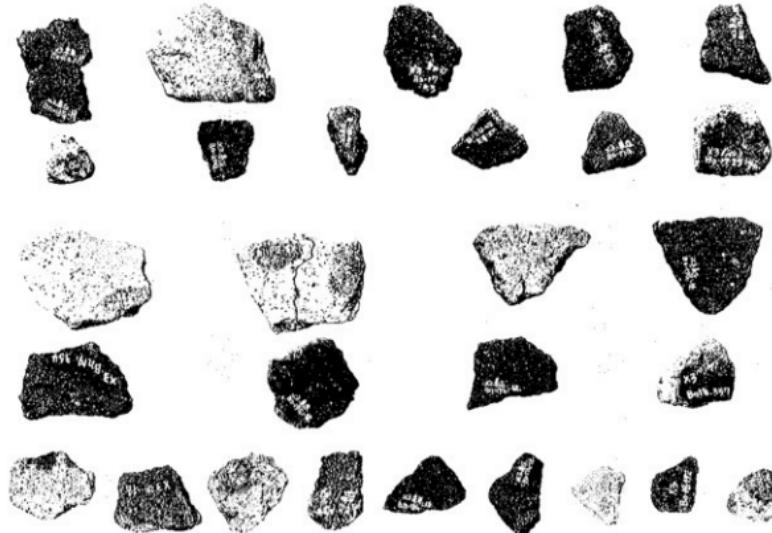
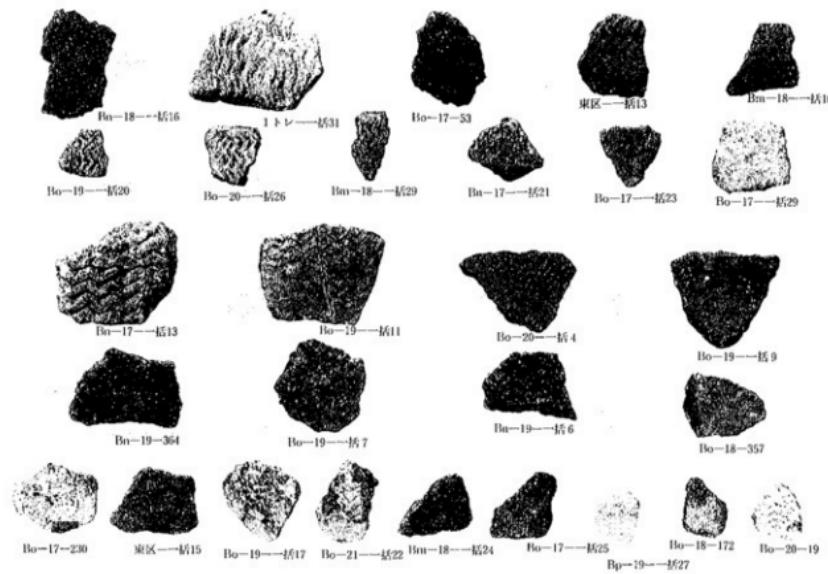
1トレー—括16

Bn-5-162

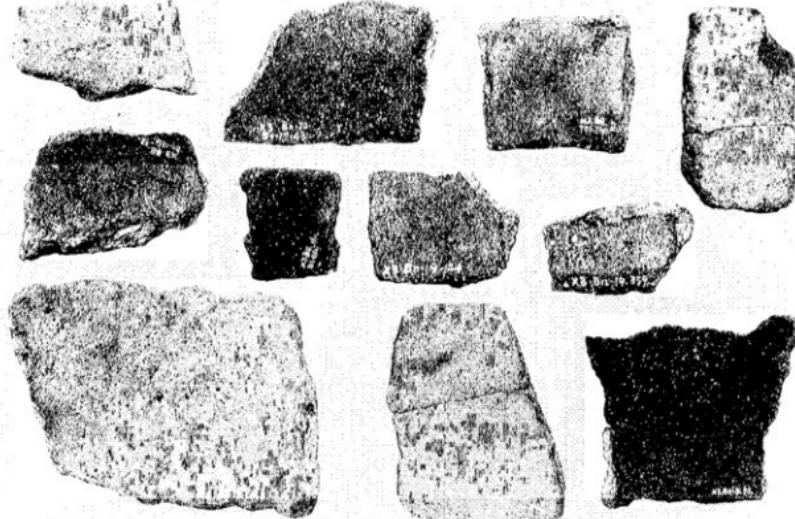
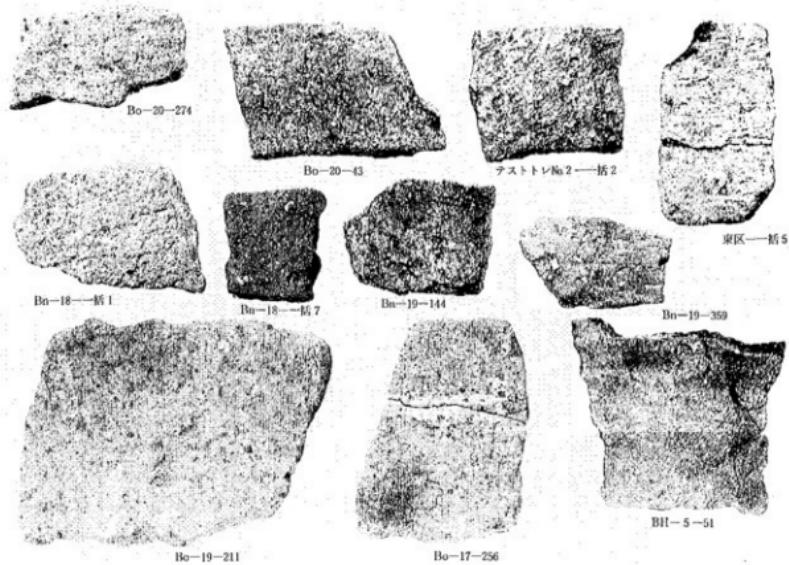
東区包含层出土土器(草庵期·早期·中期)



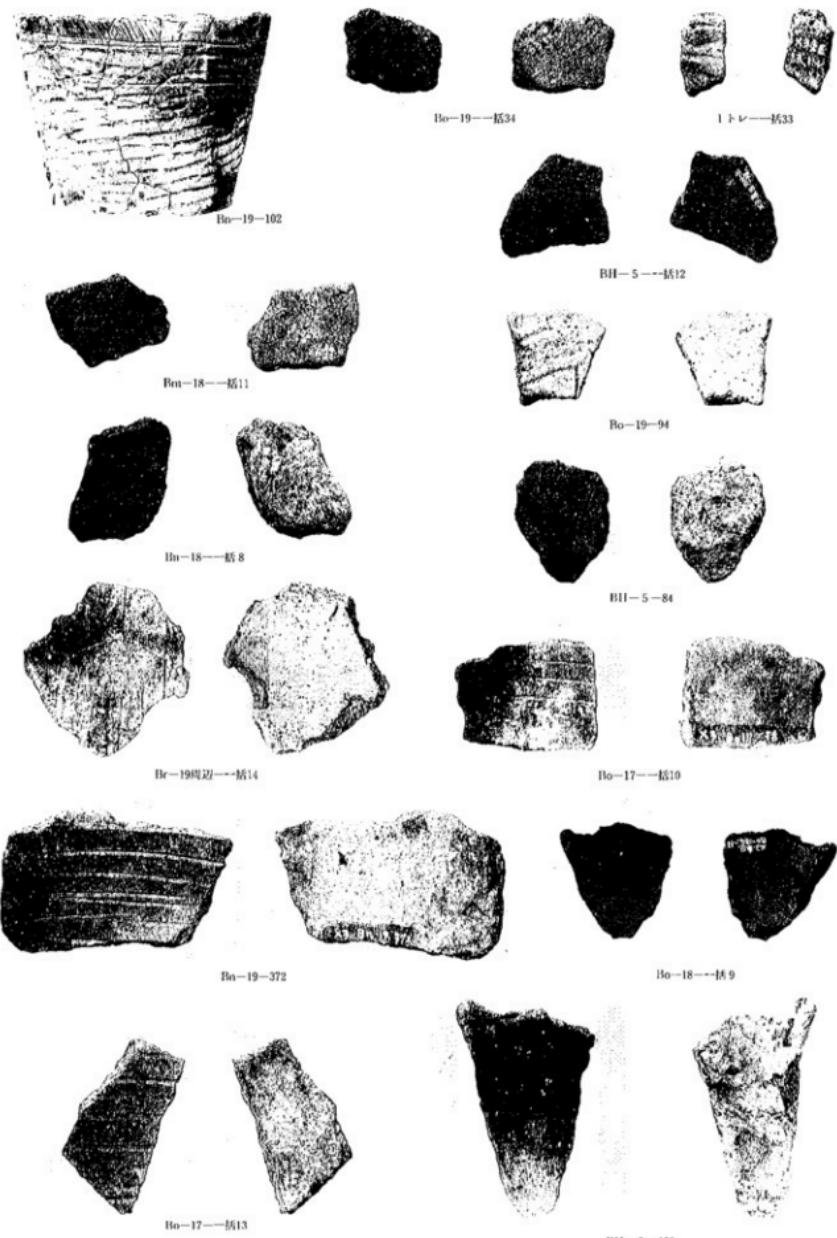
東区包含層出土土器(早期)



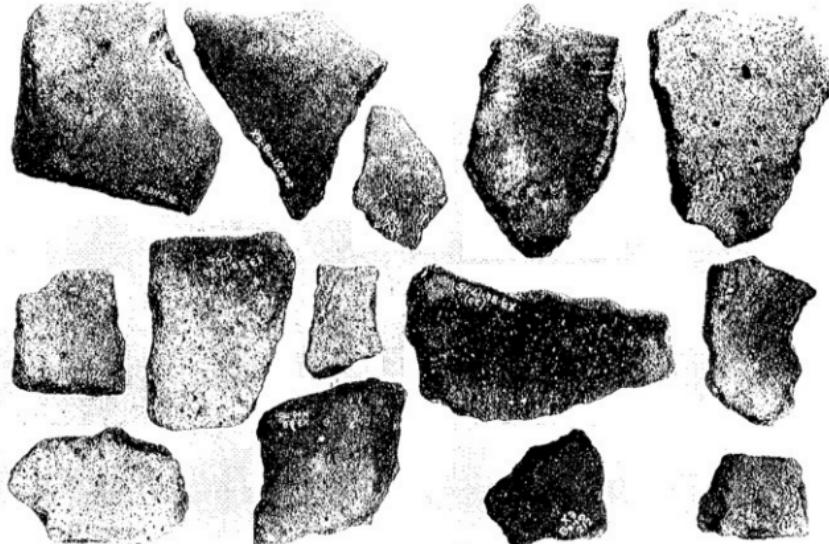
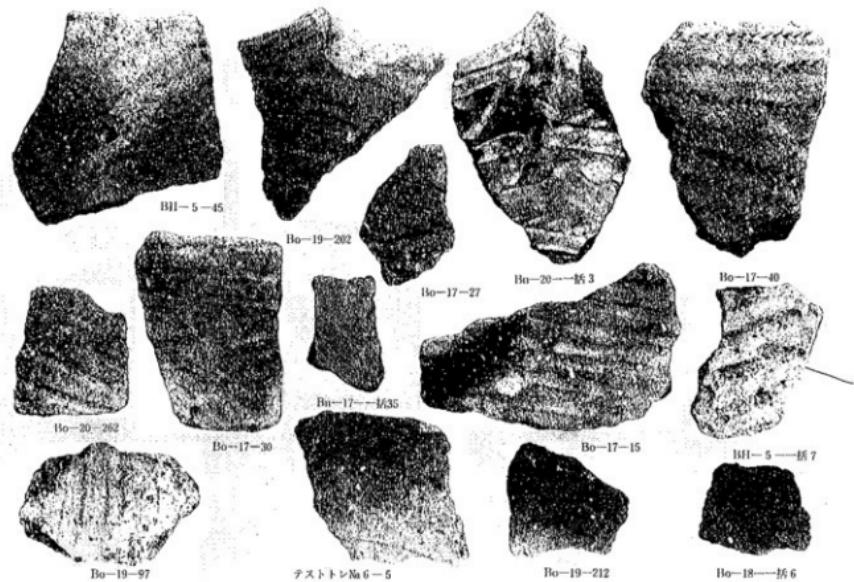
東区包含層出土土器(早期)



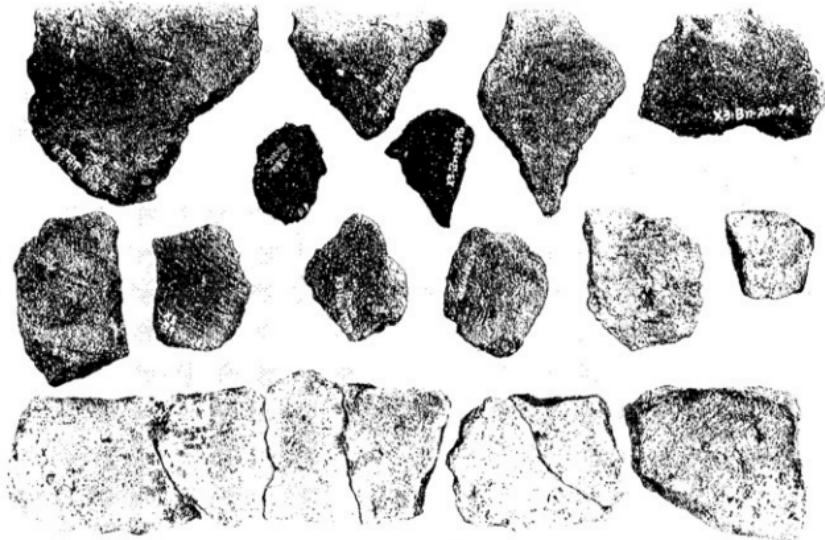
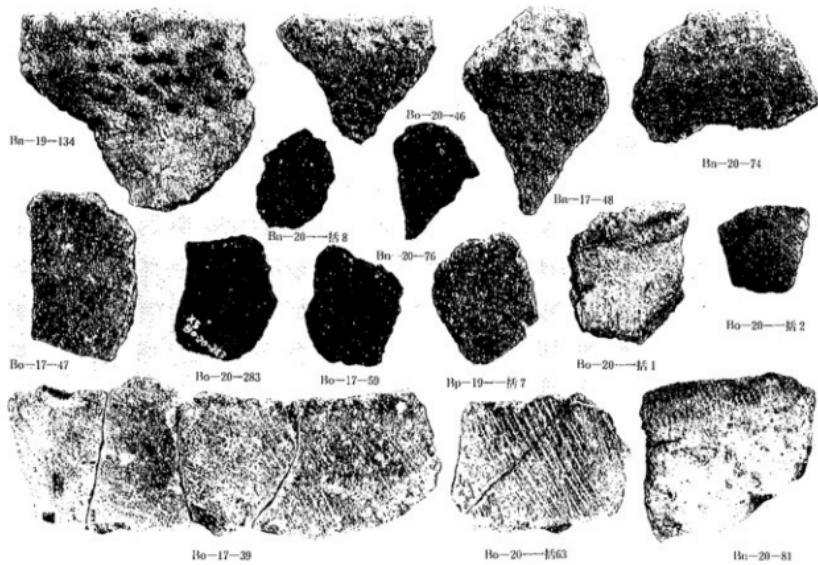
東区包含層出土土器(早期淮度)



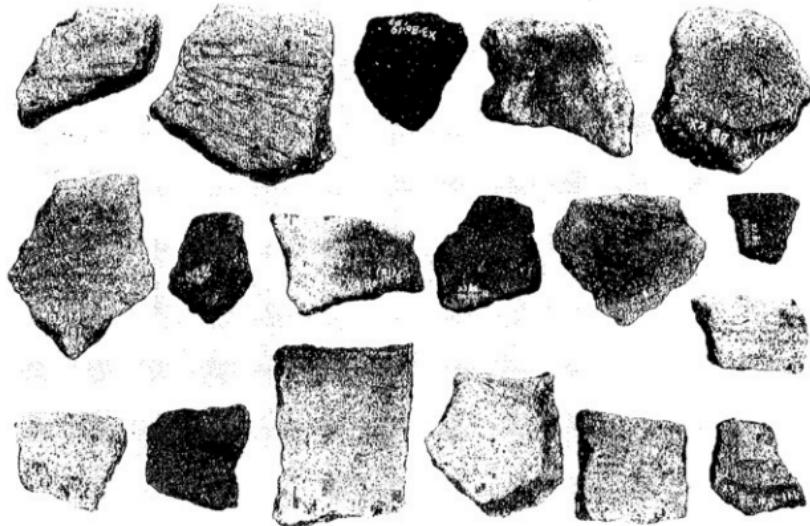
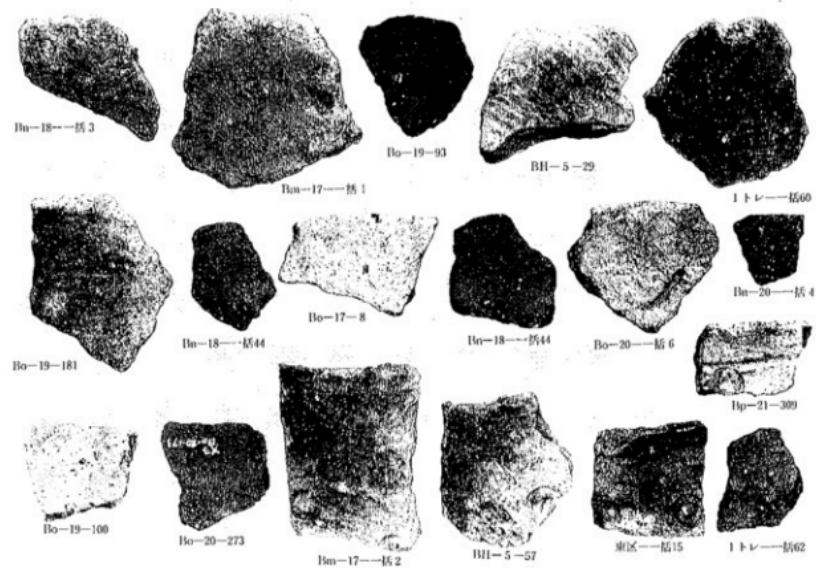
東区包含層出土土器(早期沈綸文)



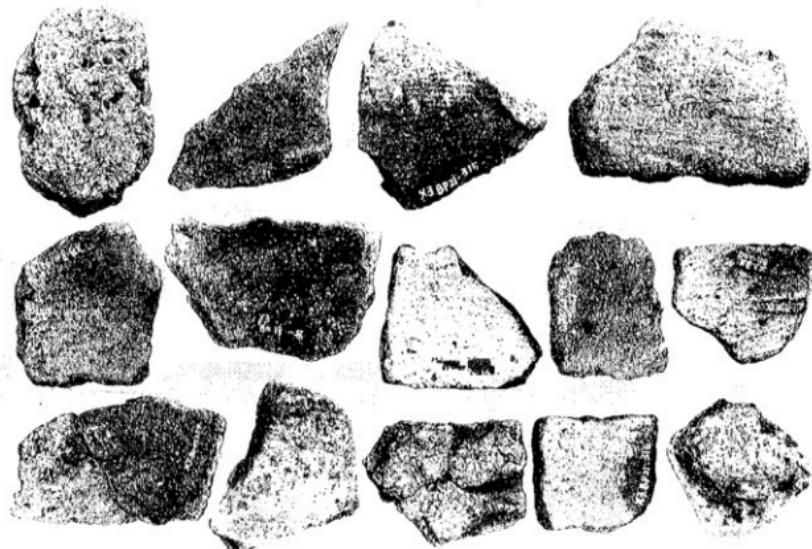
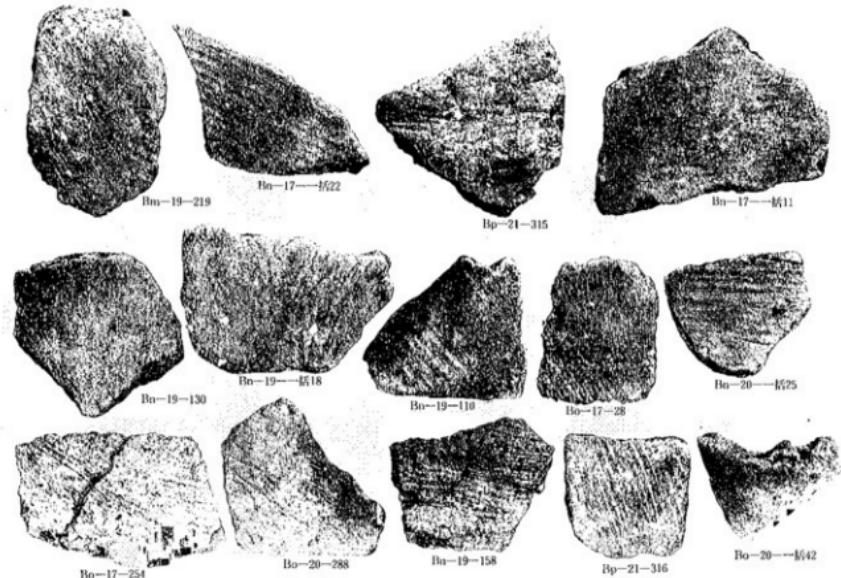
東区包含層出土土器(早期沙綫文)



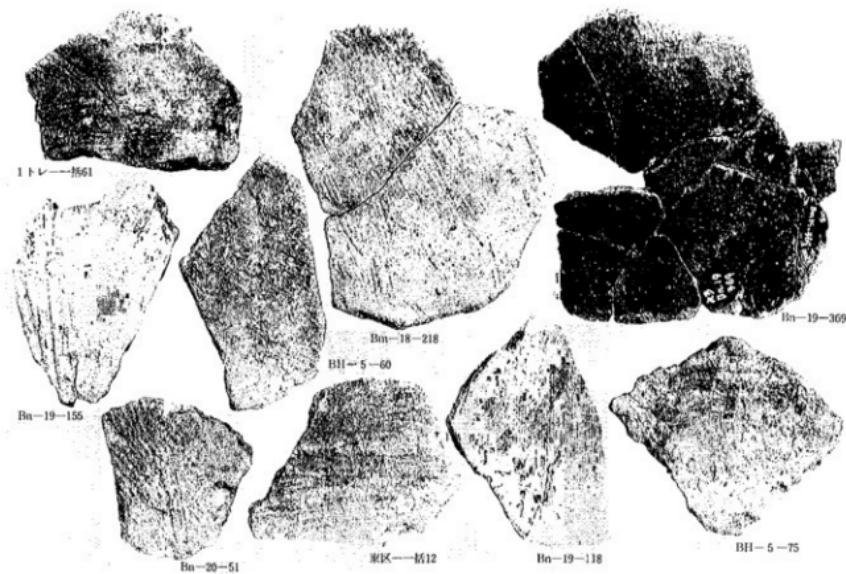
東区包含層出土土器(早期格条体压痕文・条痕文)



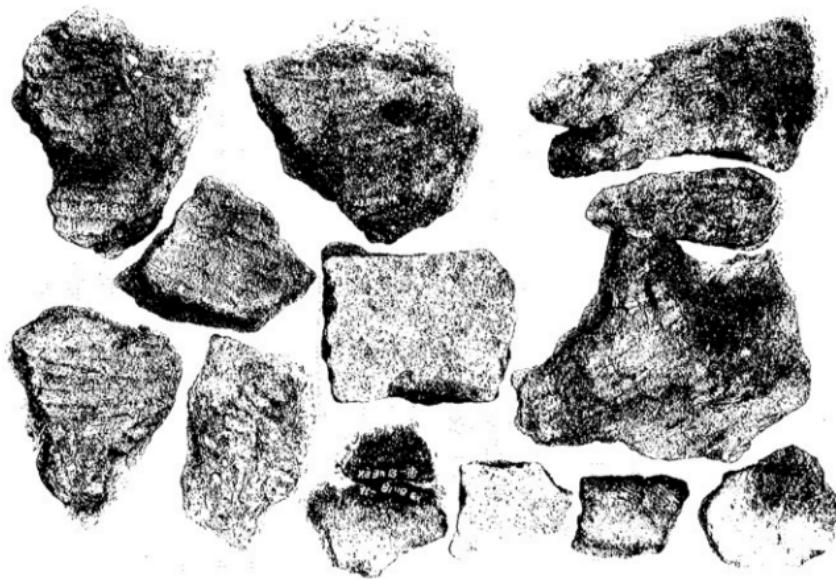
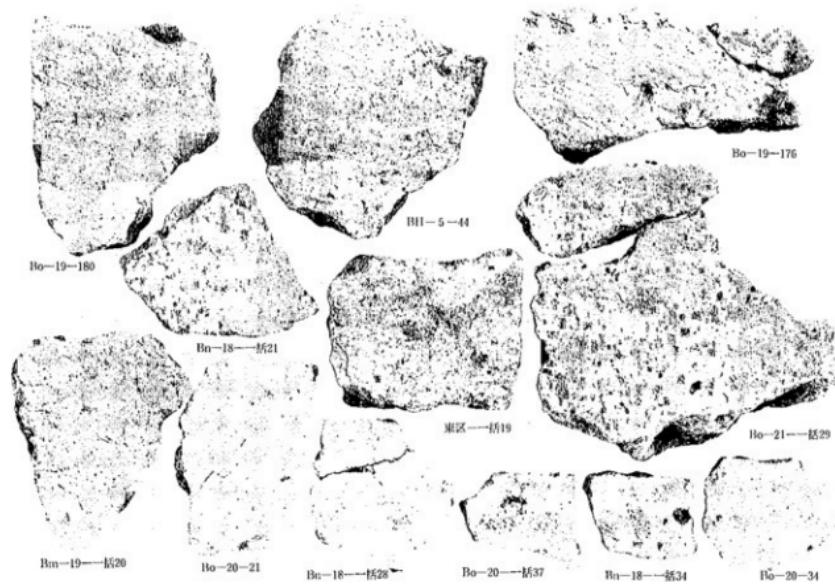
東区包含層出土土器(早期条痕文)



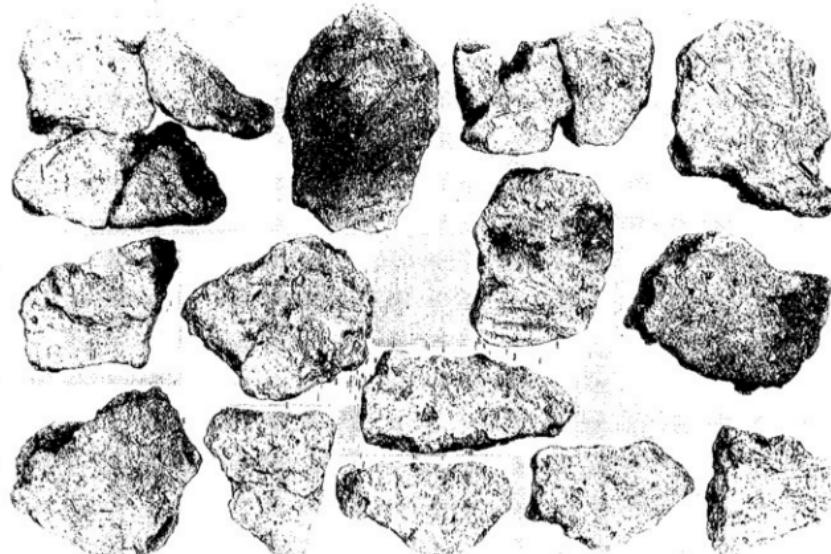
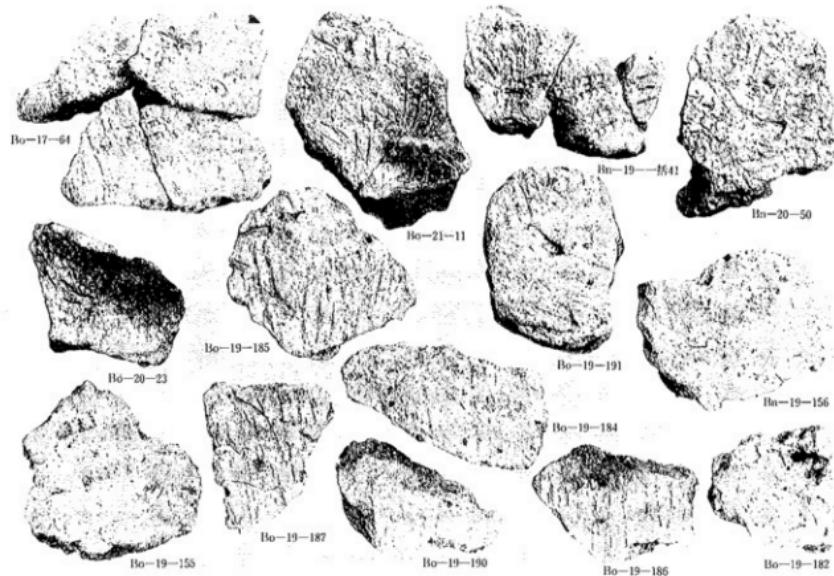
東区包含層出土土器(早期条痕文)



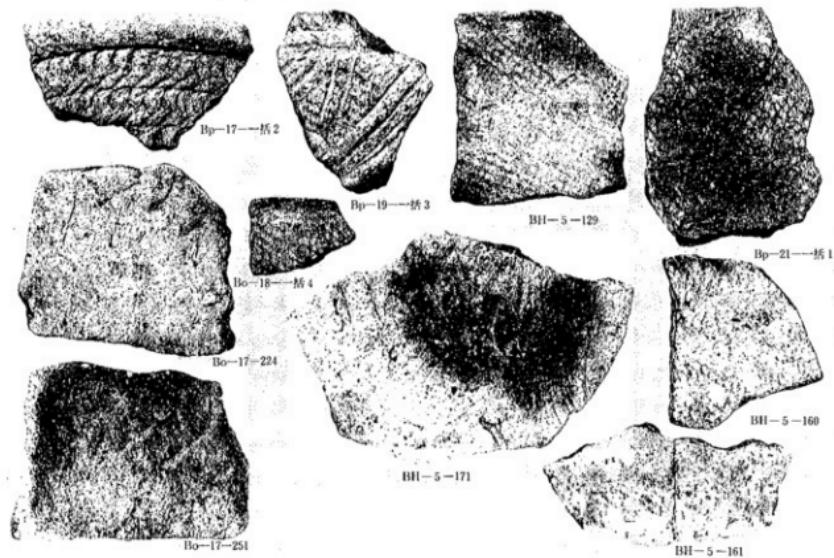
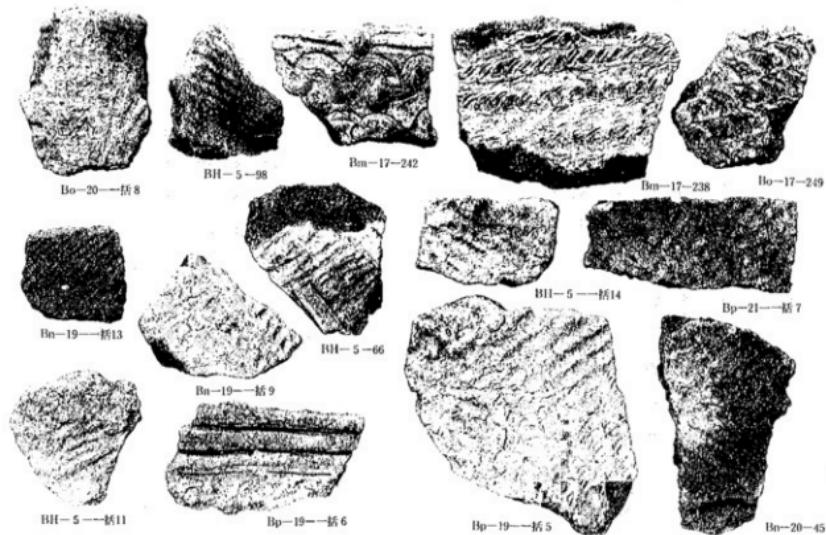
東区包含層出土土器(早期条痕文)



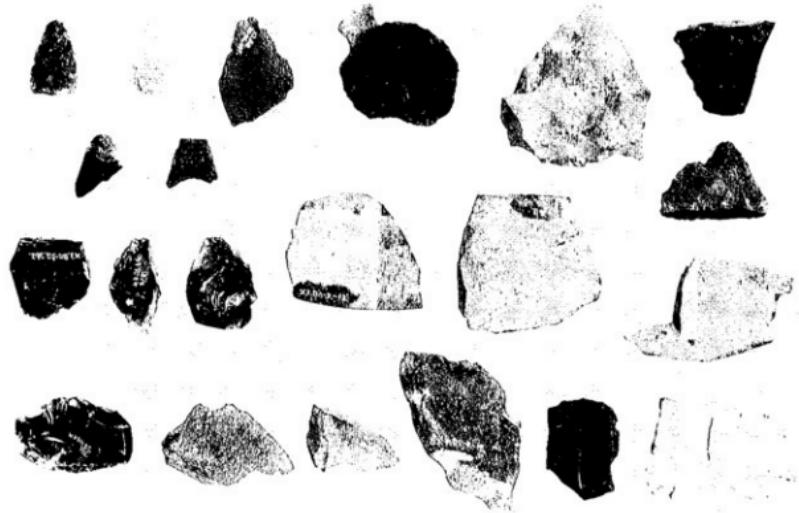
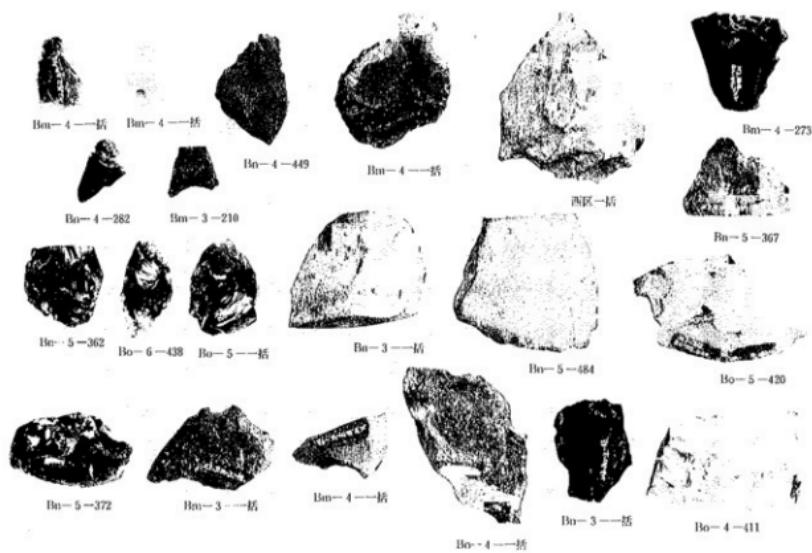
東区包含層出土土器(早期条痕文)



東区包含層出土土器(早期末~前斯初頭)



東区包含層出土土器(前期)



西区包含层出土石器(石锥・石匙・石锯・ビエス・エスキュー・削器他)



Bn—4—107



Bo—5——



Bn—4—186



Bo—4—116



Bn—4——



Bn—4—333





Bo—5 鮑因——刮

Bo—5—373

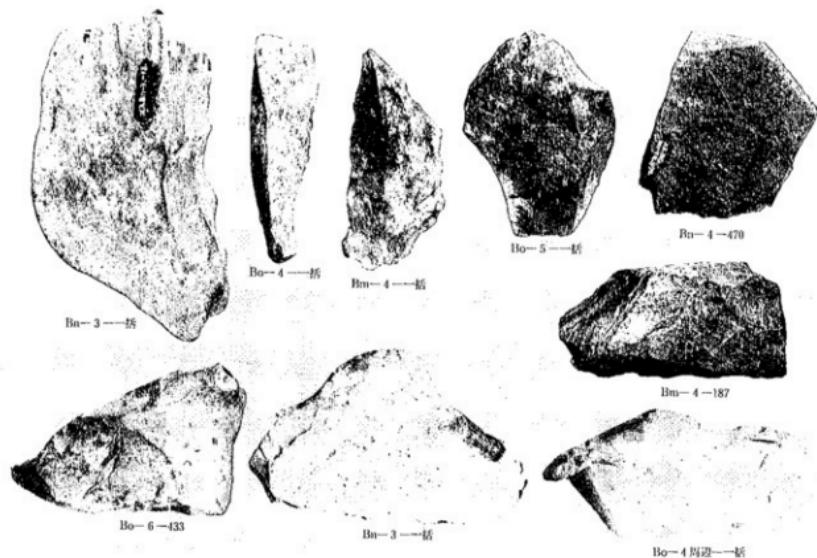


Bo—3—394

Ag—18——刮

Bo—5——刮





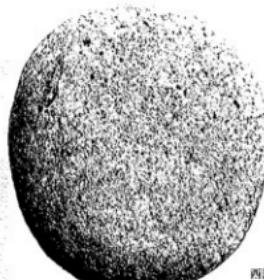
西区包含层出土石器(刮器)



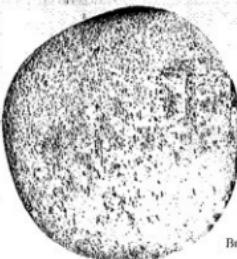
Bn—3—382



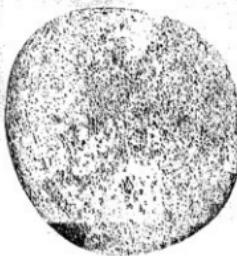
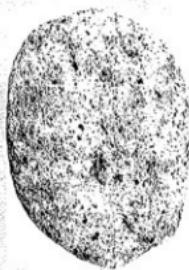
西区一砾



西区一砾



Bn—3—3

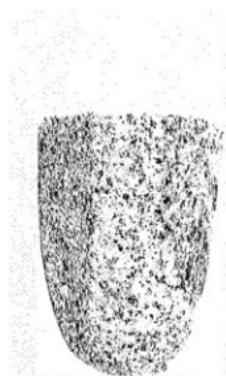




BII-5—核



Bn-4-473



Bn-20—核



Bn-4-244

東区包含層出土石斧・西区包含層出土櫛すり石



Bp-19-1-4

Bp-20-1-2

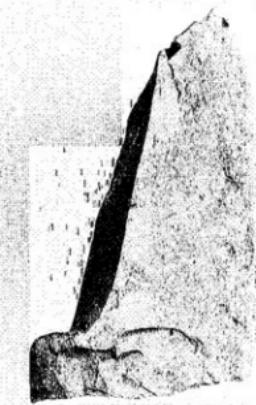
Bp-19周邊-1-2



Bo-18-166

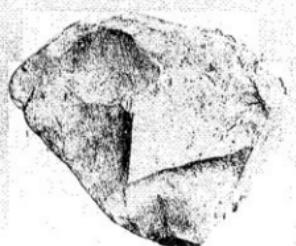


Bo-20-1-2

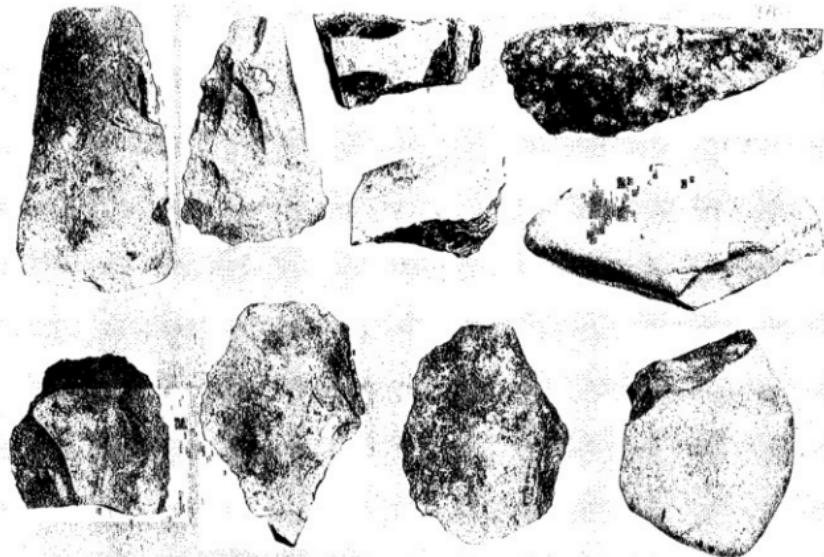
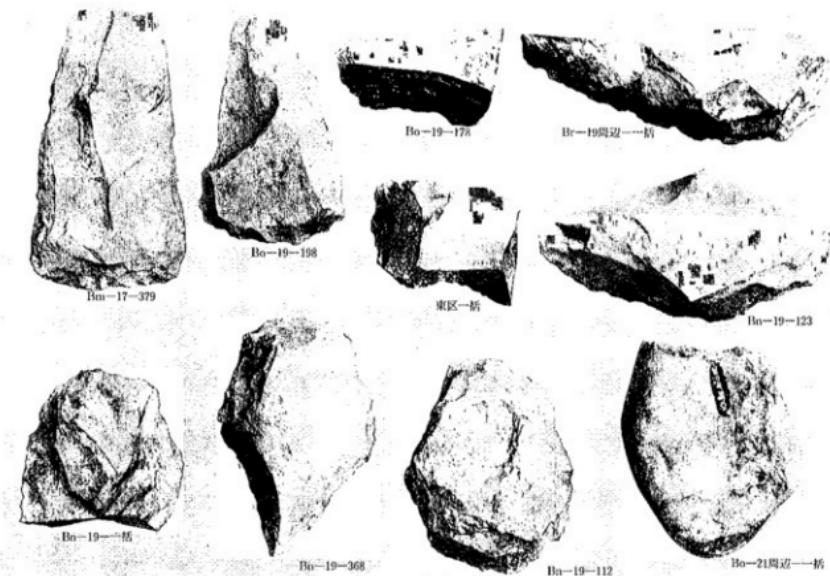


Bo-5-1

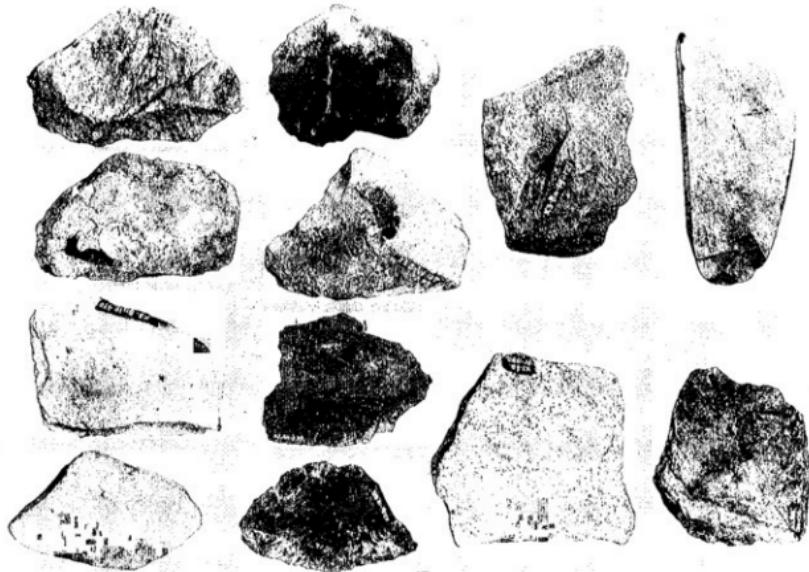
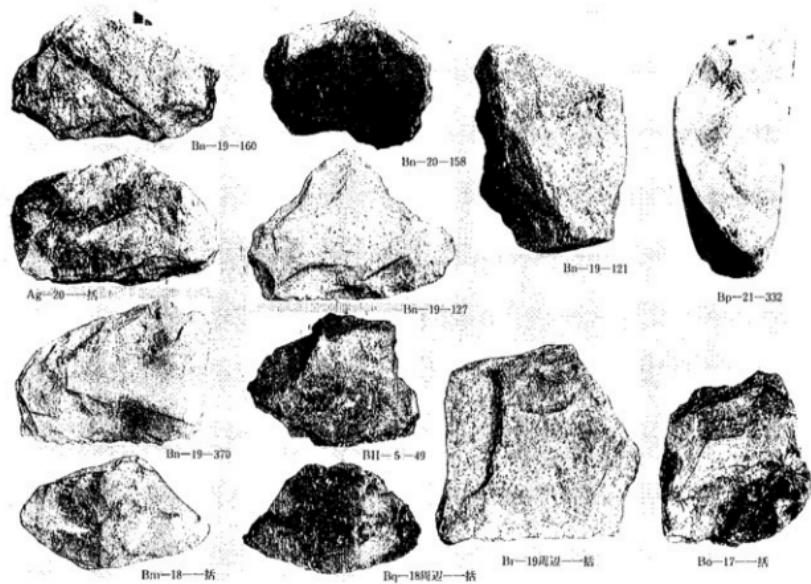
テストトレハ6-1



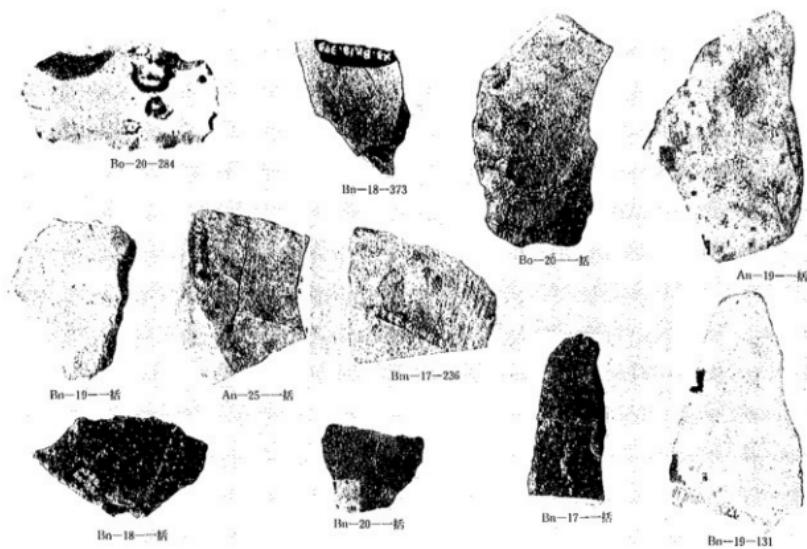
Bp-21-326



東区包含層出土石器(へら状石器・石斧・削器・硃器)



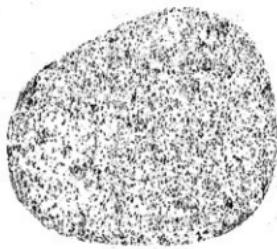
東区包含層出土石器(削器)



東区包含層出土石器(刮器)



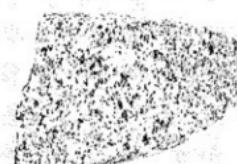
Bo-20-289



Bo-19-294



Bo-17-16



## 発掘報告書抄録

|         |                                |
|---------|--------------------------------|
| フリガナ    | ゴテンイセキ                         |
| 書名      | 御殿遺跡                           |
| 副書名     | 県営広域農道整備事業赤城南麓2期地区埋蔵文化財発掘調査報告書 |
| 巻次      | 1                              |
| シリーズ名   | 柏川村文化財報告                       |
| シリーズ番号  | 第15集                           |
| 編著者名    | 小島純一                           |
| 編集機関    | 群馬県勢多郡柏川村教育委員会                 |
| 編集機関所在地 | 〒371-02 群馬県勢多郡柏川村大字西田面194-4    |
| 発行年月日   | 1995年3月15日                     |

| フリガナ<br>所収遺跡名  | フリガナ<br>所 在 地 | コ 一 ド  |      | 北 緯<br>°°' | 東 緯<br>°°' | 調査期間                                  | 調査面積<br>m <sup>2</sup> | 調査原因 |
|----------------|---------------|--------|------|------------|------------|---------------------------------------|------------------------|------|
|                |               | 市町村    | 遺跡番号 |            |            |                                       |                        |      |
| ゴテンイセキ<br>御殿遺跡 | 勢多郡柏川村大字中之沢   | 103063 |      | 36°28'48"  | 139°12'26" | 1993年<br>7月20日<br>~<br>1994年<br>3月25日 | 2,200m <sup>2</sup>    | 農道建設 |

| 所収遺跡名 | 種別 | 主な時代     | 主な遺構                                     | 主な遺物                       | 特記事項                                 |         |
|-------|----|----------|--|----------------------------|--------------------------------------|---------|
| 御殿遺跡  | 集落 | 繩文<br>平安 | 竪穴住居<br>土壙<br>包含層<br>竪穴住居<br>掘立柱建物<br>土壙 | 1軒<br>2基<br>1軒<br>1棟<br>7基 | 繩文土器(前期)<br>早・前期<br>土師器・須恵器<br>「銚」銘型 | 1軒は鉄造遺構 |

## 柏川村文化財報告第15集 御殿遺跡

平成7年3月3日印刷  
平成7年3月15日発行

編集 発行 柏川村教育委員会  
群馬県勢多郡柏川村西田面194-4  
〒371-02 Tel 0272-85-3311  
印刷 朝日印刷工業株式会社